

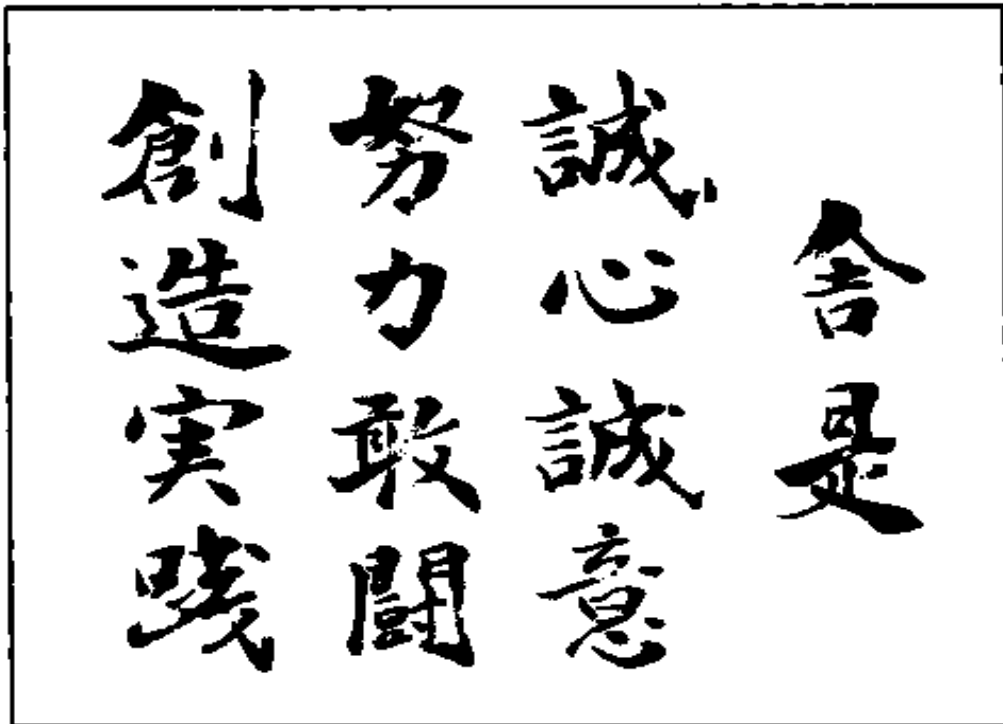
2026年度

# 経営計画書

社会福祉法人 北海道光生舎

# 目 次

|                              |      |     |
|------------------------------|------|-----|
| 舎是・経営の原点、経営理念・経営ビジョン         | 1～   | 2   |
| 組織機構図                        | 3    |     |
| 各部門のキーワードと重点事項（各施設、授産、管理部門）  | 4    |     |
| 「法人経営計画」                     | 5～   | 10  |
| 「財務部経営計画」                    | 11   |     |
| 「経理部経営計画」                    | 12～  | 14  |
| 「管理部情報システム課経営計画」             | 15～  | 17  |
| 「総務部経営計画」                    | 18～  | 20  |
| 「本舎施設経営計画」                   | 21～  | 25  |
| 「厚生部経営計画」                    | 26～  | 32  |
| 「グループホームメイプル経営計画」            | 33～  | 36  |
| 「ホームクリーニング工場経営計画」            | 37～  | 39  |
| 「赤平リネンサプライ工場経営計画」            | 40～  | 41  |
| 「ていく経営計画」                    | 42～  | 44  |
| 「そだんのていく経営計画」                | 45～  | 47  |
| 「きっずていく経営計画」                 | 48～  | 51  |
| 「きっずていくあかびら年間計画」             | 52   |     |
| 「きっずていくあしべつ年間計画」             | 53   |     |
| 「きっずていくさくらんぼ年間計画」            | 54   |     |
| 「きっずていくたきかわ年間計画」             | 55   |     |
| 「託児所ぴょんぴょん経営計画」              | 56～  | 58  |
| 「光生舎メディック・エル経営計画」            | 59～  | 61  |
| 「グループホーム翠経営計画」               | 62～  | 63  |
| 「ケアハウスすいこう経営計画」              | 64～  | 79  |
| 「光生舎虹の里経営計画」                 | 80～  | 88  |
| 「光生舎フーレビラ経営計画」               | 89～  | 99  |
| 「光生舎クリーン・セブン経営計画」            | 100～ | 103 |
| 「特別養護老人ホームしらかば荘経営計画」         | 104～ | 120 |
| 「救護施設親愛の家経営計画」               | 121～ | 128 |
| 「光生舎プラザ・イン・サッポロ経営計画」         | 129～ | 131 |
| 「グループホームパル経営計画」              | 132～ | 133 |
| 「光生舎フロンティア経営計画」              | 134～ | 136 |
| 「光生舎ゆいま～る・もみじ台経営計画」          | 137～ | 144 |
| 「光生舎スクエア経営計画」                | 145～ | 147 |
| 「グループホームピノ経営計画」              | 148～ | 149 |
| 「そだんのていく札幌エリア、企画室 KITE 経営計画」 | 150  |     |



## 経営の原点

- ◆日々、己に問え「今日一日、誠心誠意、仕事に励んだか」立派な舎員とは、真心一途に働く人である。
- ◆日々、己に問え「今日一日、精一杯、努力敢闘したと言い切れるか」企業は、真の努力人間が集まってこそ、勝者になれる。
- ◆日々、己に問え「今日一日、創造実践の舎是に悖ることなかりしか」舎の未来「明日をひらく」のは良い着眼と、緻密な計画と、それを確実に実行する能力である。

# 経営理念

わたしたちは、「働く喜び」「誇りある人生」「きれいと快適」を追求し、地域社会に貢献します。

## 1 働く喜びを

わたしたちは、利用者・職員共に全員がいきいきと活躍することができる職場づくりを続けます。

## 2 誇りある人生を

わたしたちは、法人に関わる一人ひとりの個性を尊重し、皆が充実して誇りある人生を送ることを目指します。

## 3 きれいと快適を

わたしたちは、職場においてきれいと安全を徹底すると共に、お客様に清潔で快適な環境を提供します。

以上の経営理念を実現するため、常に革新的経営の実践に努め、事業を発展させ、地域福祉と社会に貢献します。

# 経営ビジョン

## 『100年続く社会福祉法人へ』

福祉と企業経営の融合による進取果敢な取り組みで、障がい者就労支援のトップリーダーとして走り続けます。

常に専門性の向上に努め、一人ひとりに寄り添い、個別ニーズを叶えるための支援を提供します。

地域の人たちと協力し合い、地域共生社会の中心的役割を担います。



# 令和8年度 各部門のキーワードと重点事項

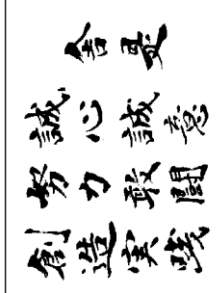
社会福祉法人 北海道光生会

令和8年 1月 9日

## 令和8年度法人の方針 キーワード 『働き甲斐のある職場づくり』

〈活動の力点〉  
 2K(「確認」と「補強」)で信頼関係を築く  
 ・「確認」は「報告」「報告」を相互化する  
 ・「補強」で職場のコミュニケーションが良くなる  
 ・「確認」で深く遠くまで人間関係が作られる  
 「見える化」と「見える化」を実施する  
 ・見える化の促進 … 行動力がある  
 ・見える化の取組み … 参加から所属へ意識が変わる

### 【法人の重点事項】



#### 経営理念

わたしたちは、「働く喜び」「誇りある人生」「きらいと快楽」を追求し、福祉社会に貢献します。

1. **働く喜び**  
 わたしたちは、利用者・職員共に「きらいと快楽」を追求する。これが生きる喜びを創ります。
2. **誇りある人生**  
 誇りある人生とは、法人に属する一人ひとりの個性を尊重し、皆が安心して働くことができることを目指します。
3. **きらいと快楽**  
 快楽とは、仕事・職能において「きらいと快楽」を創出すること。共に、お客様に「きらいと快楽」を提供します。

以上の経営理念を基盤とするため、常に革新的経営の推進に努め、事業を発展させ、地域社会に貢献します。

キーワード  
「不安な状況に…誰かを頼る」

重点事項  
1. 不安な状況に…誰かを頼る  
2. 不安な状況に…誰かを頼る  
3. 不安な状況に…誰かを頼る  
4. 不安な状況に…誰かを頼る  
5. 不安な状況に…誰かを頼る

キーワード  
「思いやりを大切にしよう」

重点事項  
1. 思いやりを大切にしよう  
2. 思いやりを大切にしよう  
3. 思いやりを大切にしよう

キーワード  
「対話と共感」

重点事項  
1. 対話と共感  
2. 対話と共感  
3. 対話と共感

キーワード  
「思いやりを大切にしよう」

重点事項  
1. 思いやりを大切にしよう  
2. 思いやりを大切にしよう  
3. 思いやりを大切にしよう

キーワード  
「正直・謙遜 = 信頼」

重点事項  
1. 正直・謙遜 = 信頼  
2. 正直・謙遜 = 信頼  
3. 正直・謙遜 = 信頼

キーワード  
「クリア」

重点事項  
1. クリア  
2. クリア  
3. クリア

キーワード  
「対話と共感 → 未来は今の積み重ね」

重点事項  
1. 対話と共感  
2. 対話と共感  
3. 対話と共感

キーワード  
「思いやりを大切にしよう」

重点事項  
1. 思いやりを大切にしよう  
2. 思いやりを大切にしよう  
3. 思いやりを大切にしよう

キーワード  
「安心・安全・快適な暮らし」

重点事項  
1. 安心・安全・快適な暮らし  
2. 安心・安全・快適な暮らし  
3. 安心・安全・快適な暮らし

キーワード  
「思いやりを大切にしよう」

重点事項  
1. 思いやりを大切にしよう  
2. 思いやりを大切にしよう  
3. 思いやりを大切にしよう

キーワード  
「対話と共感」

重点事項  
1. 対話と共感  
2. 対話と共感  
3. 対話と共感

キーワード  
「思いやりを大切にしよう」

重点事項  
1. 思いやりを大切にしよう  
2. 思いやりを大切にしよう  
3. 思いやりを大切にしよう

キーワード  
「見える化、見える化、見える化」

重点事項  
1. 見える化、見える化、見える化  
2. 見える化、見える化、見える化  
3. 見える化、見える化、見える化

キーワード  
「思いやりを大切にしよう」

重点事項  
1. 思いやりを大切にしよう  
2. 思いやりを大切にしよう  
3. 思いやりを大切にしよう

キーワード  
「対話と共感」

重点事項  
1. 対話と共感  
2. 対話と共感  
3. 対話と共感

キーワード  
「思いやりを大切にしよう」

重点事項  
1. 思いやりを大切にしよう  
2. 思いやりを大切にしよう  
3. 思いやりを大切にしよう

キーワード  
「思いやりを大切にしよう」

重点事項  
1. 思いやりを大切にしよう  
2. 思いやりを大切にしよう  
3. 思いやりを大切にしよう

キーワード  
「対話と共感」

重点事項  
1. 対話と共感  
2. 対話と共感  
3. 対話と共感

キーワード  
「思いやりを大切にしよう」

重点事項  
1. 思いやりを大切にしよう  
2. 思いやりを大切にしよう  
3. 思いやりを大切にしよう

キーワード  
「思いやりを大切にしよう」

重点事項  
1. 思いやりを大切にしよう  
2. 思いやりを大切にしよう  
3. 思いやりを大切にしよう

# 「法人経営計画」

## 【法人キーワード】

### 『働き甲斐のある職場づくり』

昨年度から働き甲斐のある職場づくりを目指してもらった。まずは働きやすい職場をつくり、そして働き甲斐のある職場にするのが良い職場づくりの基本であるが、その実現のためには費やす時間も一年間では短すぎた。よって令和8年度も引き続き「働き甲斐のある職場づくり」を継続する。

働き甲斐とは自分の仕事に対して意義を感じ満足感を得ることを言う。仕事に対する意義とは自分の仕事に対して価値や重要性を認識することである。何のためにその仕事をしているのか、それをすることによって他の人や会社にどんな影響があるのか、自分が生きていることの価値や、仕事をする事によって得られる自分の成長や学びがあることを実感することである。

それにはまず目標を立てることが重要となる。会社や職場の目標を理解し自分が何をすべきなのかを確認して欲しい。そしてその目標を達成するために計画を作る。

働き甲斐には、目標を達成する達成感や、自分の成長を感じる。上司に認められる。褒められる。評価される。自分の仕事が誰かのためになっていると感じられる事が重要である。

働き甲斐は仕事の中だけではなく、生活の中にもある。しかし働き甲斐は職場の中にしかないのである。働きやすく、働き甲斐を持って働ける職場づくりをして欲しい。

## 【法人重点事項】

令和 7 年の法人重点事項は「働きやすい職場づくり」の活動を進めながら「働きがいのある職場づくり」に発展させていくことだった。

この二つの活動は、表裏一体のものでどちらか一方では不十分になる。

さらに、その実現にはスタッフ全員が指導層とともにづくりこんでいく過程があって意味を成すものである。

しかし、その実現のためには費やす時間も一年間では短すぎた。

よって令和 8 年度も引き続き「働きがいのある職場づくり」を継続し、令和 7 年の活動の反省から、活動の力点を以下の二点に変更する。

### 《活動の力点》

#### 2K（「確認」と「傾聴」）で信頼関係を築く

- 「確認」「連絡」「報告」を確立する  
確連報で職場のコミュニケーションが良くなる
- 「傾聴」で深く温かい人間関係が作られる

#### 「見える化」と「言える化」を実践する

- 見える化の促進 … 行動力があがる
- 言える化の取組み … 参加から所属へ意識が変わる

## 【法人重点項目】

1. 新中期経営計画の周知・推進
  - (1)新中期経営計画の内容を法人全体で共有
  - (2)計画の確実な実行体制の構築
  
2. 人材育成・定着
  - (1)次世代リーダーの育成
  - (2)働きがいのある職場づくりの推進
  - (3)採用活動の活性化
  
3. 確かな品質の追求
  - (1)施設：利用者に満足して頂ける高水準のサービス提供
  - (2)工場：工程管理体制構築による品質安定
  
4. 生産性向上
  - (1)生産現場における生産性向上の取組強化
  - (2)福祉現場における効率アップの取組推進
  
5. 財務基盤の安定
  - (1)損益状況の安定
  - (2)投資案件の慎重な検討
  
6. 地域連携体制の強化
  - (1)地域課題への対応を検討・実施する
  - (2)地域に開かれた法人・施設体制とする
  
7. ICTの導入・活用
  - (1)ICTを積極的に導入し、効果的に活用する

## 【理事会・評議員会】

当法人は「北海道光生舎定款」、「理事会運営規程」及び「評議員会運営規程」等の規程に基づき、理事会並びに評議員会の適正な運営に努めることとしている。

令和8年度は、定時評議員会を1回、理事会を年5回開催する予定とし、その他に審議・決議が必要な議案が発生した場合には、随時開催する。なお、建設工事請負や物品購入等に係る施設設備整備については、「経理規程」に基づき、購入予算金額が基準金額を超える事業案件の実施について理事会にて決議する。

定時監事監査は6月に開催し、その他随時実施する。

### 〈開催予定月と予定議案等〉

| 開催月 | 理事会<br>評議員会 | 主な予定議案  |
|-----|-------------|---|
| 6月  | 理事会         | 令和7年度事業報告及び計算書類並びに財産目録について<br>評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について<br>定例報告 ほか |
| 6月  | 評議員会        | 令和7年度事業報告及び計算書類並びに財産目録の承認について<br>定例報告 ほか                            |
| 9月  | 理事会         | 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告<br>定例報告 ほか                                     |
| 11月 | 理事会         | 上半期事業実績状況報告について<br>定例報告 ほか  |
| 1月  | 理事会         | 定例報告 ほか   |
| 3月  | 理事会         | 決算見込（報告）と新年度経営計画及び収支予算の承認について<br>理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告<br>定例報告 ほか    |

※施設設備整備計画は、随時審議

※その他、定款及び理事会運営規程、評議員会運営規程に定める事項

※定例報告：理事長・副理事長・常務理事・担当理事の職務執行状況報告、  
事業実績及び資金繰り、運営状況報告ほか

## 【委員会活動】

| 委員会名                     | 赤平圏 | 札幌圏 | 備考                           |
|--------------------------|-----|-----|------------------------------|
| リスクマネジメント及びコンプライアンス推進委員会 | ○   |     | 必要に応じ所長会議内で開催                |
| 防災対策・感染予防委員会             | ○   | ○   | 火災予防、交通安全、BCP、感染予防、健康管理・増進含む |
| 広報（HP）委員会                | ○   |     | 舎内報作成、HP更新                   |
| 虐待・身体拘束防止委員会             | ○   | ○   | 防止への効果的な活動を展開                |
| ヒヤリハット委員会                | ○   |     | 事故再発防止含む                     |
| 5S推進委員会                  | ○   | ○   | 5S活動の定着化推進                   |
| 研修プログラム委員会               | ○   |     | ホスピタリティ研修、職員研修会企画・運営         |
| 労働安全衛生委員会                | ○   |     | 安全管理、長時間労働抑制                 |
| 地域貢献推進委員会                | ○   |     | 公益的取組の推進                     |

※法人委員会の取り組みを通して各事業所内委員会の活動を活性化させる

## 【定例会議】

| 会議名   | 実施頻度  | 役割・内容             |
|-------|-------|-------------------|
| 所長会議  | 月1回   | 法人内における重要事項の検討・決議 |
| 厚生会議  | 月1回   | 利用者支援に関わる報告・検討    |
| 給食会議  | 月1回   | 食事提供に関わる報告・検討     |
| 経営報告会 | 月1回   | 各施設・工場からの経営状況報告   |
| 工場長会議 | 月1回   | 工場体制の改善を目的とした会議   |
| 幹部会   | 月6～7回 | 法人内情報共有および協議・勉強の場 |
| D幹部会  | 月2回   | 次席の法人内情報共有および勉強の場 |

## 【実務者会議】

| 会議名         | 赤平圏 | 札幌圏 | 備考          |
|-------------|-----|-----|-------------|
| 入所検討会議      | ○   |     | 新規受入・移動検討   |
| 新規利用者獲得会議   | ○   |     | 利用者獲得PR活動関係 |
| 請求担当実務者会議   | ○   |     | 情報共有・協力体制構築 |
| 個別支援計画実務者会議 | ○   |     | 支援計画内容の質向上  |
| ICT活用推進会議   | ○   |     | 導入検証・業務効率化  |

## 【教育・研修】

| 研修名        | 期間     | 研修名           | 期間     |
|------------|--------|---------------|--------|
| 新入舎員研修（大卒） | 5月～10月 | 能力向上研修        | 4月～3月  |
| 管理者養成研修    | 4月～3月  | 中途採用者研修       | 7月～12月 |
| 工場No.2研修   | 4月～6月  | ホスピタリティ(伝達)研修 | 11月    |
| サンキュウ研修    | 6月～11月 | 職員研修会         | 3月     |
| PL研修       | 4月～3月  |               |        |

※上記の他必要に応じて随時教育・研修を実施する

## 【改善活動】

| 活動名         | 期間    | 活動名      | 期間    |
|-------------|-------|----------|-------|
| カイゼン甲子園（施設） | 4月～3月 | 改善提案（授産） | 4月～3月 |

# 「財務部経営計画」

## 〈基本目的〉

1. 財務状況の安定化と信頼を得るための健全化
2. 将来を見据えた財務計画と資金運用
3. 事業に必要な資金の調達と返済

## 〈基本方針〉

1. 経常利益率は、売上の5%以上(新中期計画より)
2. 自己資本比率40%以上
3. 流動比率150%以上

## 〈キーワード〉

『不確実な時代に ～確かな財務を～』

## 〈重点事項〉

1. 長期金利上昇に伴う金利負担増 低金利へ銀行との金利折衝
2. 物価上昇に強い財務体質づくり  
金利や物価上昇を上回る付加価値の創出
3. 新中期経営計画に基づく設備投資の実行および検討  
(設備購入額を売上高比率を設定し、それに基づいて実施)
4. 法人の経常増減差額の売上比5%以上を確保(新中期計画より)
5. 人件費比率、収入費45%以下を目指す(新中期計画より)
6. 投資効果の確認と確実な資金回収

## 〈実施事項〉

1. 資金管理  
(1) 銀行借り入れ及び割賦リースによる資金調達  
(2) 資金繰り予定と実績管理
2. 市中銀行などの金融機関や格付け機関への対応
3. 財務管理(財務計画・財務統制・投資活動)
4. 先行管理で安定したキャッシュフローを図る
5. 設備投資に対して財務視点による法人全体への提言

# 「経理部経営計画」

## 〈基本目的〉

1. 法令、規範を順守し、明瞭で透明な経営を支える
2. 経営状況を正確に把握し、的確な経営判断をするための情報を提供する
3. 正確でかつスピードある行動で舎内および取引先との信頼関係を構築する

## 〈基本方針〉

1. 根拠に基づき正しいことを考え行動する
2. 経営判断するデータは柔軟性を持って作成し提供する
3. 仕事での喜び、悩みは全員で共有し感謝の気持ちを言葉にする
4. 課題には質の向上で取組み、小さな見直しを大事にする

## 〈キーワード〉

『 正確×連携＝信頼 』

経理部としての役割（正確性・信頼・連携）と、組織としての姿勢（前向き・成長・楽しさ）を両立

## 〈重点事項〉

1. システムの徹底活用
2. ジョブローテーションで成長

## 〈重点事項の詳細〉

1. システムの徹底活用
  - (1)MJS機能の有効活用
  - (2)出納業務の効率化
  - (3)ICT活用
2. ジョブローテーションで成長
  - (1)フリーアドレスによる業務共有

- (2) ナレッジの構築
- (3) 情報発信

### 3. 業務計画

#### (1) 決算業務

- ① 会計士監査（中間11月・期末5月）
- ② 月次決算（月初2日）
- ③ 年度決算（4～5月）
- ④ ダイアパーリース決算（5月）

#### (2) 予算業務

- ① 当初予算の策定（1～2月）
- ② 更正予算の策定（11月）
- ③ 資金収支予算・補正予算の策定（2月）

#### (3) 資産管理業務

- ① 固定資産実査（9月・2月）
- ② 償却資産申告書作成（1月）
- ③ 保険契約（4月・7月）

#### (3) 財務会計業務

- ① 施設小口現金の確認、実査（7月）
- ② 利用者預り金・貴重品管理
- ③ 請求支払処理（毎月18日）

### 4. 環境整備

- (1) 書類整理（6月）

### 5. 部門連携

#### (1) 法人・本舎施設委員会活動

- ① 防災対策感染予防委員会
- ② 虐待身体拘束防止委員会
- ③ 5S推進委員会
- ④ 地域貢献推進委員会

#### (2) 事務所活動委員会

- ① カイゼン活動委員会
- ② セルフチェック委員会

- ③ 5S推進委員会
- (3) 本舎施設との連携
  - ① リネン繁忙期応援
  - ② 行事の引率

## 6. 研修計画

- (1) 朝活動
- (2) 外部主催の経理関係セミナーの参加
- (3) 他部署研修
- (4) 1 on1ミーティング

# 「情報システム課経営計画」

## 〈基本目的〉

1. IT化を推進し、業務の効率アップを図る
2. 新技術習得とシステム開発を推進する
3. システム、IT機器の保守・運用・更新を行い、安定した作業環境を提供する

## 〈基本方針〉

1. ユーザー視点の考慮
2. スピードと正確性の両立
3. 安全性と利便性の最適バランス
4. 継続的な改善と技術革新の推進
5. ITスキルアップ

## 〈キーワード〉

『安心・安全・快適を支えるIT基盤』

## 〈重点事項〉

1. ICT推進、インフラ整備
2. サポート体制の充実
3. 現行システムの分析、新システムの開発
4. セキュリティの強化

## 〈実施事項〉

1. ICT推進
  - (1)インフラ整備・管理
    - ①舎内無線LAN環境の整備・サポート
  - (2)ICT推進WTと連携し、機器やシステムの検討、導入
    - ①舎タブレット、スマホ等の情報通信端末の検討
    - ②システム、アプリの調査、選定
2. コンピュータ関連機器の設定
  - (1)iPadの入替

- ①現行iPadと次期iPadの入替
  - ②SIMなしiPadの利活用
  - (2)パソコンのセットアップ、設定変更、再インストール
  - (3)iPadのセットアップ、設定
  - (4)その他IT関連機器の設定
3. IT関連のサポート
- (1)問合せ、トラブル対応
  - (2)運用支援
  - (3)Q & A表の更新、共有
  - (4)業務改善に繋がる情報の発信
4. リスク管理、セキュリティの強化
- (1)サーバ、業務システムのバックアップ
  - (2)サーバ、パソコンのWindows Update
  - (3)ルーター入替・ファームウェアのリビジョンアップ
  - (4)セキュリティに関する取組と情報提供
  - (5)セキュリティシステムの追加導入・運用管理
5. グループウェアeValue、データの有効活用
- (1)クリーニングデータの調査、提供
  - (2)eValue、共有フォルダの保守運用
6. システム開発・運用・管理
- (1)開発環境の整備
    - ①プログラム技術の向上
    - ②システムの調査、解析
  - (2)新システム作成
  - (3)K.K.情報システム課との連携
7. 業務ツールの活用
- (1)AI技術
    - ①調査、研究
    - ②活用方法の模索
  - (2)Microsoft・Googleツール
    - ①便利機能の調査、紹介

8. 業務システムの保守、運用支援
- (1) ほんのぼの福祉業務支援システム
    - ①バージョンアップ
    - ②給付費請求データ作成
    - ③ほんのぼのボイス活用推進
  - (2) MJS人事・給与、財務会計システム
    - ①バージョンアップ
    - ②データ取込、連携
  - (3) MJS税務システム
    - ①バージョンアップ
  - (4) クロノス勤怠管理システム
    - ①バージョンアップ
    - ②データ取込、連携
    - ③クロッシオンとの連携
  - (5) 電子契約ドキュサイン
    - ①保守運用

〈内部研修計画〉

| 実施月 | テーマ          | 目的                |
|-----|--------------|-------------------|
| 5月  | eValueワークフロー | 業務知識の連携           |
| 7月  | Wi-Fi        | Wi-Fi機器調査及び運用方法連携 |
| 9月  | データベース       | データ操作言語の連携        |
| 11月 | セキュリティ       | 脅威から舍内を守る         |
| 1月  | ホームページ       | 運用方法について連携        |
| 3月  | AI           | 自動生成による業務効率化      |

# 「総務部経営計画」

## 〈基本目的〉

1. 法人内の総てをつなぐ架け橋となる
2. 誰もが働きやすい環境を提供する
3. 中立・公正性を堅持する

## 〈基本方針〉

1. 双方向のコミュニケーションで組織力を強化する
2. 従業員満足度の向上を目指す

## 〈キーワード〉

『見える化、いえる化、きける化の実践』

## 〈重点事項〉

1. 働きやすさ、働きがいのある環境作り
2. 人材確保・定着支援
3. 情報管理とリスクマネジメント

## 〈具体的取り組み〉

1. 働きやすさ、働きがいのある環境作り  
法改正や社会環境・経営環境の変化に合わせて規程規則を見直し、従業員の「働きやすさ、働きがい」に繋がる制度を積極的に提案する。
  - (1)規程、就業規則の見直し
    - ①兼業・副業規定の見直し（法改正）
    - ②ハラスメント規程整備
    - ③労基法改正への対応
  - (2)労働環境整備
    - ①法人としての基準設定
    - ②外部相談窓口（メンタルヘルス）の導入検討
    - ③福利厚生制度の見直し・提案
  - (3)情報発信と管理
    - ①効果的な情報発信
    - ②アクセスしやすい情報管理
  - (4)総務部の働き方の見直し
    - ①応援体制のスケジュール化
    - ②計画有休取得

- ③属人化解消
- ④定期的な作業の見直し
- ⑤1on1ミーティングの実施

## 2. 人材確保・定着支援

採用・定着の仕組みを拡充させるとともに、教育・研修を人事課で所管し一貫性のある継続的な活動をリードする。

### (1) 中途採用方法の見直し

- ①赤平圏における合同面接の導入検討
- ②入舎時説明資料の見直し

### (2) 定着率向上に向けた取り組み

- ①体系化された内定者フォローの実施
- ②中途採用者面談の継続
- ③休職者・復職者への支援

### (3) 法人内研修の体系化

- ①基本プログラムによる運用と実施結果の検証
  - ・新入舎員研修
  - ・サンキュウ研修
  - ・クロストレーニング制度

## 3. 情報管理とリスクマネジメント

総務所管情報の適切・効率的な管理と人事管理におけるリスクマネジメント

### (1) 情報管理

- ①契約書の電子化
- ②ICTの活用

### (2) 人事管理のリスクマネジメント

- ①現状把握・分析
- ②対応策の検討・実行

## 4. 部内研修の実施

外部研修への参加、伝達研修、部内研修を実施し、総務業務及び施設職員としての知識・スキル・質の向上を目指す。

### (1) 外部研修への参加・伝達

### (2) テーマ別研修



# 「本舎施設経営計画」

## 〈基本理念〉

本舎施設は、「先進的」「創造的」な運営で利用者の意向を尊重し、「働く・くらす」をより豊かにするために、総合的な障害福祉サービスを提供する。

## 〈基本目的〉

1. 利用者が安全かつ安心して生活ができる環境の提供。
2. 利用者個々の状態や意向に寄り添った働く場の提供。
3. 「生きがい」・「やりがい」・「成長」を共にする。

## 〈基本方針〉

1. 常に「利用者のためになるか」を考えた支援を行う。
2. 本舎各部が協力・連携し、一体となった支援体制を推進する。
3. 利用者・職員皆が活躍できる職場環境を構築する。

## 〈キーワード〉

『 クリア 』

## 〈重点事項〉

1. 利用者確保活動の継続と改善
2. みんなが活躍できる環境
3. 利用者に選ばれる活動

## 〈実施事項〉

1. 運営会議による活動

「利用者確保」「利用者支援」「働きがいのある職場作り」「行事余暇活動」に関する運営会議を組織し、利用者サービスの充実と職員の質の向上を目指した活動を行う。

運営会議メンバーについては、各職場からの選出及び運営がスムーズに実施できる部門を中心に形成し活動を行う。

### (1)利用者確保運営会議

本舎利用者は高齢化などにより人員減が当面止まらないことが予想される。このため、新卒及び中途利用の確保を強化する活動を継続して行う。

## ①施設PR活動強化

- ・前年同様に空知管内及び周辺の高等養護学校訪問によるPR活動。
- ・砂川訓練校等やハローワーク等への訪問活動。
- ・生徒、父母、学校関係者などを招いた企画、見学会の開催。（出身校OBによる説明や話の場の機会を提供するなど）
- ・相談支援事業所を招いた見学会及び情報交換会の開催。
- ・就労選択支援事業所を活用した事業所見学及び養護学校との連携対応。
- ・工場見学時の説明マニュアル作成（小学校・父母・利用者等）

## ②実習生受け入れ活動

- ・個々の状況に合わせた実習プログラムを設け、施設生活と作業に興味を持てる体験を提供。  
（短時間作業⇒長時間作業、GH体験、行事参加等）
- ・1～2年生の作業実施、卒業に向けた3年生の作業実施をすみわけし、個々の希望や作業状況に合わせた実習支援を提供。
- ・中途の利用者について実習プログラムを導入し、体験利用を通じながらサービス利用へ繋げる。
- ・工場作業だけではなく、事務的な作業などについても障害者利用が出来ないか検討・実施する。

## (2)利用者支援運営会議

運営会議は工場が中心となる組織とし、その他の部署が関わりながら利用者が活躍できる支援活動を目指す。

### ①高齢化や体力低下、精神不安定に配慮した支援の実施

- ・作業環境の充実化
- ・本人の意向に沿った支援（時間短縮や出勤時間などの変更）

### ②作業記録の方法と運用状況を変更

- ・参加状況だけではなく、課題点、問題点、相談支援などをより詳しく記載する。

### ③利用者育成とステップアップ

- ・B型⇒A型移行活動の強化
- ・育成プログラムや評価制度の導入

- 育成内容の発信と情報共有化し職員間が連携しながら、育成段階が何処まで来ているのか明確にする。（評価方法、訓練、育成段階などを分かりやすく示し実施）
- 職場推薦や本人希望を勘案し、対象者を決め育成する。
- 本舎工場全体で利用者の能力に合った作業が選択できるようにホーム、リネン間のクロストレーニングを促進する。
- 一般就労についての基礎的な勉強会や企業見学会を開催し、一般就労への興味を沸き立たせる活動を行う。
- 個別支援計画にも落とし込み進める。

### (3) 働きがい、やりがいが持てる活動運営会議

個別活動（目標の設定、1 on 1 など）については、各部署で取り組み実施する。本舎施設全体の活動としては、活動の理解を深め部門間での協力推進に焦点を当て活動する。

#### ① スキルアップや懇親を高める活動

- 働きがい、やりがいがいについて理解が深まる勉強会を開催し活動の推進を広める。
- 職員が長年培った経験を後世に伝承できる場。
- 職場、仕事、生活、子育てなど、日頃の悩み事や相談が自由にでき、共有、共感、参考になる場。（ディスカッション形式など）
- 本舎施設は多機能の事業所や部門が集まった運営をしている事から、新卒や中途採用者が戸惑うため、運営内容や仕事内容などに理解を深める活動を実施。
- 月間活動（本舎全体の目標、目的）などを開催し、本舎施設全体が一丸となる行動や活気があふれる取り組みを実施。
- 本舎施設職員合同懇親会の開催。（1名5,000円）

### (4) 行事・余暇活動運営会議

今年度は70周年記念旅行や1960時間労働への取り組み初年度もあり、行事は過度にならない内容で実施する。

#### ① 知的協会大会などへの参加

ソフトボール、Tボール、卓球、パークゴルフ大会への参加については、行事・余暇活動で職員配置を行い厚生部が協力の元、運営会議が中心で実施する。

#### ② 利用者主体行事の実施内容は例年より内容を縮小して実

- 施する。また、行事企画には利用者が関わって立案する。
- ③引率者については、職員1名が1回程度とする。
- ④スポーツ観戦などの旅行的な行事は行わない。

| 内 容                               | 金 額         | 備 考                            |
|-----------------------------------|-------------|--------------------------------|
| 空知知的協会スポーツ大会参加<br>ソフト、Tボール、パーク、卓球 | 150,000円    | 大会参加費 食事代<br>引率者・利用者分          |
| 利用者主体行事<br>1名2,000円×150名          | 300,000円    | 利用者主体行事<br>引率者・利用者分            |
| クリスマス会<br>1名7,000円×250名           | 1,750,000円  | 施設行事                           |
| 70周年記念旅行                          | 14,000,000円 | 台湾・洞爺・知床・東京<br>TDR 大阪 USJ 沖縄石垣 |
| 合 計                               | 16,200,000円 |                                |

※クリスマス会についてはホテル開催予定であるが70周年記念との関係があることから、ホテル開催か施設開催か検討する。WTについては別途設ける。

※70周年記念旅行については別途WTで行うが、委員会に手伝いを依頼する場合がある。

## 2. 施設内委員会活動

### (1) 防災対策・感染予防委員会

#### ① 災害対策

- ・日中、夜間避難訓練開催。
- ・BCP勉強会（机上、シミュレーション）開催。
- ・災害マニュアル、BCPの定期見直し更新。
- ・備蓄品の管理と備蓄品を使用した訓練の実施。  
（消費期限切れ活用と補充）

#### ② 感染予防対策

- ・感染症に係る予防勉強会の開催
- ・食中毒等予防活動。
- ・熱中症対策（夏場の工場高温対応）

### (2) 虐待・身体拘束防止委員会

- ・セルフチェックによる部門分析と撲滅活動。
- ・虐待、権利擁護、身体拘束に関わる勉強会と啓蒙活動の実施。
- ・マニュアルの周知徹底。内容更新
- ・身体拘束防止の確認と巡視活動。

### (3) ヒヤリハット委員会

- ・ヒヤリハット、事故等に係る勉強開催と啓蒙活動。

- ・事故原因の検証（現場確認、対応策検証）
- ・ヒヤリハット巡視の実施。
- ・基本的な介護看護事故の撲滅。（投薬、転倒事故等）
- ・ヒヤリハット報告件数UPへの取り組み。

### 3. 施設運営

運営基準に沿った配置・書類・設備を点検。

- (1) 監査書類の整備（内部監査受監）  
監査対応を熟知した職員の育成。
- (2) 施設基準項目の管理  
適正配置人員の確保、加算要件等確認、制度の勉強。
- (3) 施設利用者に合わせた定員変更（担当厚生部）
  - ・エルムソーイング定員変更  
入所40名⇒30名、自立訓練10名⇒7名、  
就労移行支援10名⇒7名、就労支援A型10名⇒16名
  - ・その他の施設については随時変更を行う。
- (4) 2027年度は障害サービスの制度変更となる。制度変更内容をいち早く察知し、収入増へ繋げる内容を準備し変更届を行う。
- (5) 就労選択支援の利用者増員活動
  - ・高等養護学校との連携強化
  - ・就労選択支援員のスキルアップ

### 〈設備計画〉

備品購入・修繕等の優先順位を付け計画的に実施する。

※ワーク車椅子浴槽は補助金申請中であるが、該当にならない場合は実費にて行う。

※非常用発電機については、補助などがあれば申請を行い整備する。

※クリーナース GHP 入れ替えについて、2026年度は実施方法を引き続き WT にて検討し、2027年度補助金を活用した導入にむけて活動する。

# 「厚生部経営計画」

## 〈基本理念〉

支援・介護サービス、事務業務について、内容が適切であるかどうかを検証し、日々の利用者ニーズや制度に合わせた内容に変化させ、利用者支援の充実化を目指す

## 〈基本目的〉

個別の状況に合わせた総合的な支援

## 〈基本方針〉

1. 利用者の意向を踏まえ、本人のためになるかを考える
2. 部内オープンで協力・連携
3. 計画に基づいた活動

## 〈キーワード〉

『きちんとやる』

## 〈重点事項〉

1. 支援の見える化
2. 作業効率を高める
3. ルールの確認

## 〈基本的な支援、業務の取り組み〉

【目的】支援・業務を見える化し、統一した支援を行なう。

1. 利用者への統一したサービス提供、支援の実施
  - (1) 個別支援計画の標準化と質の向上
    - ① 意思決定・意思形成等尊重し、利用者目線で目標設定を行なう。特に計画内容に沿った支援を実施する。
    - ② レーダーチャートを見直し、分析を的確に行ない、活用していく。
    - ③ 随時担当者会議で運営方法の確認と見直しを行なう。
  - (2) 自立に向けた日常生活の支援
    - ① 利用者支援に関する業務確認・検討。
      - ・利用者支援の質向上を目的に、月一回の支援員業務会議の実施。日常生活支援の取組状況や課題を共有し、

統一した支援が出来る体制とする。

②生活環境および清潔保持に関する支援

- ・居室のタンスや棚等の整理整頓、および衣類状況を確認し、生活環境のカイゼンを行う。(年3回、各寮で3S巡視の実施等)
- ・歯磨き、入浴の確認等、身だしなみや整容面で清潔を保った生活の為の支援を行なう。

③金銭管理について

- ・日銭、週間、月間小遣いの払い出しの他、収支状況の確認や助言、特にスマホの課金等、高額な支払いにならない様にする。個々に合った金銭管理方法の見直しを行ない、将来に向けた貯蓄が出来る様支援を行なう。
- ・また、地域移行等、自立に向けた生活の為の自己管理に繋がる様、個別の支援の必要がある利用者への支援を強化する。

④スマホの利用について

- ・収支状況の確認やSNSの使い方について、助言・相談支援を行ない、高額請求やトラブルに繋がらない為の支援を実施する。

(3)各種マニュアルの見直し、更新、周知について

- ①定期的に各種マニュアルの有無の把握や精査、内容を見直し、更新を行なう。
- ②各職場や各職員、全員が把握できるように周知の方法を検討し実施する。2月を目途に年1回実施していく。

## 2. 具体的な取り組み

### (1)生活支援（各寮共通事項）

- ①利用者の居室確認、清掃を日々行ない、整理整頓の習得と習慣化の為、寮母と連携した居室確認や清掃等を実施。制服クリーニングの他、衣替えの確認や声掛け等支援を行なう。
- ②大型連休前や訪問販売実施時期に合わせて年3回の衣類確認、買い替え等の実施と古い衣類の処分を行う。

## 【クリーナーズ】

- ①知的障害者への生活支援の強化
  - ・朝の居室巡回時の声掛けを実施し、訴えの少ない利用者等、本人や周辺の異変、特変がないか確認の継続。
- ②高齢化に対する支援体制と看護師との連携強化
  - ・高齢化に伴い身体機能の低下や認知症傾向の利用者に対し、見守り体制と看護師との健康管理を推進する。

## 【ワークショップ】

- ①業務内容の効率化と介護サービスの質の向上
  - ・ICT 活用による業務の効率化と、それに伴いサービスの質を向上させる。
  - ・ICT 勉強会の実施や導入施設の見学。
- ②身体能力の維持活動
  - ・高齢化が進んでいる事を念頭に、リハビリや嚥下体操、口腔ケア、歯磨きの徹底や仕上げ磨きの介入、歯科受診前後の確認等、通常の支援を強化・継続する。
  - ・余暇活動は利用者の年齢や体力に合わせて、体操や輪投げ等、無理のない範囲で行なう。月2回など曜日を決め、計画的に行なっていく。
- ③介護技術向上に向けた勉強会の実施
  - ・介護技術やサービス・支援の質の向上の他、腰痛予防等、職員の資質向上につながる勉強会を企画・実施する。

## 【エルム・ソーイング】

- ①自立に向けた生活能力を身に付ける
  - ・勉強会を通じて生活能力について学んでもらう。共同生活、自立・地域での生活、就労等、社会生活で必要となる知識やルールの確認、身の回りの事や整容面等の必要な生活能力について学ぶ機会の提供を行なう。
- ②作業への安定した参加
  - ・作業にいけていない利用者への支援。（毎日の居室巡回での声掛け、促し、本人・家族との面談や情報共有の他、家族、看護師等と連携した対応）
- ③必要な衣類、生活物品等の確認・購入支援
  - ・対象者を決めて月1回の確認、買物等の実施。

## (2) 看護支援

### ① 看護師ミーティングの開催

- ・毎月、第一月曜日に開催。
- ・看護師の年間スケジュールを元に自分のやるべき内容、進捗状況を確認。
- ・利用者の各々にあった健康管理が行えるよう考える。

### ② 糖尿病・高脂血症・高血圧者を増加させないための指導/勉強会（栄養士と連携）

- ・各寮単位で病気についての勉強会の実施。

## (3) 食事提供支援

### ① 安定した給食の提供を行う

- ・コスト管理（食残の調査、使用食材の比較、変更、見直し等）で、食事の質を維持しつつ、コスト上昇を抑制する。

### ② セレクト会食の実施

- ・事前に利用者へ聞き取り調査を行い、開催。利用者の選ぶ楽しみを作る。

### ③ 豊かな会食の実施

- ・嗜好調査の実施・活用し、利用者の意見を反映させ食に対する楽しみを増やす。

### ④ 食堂の衛生面の確認と強化

- ・毎食後の食堂巡回を実施し、確認を行ない、調理員と連携して、汚れやすい箇所等の共有と、清掃の強化を実施する。また、食堂内の備品点検を行ない、修繕、買い替え等の必要性の有無を確認する。

## (4) 寮母業務

### ① 3施設完全固定化を行う

- ・利用者を寮母として受け入れる為の体制の整備の継続と、利用者支援業務を含めた体制の構築を行ない、より効率的に業務を進める事で、各施設固定化を進める。

### ② 年間スケジュールに則った清掃の実施

- ・通常の業務、時期ごとの業務等、年間スケジュールを作成し、計画的に実施する。

### ③ 清掃方法の見直し

- ・清掃箇所、頻度、用途等から、清掃用具の見直しを行ない、業務の効率化につなげる。

- ・清掃に関する情報収集と学びの場として、勉強会等を通じ、業務の効率化・資質向上を図る。
- ・寮母業務の見える化、業務の見直しを進め、効率化と平準化を目的にマニュアルを見直し更新する。

### 3. 部内全体での取り組み

#### (1) 各自の業務の見える化を行ない、業務の効率化を図る

- ①個別支援計画進捗確認表へ記載、厚生部経営会議で確認。
- ②支援員の業務効率化の為、集中して取り組める環境での業務の実施。事務的な業務については、1日2時間交代で個室に入り集中的な業務を行なう。
- ③提出期日のあるものについては期日を厳守する。
- ④ホワイトボード等を利用した業務内容の見える化、共有を継続。効率化、統一した支援につなげる。
- ⑤タイムスタディをもとにした業務内容の見直しと、不要な業務の削減等を行ない、残業が無い体制づくりと、1,960時間の年間労働時間を達成する。

#### (2) 働きやすく、働きがいのある職場づくり

- ①毎月15分程度の個別面談（1 on 1：所長⇒SL以上、主任、係長⇒役職者以外）等を通じ、目標の確認や悩み事等、言いやすい、確認しやす環境づくりを行なう。
- ②年間の有休7日間取得を推奨する。
- ③懇親を深める活動の継続実施。  
（誕生日、懇親会等：年間1名5千円）
- ④「みとめあう職場づくり運動」の継続。  
（すまいるレポート、ありがとうカード等）

#### (3) 職員勉強会

- ①研修計画に沿って、担当者ごとに内容を作成し研修を実施する。
- ②朝会について書籍等の読み合わせを行ない、個々のスキルアップにつなげる。
- ③外部研修への参加。

#### (4) 3Sの取り組み

- ①月1回の3S巡視の実施。
- ②衣類確認を含めた利用者各寮居室内巡視の継続。（3施設）

#### (5) カイゼン活動

- ①毎月のカイゼン提案の活動と評価を実施して、職員間で共有しながら、職場全体の作業効率を高める。
- (6) 事故・虐待防止・感染予防への取り組み
  - ①ヒヤリハットミーティング開催
    - ・ヒヤリハット件数アップへ取り組み。
    - ・事故報告書の提出・報告・検証。
    - ・検証内容を周知化。
    - ・緊急ヒヤリハットミーティングの開催による早期対応。
    - ・危険発見活動。
  - ②虐待防止への取り組み
    - ・セルフチェックの実施。
    - ・チェックリストの分析と検証。
    - ・検証による防止活動や周知化できる仕組み作り。
  - ③感染予防への取り組み
    - ・職員向け感染症者対応の勉強会の開催。  
(手洗い講習、ガウンテクニック、ノロウイルス想定  
の吐物処理方法等)
- (7) 利用者確保
  - ①本舎運営会議と連携し、施設 PR 活動（見学会、訪問活動等）、養護学校実習生の受け入れ、相談支援事業所等と連携しながら、利用者受け入れを強化する。
- (8) 就労選択支援
  - ①高等養護学校を中心として、アセスメント、モニタリング活動を行ない、利用者の就労先について支援を行なう。また、事業所としてもまだ未熟な事が多く、勉強会や講習会へ参加し、スキルの向上と体制の強化をしていく。

## 〈年間スケジュール〉

| 月   | 業務関係                                 | 行事関係                                      | 研修担当 | 5S 活動                         |
|-----|--------------------------------------|---|------|-------------------------------|
| 4月  | 新規利用者受入<br>GW 帰省準備                   | 新入舎会食<br>健康診断                             |      | 3S 巡視<br>ルーフドレン清掃             |
| 5月  | GW 帰省<br>収入申告手続                      | 子供の日会食                                    |      | 各寮外装窓清掃                       |
| 6月  | 収入申告手続                               | 訪問販売<br>野外会食<br>70周年旅行（洞爺）                |      | 3S 巡視                         |
| 7月  | 盆休帰省準備<br>高等養護実習受入                   | ソフトボール<br>夏祭り<br>70周年旅行（知床）               |      | 3S 巡視<br>エアコン点検<br>3施設居室巡視    |
| 8月  | 盆休帰省<br>高等養護実習受入                     | 野外会食                                      |      | 3S 巡視                         |
| 9月  | 養護<br>高等養護実習受入                       | パークゴルフ<br>敬老の日会食                          |      | 各外装窓清掃<br>3S 巡視               |
| 10月 | 高等養護実習受入                             | 卓球<br>鍋会食<br>70周年旅行（東京）                   |      | ルーフドレン清掃<br>暖房点検              |
| 11月 | 経営計画作成<br>予算作成                       | 訪問販売<br>ホットプレート会食<br>健康診断<br>70周年旅行（大阪2回） |      | 3S 巡視<br>寮内 WAX 掛け<br>3施設居室巡視 |
| 12月 | 正月帰省準備<br>経営計画作成<br>予算作成<br>高等養護実習受入 | 年越し会食<br>クリスマス会<br>70周年旅行（沖縄）             |      | 3S 巡視<br>大掃除<br>食堂 WAX 掛け     |
| 1月  | 正月帰省<br>経営計画作成<br>予算作成<br>利用者異動確認    | T ボール<br>成人式会食                            |      | 3S 巡視<br>屋上・GH 屋根雪下ろし         |
| 2月  | 利用者 GH 異動<br>利用者引越し                  | 節分会食                                      |      | 3S 巡視                         |
| 3月  | 新規利用者受入<br>体制届提出                     | ひな祭り会食<br>70周年旅行（台湾）                      |      | 3S 巡視<br>3施設居室巡視              |

## 〈設備計画〉

- ・設備計画については本舎施設設備計画に準ずる。

# 「グループホームメイプル経営計画」

## 〈基本目的〉

利用者が自立した社会生活を送るための支援を行う

## 〈基本方針〉

1. 利用者が安全に安心して暮らせる住まいの場とする
2. 利用者が自分で決めることを増やし、出来るように支援をする
3. 利用者の個性を尊重し、共同生活・社会のルールを学べる支援をする

## 〈キーワード〉

『 やりたい やりたくない とにかくやってみる 』

## 〈重点事項〉

1. 支援体制の土台作り
2. 出来ることを増やす取組み

## 〈重点事項の詳細〉

1. 支援体制の土台作り
  - (1) 食費、共益費の見直しと請求金額の変更実施
  - (2) 各業務のマニュアルを作成し、誰でも業務が出来る体制を構築する。
  - (3) 支援員同士の情報共有の場を持つ（朝・夕）
  - (4) 世話人業務会議を通じて利用者の生活状況を共有する
  - (5) 設備や備品をリストアップし更新や老朽化の修繕を計画的に行う
  - (6) GH 移行予定利用者の体験入居を実施する
  - (7) 厚生部と連携した個別支援計画の策定をする
  - (8) 寝具交換体制の構築
  - (9) 世話人行事をはじめとした GH での行事の見直しと実施
2. 出来ることを増やす取組み
  - (1) 生活の場での意思決定を支援する
  - (2) 利用者に公共交通機関の利用方法を教える
  - (3) 利用者への調理の機会を提供する
  - (4) 自立生活に向けた作業工賃の自己管理の支援をする
  - (5) 役割付与による責任感とやりがいを持たす

- (6)強化月間を取り入れ、ポイントでの支援強化を行う
- (7)小銭の使い方や金種について教える
- (8)ありがとうが自然に言えるような習慣作り

### 3. 研修計画

- (1)毎月 1 回世話人を含めての研修会の実施
- (2)各月で支援員勉強会の実施
- (3)法人内、法人外のGHの見学
- (4)虐待・身体拘束防止研修
- (5)利用者を含めた防災訓練の実施

### 4. その他

- (1)マットレスの購入と管理方法について定める
- (2)今後のGHの棟数、管理方法について検討する
- (3)茶話会や忘年会など職員の交流の場を提供する
- (4)1on1 ミーティングの実施

## 〈年間予定〉

| 上期 |    | 実施内容                     | 清掃関係                    | 研修                   |
|----|----|--------------------------|-------------------------|----------------------|
| 4月 | 上旬 | 新規利用者対応<br>強化月間：歯磨き      | 外壁虫取り<br>蛍光灯掃除          |                      |
|    | 中旬 | 自転車準備 帰省対応               |                         | 支援員<br>ADL支援の自立度の工夫  |
|    | 下旬 | 自転車講習 帰省対応<br>自転車乗り初め    | 草刈り 除草剤散布               | 世話人<br>記録の書き方・観察力向上  |
| 5月 | 上旬 | 強化月間：ゴミ拾い<br>暖房終了        | 食卓テーブルの足裏掃除             |                      |
|    | 中旬 | 草刈り 買い物ツアー               | 冷蔵庫掃除                   |                      |
|    | 下旬 | 野外会食準備                   | 中窓磨き                    | 世話人<br>金銭管理とリスク管理    |
| 6月 | 上旬 | 収入申告<br>強化月間：ありがとう       | 外窓洗い（若木町）               |                      |
|    | 中旬 | 収入申告 世話人茶話会              | 洗濯機掃除<br>換気扇掃除          | 支援員<br>問題行動の背景要因の整理  |
|    | 下旬 | 収入申告                     | 玄関水洗い                   | 世話人<br>水分補給と熱中症対策    |
| 7月 | 上旬 | エアコン開始<br>強化月間：水分        | 外窓洗い（錦町）<br>蛍光灯掃除 炊飯器掃除 |                      |
|    | 中旬 | 帰省対応                     | 支援員と利用者居室掃除<br>ストーブ点検   |                      |
|    | 下旬 | 帰省対応<br>しまむら訪問販売         | 草刈り<br>除草剤散布            | 世話人<br>家族支援と連携のポイント  |
| 8月 | 上旬 | 強化月間：制服洗濯・洋服チ<br>ェック     | ベッドの足裏掃除<br>蛍光灯掃除       |                      |
|    | 中旬 | 夏祭り準備                    | レンジ掃除<br>食卓椅子掃除         | 支援員<br>金銭とSNSトラブルの予防 |
|    | 下旬 | 夏祭り                      |                         | 世話人<br>服薬支援と事故防止     |
| 9月 | 上旬 | 世話人行事 手持ち花火大会<br>強化月間：運動 | 外壁虫取り                   |                      |
|    | 中旬 | 世話人行事 冬服点検               | 利用者冷蔵庫霜取り<br>玄関水洗い      |                      |
|    | 下旬 | 世話人行事 修理・購入品確認<br>エアコン終了 | 支援員と利用者居室掃除             | 世話人<br>防災関係          |

| 下期  |    | 実施内容                          | 清掃関係                       | 研修                        |
|-----|----|-------------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 10月 | 上旬 | 内部監査 強化月間：挨拶<br>しまむら訪問販売      | 支援員と利用者居室掃除<br>蛍光灯掃除       |                           |
|     | 中旬 | 買い物ツアー                        | 換気扇掃除<br>ゴミ箱洗い             | 支援員<br>生活の質視点の支援          |
|     | 下旬 | 自転車終了 暖房開始                    |                            | 世話人<br>感染症対策              |
| 11月 | 上旬 | 窓枠設置 除雪道具確認<br>強化月間：食べすぎ気を付ける | エアコン清掃<br>扇風機掃除            |                           |
|     | 中旬 | 経営計画作成                        | ロスナイ換気扇（若木）                | 支援員                       |
|     | 下旬 | 経営計画作成                        |                            | 世話人<br>権利擁護と虐待防止          |
| 12月 | 上旬 | 経営計画作成 クリスマス会<br>強化月間：断捨離     | ロスナイ換気扇（錦町）                |                           |
|     | 中旬 | 帰省対応 予算作成                     | 利用者冷蔵庫霜取り                  | 支援員 こだわり行動と反<br>復行動の理解と対応 |
|     | 下旬 | 帰省対応 予算作成                     |                            | 世話人<br>個別支援計画と支援評価        |
| 1月  | 上旬 | 帰省対応<br>強化月間：当番               | ワックス掛け（若木）<br>換気扇掃除        |                           |
|     | 中旬 | 予算作成                          | ワックス掛け（若木）                 |                           |
|     | 下旬 | 予算作成                          | ワックス掛け（若木）                 | 世話人<br>運営基準と加算要件          |
| 2月  | 上旬 | 強化月間：洗身                       | ワックス掛け（あかり）<br>ワックス掛け（えにし） |                           |
|     | 中旬 | 引っ越し                          |                            | 支援員<br>振り返りとケースレビュー       |
|     | 下旬 | 引っ越し                          | 支援員と利用者居室掃除                | 世話人<br>アンガーマネジメント         |
| 3月  | 上旬 | 新規利用者対応 加算届<br>強化月間：靴         |                            |                           |
|     | 中旬 | 新規利用者対応 加算届                   |                            |                           |
|     | 下旬 | 新規利用者対応 加算届                   |                            | 世話人<br>次年度経営計画            |

# 「ホームクリーニング工場経営計画」

## 〈基本目的〉

1. 働く人に、安心・安全な職場を提供する
2. ホームクリーニングの技術習得への職業支援をする
3. 時代のニーズに合わせ、専門的な知識と技術によるホームクリーニングを行う

## 〈基本方針〉

1. 働く人の目線に立って、危険個所の改善に努める
2. 利用者ひとりひとりに合った作業と、適切な職場配置を提供する
3. 知識の習得と技術の継承の機会を設ける
4. 時代の変化を捉えた商品を開発し提供し続ける
5. 日々の喜びや苦勞を分かち合える職場環境の形成に努める

## 〈キーワード〉

『あなたらしく、みんなでカタチにする工場へ』

## 〈重点事項〉

1. 変化に合わせた工場への作り替え
2. 働きがいのある職場づくり

## 〈具体的取組〉

1. 変化に合わせた工場への作り替え
  - (1) 法人物件受入れの強化
    - ① 私物洗濯部門の生産性向上
      - ・レイアウト変更による拡張及び二部門体制
      - ・工程分割に細分化
      - ・乾燥工程見直しによる効率化
    - ② ユニフォーム部門の生産性向上
      - ・OAフォルダー新規導入の活用
      - ・フィニッシャーの有効活用
      - ・レイアウト変更によるエリア活用
    - ③ マットレス部門の受入拡大
      - ・乾燥力の強化
      - ・エリア拡張

- ・ 検針等の新サービスの検討
- (2) ビジネスアイテム減少対応
  - ① ドライ洗浄部門の効率化
    - ・ 必要設備の台数精査
    - ・ パーク、ゾールエリアの統一
    - ・ 省人化と運搬距離の短縮
  - ② 仕上部門の生産方式変更と効率化
    - ・ 作業場の集約
    - ・ フィニッシャー活用とプレスラインの縮小
    - ・ 簡単仕上品の開発と手仕上品の削減

## 2. 働きがいのある職場づくり

- (1) 信頼関係を築く
  - ① 確認と傾聴の仕組みづくり
    - ・ 1on1 ミーティングの実施
    - ・ 相談窓口とメール相談受付の開始
  - ② 見える化と言える化の仕組みづくり
    - ・ ランチ会の開催
    - ・ 資格制度の創設
    - ・ 感謝を伝える活動
- (2) 人材育成
  - ① 研修の実施
    - ・ クロストレーニング
    - ・ 外部研修受講
    - ・ 内部研修の実施
  - ② 勉強会の実施
    - ・ クリーニングの知識習得
    - ・ レベルに合わせた技術の習得
    - ・ 資格取得
- (3) 職場環境整備
  - ① 保管庫
    - ・ カビ対策強化
    - ・ 保管以外の利用方法の検討
  - ② 安心安全への取り組み
    - ・ 5S 仕組みづくり
    - ・ 蒸気、エアー漏れ 0 への取り組み



# 「赤平リネンサプライ工場経営計画」

## 〈基本目的・理念〉

1. お客様に満足して頂けるサービスを提供し、リネンサプライを通じて地域の経済発展に貢献する。
2. 働く人が安心、安全でやりがいをもって働ける職場環境を整備する。
3. 利用者の作業能力向上と自立を目指した作業支援を提供する。

## 〈基本方針〉

1. 常に清潔・安定品質な製品をお客様に提供し、北海道の観光市場のニーズに合わせた工場運営を追求する。
2. お客様の考えを大切にし、営業と連携してお客様ニーズに迅速かつ正確な対応をする。
3. 働く人が継続して作業出来る職場環境づくり、生産システムを構築する。
4. 利用者の能力・長所を活かし、それぞれの目標に合わせた支援を行う。

## 〈キーワード〉

『思いやりを形にしよう』

## 〈重点事項〉

1. 生産性向上
2. 働きやすい環境整備
3. 知る⇒学ぶ⇒行動する

## 〈具体的取り組み〉

1. 生産性向上
  - (1)工場稼働時間の統一（担当：野島）
  - (2)混入品抑制（担当：馬場L・平田係）
  - (3)機械メンテナンス（担当：久保係長）
  - (4)人時出荷点数、1000点の必達（担当：渡部係長）

2. 働きやすい環境整備
  - (1) 2F 暑さ対策（担当：野島・石田）
  - (2) 仕分けの作業環境見直し（伊藤L）
  - (3) ハラスメントの理解と周知（担当：塚本）
  
3. 知る⇒学ぶ⇒行動する（担当者：高江課長）
  - (1) 他部門業務体験
  - (2) 内部研修
  - (3) 営業客先同行

# 「ていく経営計画」

## 〈基本目的〉

1. 利用児者と家族の幸せな生活を支える
2. 地域に頼られる事業所となる

## 〈基本方針〉

1. 利用児者と家族に安心安全を提供する
2. 地域貢献活動を積極的に行う

## 〈キーワード〉

『 ちいさな喜び おおきな笑顔 』

## 〈重点事項〉

1. 働く人たちが、働きがいを感じる職場をつくる
2. 利用する人たちが、喜びを得られる活動を行う
3. 経営を黒字化する

## 〈重点事項の詳細〉

1. 働く人たちが、働きがいを感じる職場をつくる

### 〈活動の目的〉

- ・ 認め合い称え合う組織づくり
- ・ チーム力向上
- ・ ここで働き続けたいと思える職場にする

### (1)ハピネスPJ活動

#### ①「写真コンテスト」企画実行

- ・ 活動を楽しみながら他者を認め、称える
- ・ 日常の「良い場面」を知り合い、喜び合い称え合う支援の水平展開を図る
- ・ 笑顔を増やし、働きやすい職場をつくる

#### ②「ひとり一言」「ありがとうカード」企画実行

### (2)チャレンジ・ザ・職員

ひとり一人の挑戦を応援する

#### ①「働く人たち」の挑戦

- ・ 資格取得(相談支援専門員、児発管、大型免許、その他)
- ・ 新たな取組み、活動、提案の言える場をつくる
- ・ Instagram アカウント開設

### (3)育成活動

#### ①管理者面談、リーダー面談

#### ②内部研修、外部研修

- ③法人内研修、クロストレーニング
  - ④クロストーク
    - ・「学び合う場」「気軽に話せる場」の創設
  - (4)「言える化」活動
    - ①「言える場」をつくる
      - ・「価値観の共有」
      - ・他者の価値観を知り認め、円滑なコミュニケーションをつくる
    - ②1on1 面談
      - ・自分の気持ちや考えを安心して発言できる「心理的安全性」の担保
        - ・職員面談、パート者面談の実施
  - (5)「働きやすい職場」をつくる
    - ①休日 120 日の遂行
    - ②有休 6 日/年以上の取得
    - ③業務の 2S 活動
    - ④多様な働きかた
      - ・働き手に合わせた採用
  - (6) 10 周年記念事業
    - ①10 周年祝賀会
      - ・目的：働く人たちに感謝し事業の継続を祝う
      - ・実施：4 月 WT：1 月発足
      - ・予算：1 万円/人
    - ②10 周年記念大運動会 ～10 年だヨ！全員集合～
      - ・目的：みんなで生誕 10 年を喜びあう
      - ・実施：10 月 赤平市総合体育館 WT：4 月発足
      - ・予算：50 万円
      - そうだん、託児所各 5 万円、きっず各 10 万円
  - (7)職員親睦会
    - 10 周年記念事業に変更し 2026 年度中止
2. 利用する人たちが、喜びと安心を得られる活動を行う
- (1)チャレンジ・ザ・利用児者
    - ひとり一人の挑戦を応援する
    - ①「利用する人たち」の挑戦
      - ・「初めて」のこと「苦手」なことへの応援
      - ・「満足」「達成感」を得られるサービスの提供
      - ・新たな活動、行事の企画実行
  - (2)リスク管理

- ・利用する人たちの「安心」を担保する
- ・各事業所活動、運営会議検証

### 3. 経営を黒字化する

- ・経常増減差額の黒字転換
- ・戦略の具体化、活動の実行

#### 〈内部活動〉

| 活動                                | リーダー          | AD | メンバー     | 備考          |
|-----------------------------------|---------------|----|----------|-------------|
| ハピネスPJ                            |               |    | 5名       | 各事業所選出      |
| 10周年祝賀会 WT                        | 井下            | 佐藤 | 2名       | 4月:予算 1万円/人 |
| 10周年大運動会実行委員会<br>運動会 WT<br>祝賀会 WT | 実行委員長 舘<br>貴田 | 井下 | 3名<br>3名 | 10月:予算 50万円 |

#### 〈内部研修〉

| 実施 | 担当者    | 内容       | 実施  | 担当者    | 内容      |
|----|--------|----------|-----|--------|---------|
| 4月 | 井下・舘   | ていく総会    | 10月 | 渡部     | クロスT報告会 |
| 5月 | 山本圭・草間 | 確連報      | 11月 | 成澤・安藤  | 調理関係    |
| 6月 | 小山優・森田 | 未定       | 12月 | 鈴木・貴田  | 介護職経験関係 |
| 7月 | 木曾・中島  | 未定       | 1月  | 小林・森   | 新しい職員視点 |
| 8月 | 山本圭佑   | 救急関係     | 2月  | 林・村田   | 未定      |
| 9月 | 野島・神村  | アセスメント道場 | 3月  | 小山愛・薄田 | 事務職関係   |

#### 〈設備計画〉

| No. | 実施 | 設備名    | 台数 | 設備予算       | 設備目的  |
|-----|----|--------|----|------------|-------|
| 1   | 4月 | パソコン   | 1  | 130,000円   | あかびら  |
| 2   | 4月 | パソコン   | 1  | 130,000円   | さくらんぼ |
| 3   | 5月 | 玄関ドア改修 | 4  | 550,000円   | そうだん  |
| 4   | 6月 | 外壁補修   | 1  | 600,000円   | あかびら  |
| 5   | 9月 | 車両     | 1  | 2,500,000円 | たきかわ  |
|     |    | 合計     |    | 3,910,000円 |       |

# 「そうだんのていく経営計画」

## 〈重点事項〉

1. 働く人たちが、働きがいを感じる職場をつくる
2. 利用する人たちが、喜びを得られる活動を行う
3. 経営を黒字化する

## 〈重点事項の詳細〉

1. 働く人たちが「働きがい」を感じる職場をつくる

### (1) 「働きやすい職場」をつくる

#### ① 「言える化」活動

目的：価値観の共有による相互理解

方針：事業所内・外の「言える場」「言える環境」整備  
〈取組み〉

- ・月1回の言える場づくり…言える化MT

#### ② 休日120日の遂行 有休7日/年以上の取得

〈取組み〉

- ・テレワークの継続 1回/月
- ・業務の2S…四半期ごとの「業務見直し会議」開催

### (2) チャレンジ・ザ・ていく (WT：佐藤、野島)

#### ① アセスメント道場 in 赤平の開催

目的：事例検討を通して地域課題を知る

方針：地域の困難事例を寄って集って考える場をつくる  
〈取組み〉

- ・野中式事例検討会
- ・対象：福祉、介護、医療、行政等の多職種
- ・開催：6月・11月

2. 利用する人たちが「喜び」を得られる活動を行う

### (1) チャレンジ・ザ・ていく (WT：草間、石崎)

#### ① 不登校児の新たな一歩 (お弁当配り)

目的：不登校児が外に出るきっかけになる

方針：お弁当配りを通した一言の関係性づくり

<取組み>

- ・不登校児向け配食活動 月1回
- ・市内小中学校、飲食店と連携
- ・予算：20万円（月30～40食配布）

②こども食堂 inみらい

目的：地域の子どもたちが集う場をつくる

方針：「こども食堂」定着

<取組み>

- ・開催：夏冬休み（8月、1月）
- ・予算：30万円（1回15万円）
- ・地域の人たちと連携して実施

### 3. 経営を「黒字化」する

#### (1) 経営の安定

①養護学校訪問、就労選択支援事業所

目的：収入増による事業安定

方針：卒業後の本利用に係る計画相談に繋げる

<取組み>

- ・養護学校、就労選択支援事業所への訪問活動
- ・活動エリア：空知・旭川
- ・訪問時期：4月・5月・6月予定

②定期的な関係者会議の開催（児童）

目的：会議開催による加算取得と関係機関連携

方針：定期的な会議開催

<取組み>

- ・小中養護学校、各事業所との情報共有の場
- ・開催時期：7月・8月・1月・2月

## 〈年間計画〉

単位：円

|     | 内容   | 担当                                       | 予算 |
|-----|--|--|----|
| 4月  | 訪問活動①(南空知)<br>ていく祝賀会                         | 佐藤、草間                                    |    |
| 5月  | 訪問活動②(雨竜・事業所)<br>お弁当配り<br>入口ドア改修工事<br>HSK 研修 | 佐藤、野島<br>石崎、草間、<br><br>青野、佐藤、神村<br>野島、草間 |    |
| 6月  | アセスメント道場①<br>訪問活動③(旭川)<br>お弁当配り              | 野島<br>野島、草間<br>石崎、草間、                    |    |
| 7月  | 相談支援従事者 現任研修<br>お弁当配り<br>関係者会議 1-①           | 野島(青野)<br>草間<br>野島                       |    |
| 8月  | こども食堂<br>関係者会議 1-②                           | WT<br>草間                                 |    |
| 9月  | お弁当配り<br>コラボ研修①                              | 草間<br>佐藤、野島、草間                           |    |
| 10月 | ていく大運動会<br>お弁当配り                             | WT<br>草間                                 |    |
| 11月 | アセスメント道場②<br>お弁当配り<br>道央ブロック研修               | 野島<br>草間<br>青野、佐藤、神村<br>草間、野島            |    |
| 12月 | お弁当配り  | 草間                                       |    |
| 1月  | こども食堂<br>コラボ研修②<br>関係者会議 2-①                 | WT<br>佐藤、草間、野島<br>草間                     |    |
| 2月  | お弁当配り<br>関係者会議 2-②<br>HSK 研修                 | 草間<br>野島<br>青野、佐藤、神村<br>草間、野島            |    |
| 3月  | 道央ブロック研修                                     | 青野、佐藤、神村<br>草間、野島                        |    |
| 合計  |  |  |    |

※研修：1人1回30,000円換算、現任研修：1人1回50,000円

こども食堂：1回150,000助成金、お弁当配り：1回20,000北門助成金

# 「きっすていく経営計画」

## 〈きっすていく心得〉

「児童と家族の笑顔と安心を保証し、今を支え未来に繋げる」

## 〈重点事項〉

1. 働く人たちが、働きがいを感じる職場をつくる
2. 利用する人たちが、喜びと安心を得られる活動を行う
3. 経営を黒字化する

## 〈重点事項の詳細〉

1. 働く人たちが、働きがいを感じる職場をつくる

### (1) チャレンジ・ザ・ていく

目的：成功体験・達成感を味わい、仕事にやりがいを持つ

方針：一年間の目標・挑戦を掲げ、一人ひとりを応援する

〈取組み〉

- ・一年後の自分にメッセージ（4月実施）
- ・進捗確認 1on1 面談（5月開始、隔月）
- ・発表会 2月実施

### (2) ていくの部屋

目的：相互理解を深める

方針：困難事例や嬉しかったことを気軽に話す

〈取組み〉

- ・週1回毎週水曜日 10:00~10:40
- ・ZOOM 開催

### (3) 「言える化」活動

目的：コミュニケーションの活性化、相互理解の促進

方針：発言しやすい場を作り、心理的安全性を高める

〈取組み〉

- ①あかびら：ランチミーティング（5月開始、隔月）
  - ・パート者も交えて実施
- ②あしべつ：帰りの会（毎日）
  - ・パート者も交えて実施
  - ・就業前5分間トーク
- ③さくらんぼ：キラキラ支援カフェ（週1回）
  - ・支援の方法について語り合う
  - ・年4回はランチ

- ④たきかわ：TT（ていくたきかわ）トーク（月1回）
  - ・カフェスタイル
  - ・パート者も交えて実施

#### (4)働きやすい職場をつくる

<取組み>

- ①有休7日/年以上の取得
- ②あしべつ
  - ・土曜日休業による休日120日の確保
- ③あかびら・さくらんぼ・たきかわ
  - ・休日120日をシフトに組み込む
- ④きっず全体で応援体制を組み、連休を確保する

## 2. 利用する人たちが、喜びと安心を得られる活動を行う

### (1)こども安心ミーティング

目的：自己受容、自己肯定感高める

方針：安心感・楽しい場を提供する

<取組み>

- ①あかびら：みんなの広場（4月開始、隔月）
  - ・やりたいこと、挑戦したいことを発表し、活動室内に掲示する
  - ・職員との1on1面談、個別支援計画アセスメントとする
- ②あしべつ：コーチング（計画更新時に実施）
  - ・児童との1on1面談、個別支援計画アセスメントとする
  - ・児童の自主性を高める
- ③さくらんぼ：活動MT（3か月に1回）
  - ・児童と職員が活動内容を話し合い実行
  - ・やりたいことを叶える活動
- ④たきかわ：ていくルーム（4月開始、3か月に1回）
  - ・職員との1on1面談、個別支援計画アセスメントとする

### (2)こども計画会議

目的：児童のやりたい事を叶える

方針：個別支援計画会議の児童参画

<取組み>

- ・参加者スケジュールの作成（4月）
- ・計画案の説明

- ・職員と一緒に一年間の目標を立てる

### (3) リスク管理

目的：利用児童の安心・安全を担保する

方針：リスク管理内部委員会にて遂行

<取組み>

- ・内部委員会の発足
- ・BCP 研修会（年 2 回）
- ・危険箇所チェックの実施（月 1 回）

## 3. 経営を黒字化する

目的：収入増による経営の安定

方針：利用予定数を維持、加算取得による単価増

<取組み>

### ①あかびら：利用希望日調査の実施（4 月）

- ・曜日固定利用から希望日を調整した予定表へ変更する

### ②あしべつ：支給量・加算対象児童の見直し

### ③さくらんぼ：単価増の取組み

- ・利用時間の延長による加算取得
- ・専門的支援実施加算取得

### ④たきかわ：新規利用者増

- ・相談支援事業所との情報共有の活性化（隔月）
- ・加算対象該当児童の見直し
- ・個別サポート加算、強度行動障害加算指標のチェック
- ・利用率アップに向けた高学年向けの活動提供

## 〈年間計画〉

単位：

円

|    | 内 容       | 担 当     | 予 算 |
|----|-----------|---------|-----|
| 4月 | きっず合同通信発行 | 小山（愛）   |     |
| 5月 | 制服入れ替え    | WT メンバー |     |

## 〈資格取得〉

単位：

円

|     | 項 目               | 参 加 者             | 予 算 |
|-----|-------------------|-------------------|-----|
| 5月  | 発達支援勉強会（担当：さくらんぼ） | 職員全員              |     |
| 6月  | クロストレーニング         | 渡部                |     |
| 6月  | ふくし講演会            | 職員全員              |     |
| 10月 | 虐待防止研修            | 小山（優）・河村佐々木・小山（愛） |     |
| 10月 | 児童福祉施設初任者研修       | 鈴木                |     |
| 11月 | 発達支援勉強会（担当：あかびら）  | 職員全員              |     |

## 〈活動・行事〉

単位：

円

|     | 内 容       | 担 当     | 予 算 |
|-----|-----------|---------|-----|
| 4月  | 10周年記念祝賀会 | 井下      |     |
| 7月  | 光生舎夏祭り    | WT メンバー |     |
| 10月 | ていく大運動会   | WT メンバー |     |

## 〈研修〉

単位：

円

|    | 項 目           | 参 加 者          | 予 算    |
|----|---------------|----------------|--------|
| 4月 | 児発管基礎研修       | 河村・工藤<br>小山（愛） |        |
| 5月 | 大型免許          | 山本             |        |
| 5月 | 強度行動障害(基礎・実践) | 木曾・成澤<br>渡部・小林 |        |
| 7月 | 児発管実践研修       | 木曾             |        |
| 8月 | 児発管実践研修       | 小山（優）          | 20,000 |



# 〈きっずていくあかびら 年間計画〉

単位：

円

| 実施月 | 内 容   | 予 算 | 担当者                           | 備 考                                     |
|-----|---|-----|-------------------------------|---|
| 4月  | 【親睦】10周年祝賀会<br>【連携】きっず合同通信発行<br>【資格】児癆管基礎研修<br>【購入】パソコン                   |     | 井下<br>小山（愛）<br>小山（愛）          | 福利厚生費<br>研修研究費<br>減価償却費                 |
| 5月  | 【衛生】エアコン洗浄<br>【活動】げんき農園<br>ゴミ拾い活動<br>ランチ MT<br>【研修】発達支援勉強会<br>【その他】制服入れ替え |     | 小山（愛）<br>成澤<br>成澤<br>井下<br>WT | 保健衛生費<br>教養娯楽費<br>会議費<br>研修研究費<br>福利厚生費 |
| 6月  | 【行事】児癆親子行事：水族館<br>【研修】ふくし講演会<br>【修繕】外壁補修                                  |     | 貴田<br>WT                      | 行事費<br>研修研究費<br>修繕費                     |
| 7月  | 【衛生】カーペット洗浄<br>【行事】光生舎夏祭り<br>【訓練】風水害避難訓練<br>【活動】かえで塾交流会<br>ランチ MT         |     | 小山（愛）<br>井下<br>貴田<br>成澤<br>井下 | 保健衛生費<br>行事費<br>会議費                     |
| 8月  | 【活動】長期休暇活動<br>【連携】関係者会議<br>（幼稚園・小中学校）<br>【訓練】火災避難訓練                       |     | 小山（愛）<br>井下<br>貴田             | 教養娯楽費                                   |
| 9月  | 【行事】文化祭&収穫祭<br>【訓練】シェイクアウト<br>【活動】高齢者施設訪問<br>ゴミ拾い活動<br>ランチ MT             |     | 小山（愛）<br>貴田<br>成澤<br>成澤<br>井下 | 行事費<br>会議費                              |
| 10月 | 【行事】ていく大運動会<br>【活動】ハロウィンウィーク<br>【研修】虐待防止研修                                |     | WT<br>成澤<br>小山（愛）             | 行事費<br>教養娯楽費<br>研修研究費                   |
| 11月 | 【研修】発達支援勉強会<br>【教育】他事業所見学<br>【訓練】防犯訓練（たきかわ合同）<br>【活動】ランチ MT               |     | 井下<br>井下<br>貴田<br>井下          | 研修研究費<br>研修研究費<br>会議費                   |
| 12月 | 【行事】クリスマス会<br>お掃除&プチ忘年会   |     | 小山（愛）<br>貴田                   | 行事費<br>行事費                              |
| 1月  | 【連携】関係者会議<br>（幼稚園・小中学校）<br>【訓練】火災避難訓練<br>【活動】長期休暇活動<br>かえで塾交流会<br>ランチ MT  |     | 井下<br>貴田<br>成澤<br>成澤<br>井下    | 教養娯楽費<br>会議費                            |
| 2月  | 【活動】除雪ボランティア  |     | 成澤                            |   |
| 3月  | 【行事】卒業式   |     | 小山（愛）                         | 行事費                                     |
| 通年  | 【連携】託児所合同会議（毎月）<br>託児所幼児との交流活動  |     | 井下                            |   |
|     | 合 計   |     |                               |   |

# 〈きっずていくあしべつ 年間計画〉

単位：

円

| 実施月 | 内 容   | 予 算 | 担 当                  | 備 考                     |
|-----|---|-----|----------------------|-------------------------|
| 4月  | 【親睦】10周年記念祝賀会   |     |                      | 福利厚生費                   |
| 5月  | 【活動】花・苗植え   |     | 佐々木                  | 教養娯楽費                   |
| 6月  | 【衛生】エアコンクリーニング  |     | 佐々木                  | 雑費                      |
| 7月  | 【行事】光生舎夏祭り<br>【訓練】風水害避難訓練<br>【活動】夏休み諸活動               |     | 全員<br>佐々木<br>平賀      | 教養娯楽費                   |
| 8月  | 【連携】関係者会議(小・中学校)<br>【訓練】火災避難訓練<br>【行事】育成会療育旅行<br>おでかけ |     | 木曾<br>木曾<br>木曾<br>平賀 | 行事費<br>教養娯楽費            |
| 9月  | 【訓練】防犯訓練<br>シェイクアウト<br>【研修】他事業所見学<br>【活動】高齢者施設訪問      |     | 平賀<br>木曾<br>佐々木      | さくらんぼ合同<br>渉外費<br>行事費   |
| 10月 | 【活動】ハロウィンウィーク<br>【行事】ていく大運動会・懇親会                      |     | 平賀<br>全員             | 教養娯楽費<br>行事費            |
| 11月 | 【活動】免疫カアップ月間  |     | 全員                   | 教養娯楽費                   |
| 12月 | 【研修】感染症予防研修<br>【活動】クリスマスウィーク<br>【活動】冬休み諸活動            |     | 木曾<br>佐々木<br>平賀      | 研修研究費<br>教養娯楽費<br>教養娯楽費 |
| 1月  | 【連携】関係者会議(小・中学校)<br>【活動】新年会<br>【訓練】火災避難訓練             |     | 木曾<br>平賀<br>佐々木      | 教養娯楽費                   |
| 2月  | 【研修】救急訓練  |     | 木曾                   | 誤嚥・てんかん                 |
| 3月  | 【活動】お楽しみ会   |     | 佐々木                  | 教養娯楽費                   |
| 合 計 |   |     |                      |                         |

# 〈きっずていくさくらんぼ 年間計画〉

単位：円

| 実施月 | 内 容   | 予 算 | 担当                         | 備 考                 |
|-----|---|-----|----------------------------|---------------------|
| 4月  | 【親睦】10周年記念祝賀会<br>【活動】こども活動MT                                      |     | 全員                         | 福利厚生費<br>教養娯楽費      |
| 5月  | 【活動】教材購入<br>【購入】PC1台  |     | 矢神<br>館                    | 教養娯楽費<br>減価償却費      |
| 6月  | 【活動】学休日活動   |     | 小林                         | 教養娯楽費               |
| 7月  | 【活動】こども活動MT<br>【行事】光生舎夏祭り<br>【活動】夏休み諸活動                           |     | 全員<br>鈴木                   | 教養娯楽費               |
| 8月  | 【連携】関係者会議(小、中学校)<br>【訓練】総合避難訓練<br>【行事】手をつなぐ育成会合同行事                |     | 館<br>小林<br>工藤              | 子どもセンター全体<br>行事費    |
| 9月  | 【活動】学休日活動<br>【訓練】防犯訓練<br>【研修】他事業所見学<br>【訓練】風水害避難訓練<br>【行事】高齢者施設訪問 |     | 鈴木<br>河村<br>中島<br>工藤<br>河村 | 教養娯楽費<br>行事費        |
| 10月 | 【活動】こども活動MT<br>【訓練】地震避難訓練<br>【行事】ていく大運動会・懇親会                      |     | 全員<br>小林                   | 教養娯楽費<br>行事費        |
| 11月 | 【訓練】総合避難訓練  |     | 鈴木                         | 子どもセンター全体           |
| 12月 | 【研修】嘔吐処理研修<br>【行事】育成会クリスマス会<br>【活動】冬休み諸活動                         |     | 河村<br>中島<br>小林             | 行事費<br>教養娯楽費        |
| 1月  | 【連携】関係者会議<br>【活動】こども活動MT  |     | 中島<br>全員                   | 小、中学校               |
| 2月  | 【訓練】救急訓練<br>【行事】育成会卒業を祝う会   |     | 矢神<br>河村                   | 行事費                 |
| 3月  | 【連携】関係者会議<br>【活動】春休み諸活動   |     | 中島<br>工藤                   | 新1年生引継ぎ             |
| 通年  | 【活動】こども計画会議～通年<br>【研修】書籍購入<br>【活動】デジリハ<br>【購入】オープン、餅つき機           |     | 全員<br>小林<br>鈴木<br>矢神       | 研修費<br>教養娯楽費<br>備品費 |
| 合 計 |   |     |                            |                     |

# 〈きっずていくたきかわ 年間計画〉

単位：円

| 実施月 | 内 容  | 予 算 | 担当者                         | 備 考                          |
|-----|--|-----|-----------------------------|------------------------------|
| 4月  | 【親睦】10周年祝賀会<br>【会議】TTトーク   |     | 小山                          | 福利厚生費<br>1人10,000<br>会議費     |
| 5月  | 【活動】花植え・野菜<br>【会議】TTトーク<br>ゴミ拾い<br>座談会   |     | 武石<br>渡部<br>小山              | 教養娯楽費<br>会議費<br>教養娯楽費        |
| 6月  | 【会議】TTトーク<br>【連携】相談支援事業所への<br>聞き取り・情報共有  |     | 林<br>小山                     | 会議費                          |
| 7月  | 【会議】TTトーク<br>【行事】光生舎夏祭り参加<br>【訓練】風水害避難訓練<br>【衛生】カーペットクリーニング  |     | 小山<br>WT<br>渡部<br>薄田        | 会議費<br>行事費<br>保健衛生費          |
| 8月  | 【会議】TTトーク<br>【活動】座談会<br>【訓練】火災避難訓練<br>【連携】関係者会議<br>【活動】夏休み諸活動  |     | 渡部<br>林<br>渡部<br>小山<br>林    | 会議費<br>教養娯楽費<br>教養娯楽費        |
| 9月  | 【会議】TTトーク<br>【活動】高齢者施設訪問<br>ゴミ拾い<br>【行事】旭山動物園<br>【訓練】シェイクアウト<br>【連携】相談支援事業所への<br>聞き取り・情報共有<br>【購入】車両 |     | 林<br>渡部<br>林・渡部<br>渡部<br>小山 | 会議費<br>教養娯楽費<br>行事費<br>減価償却費 |
| 10月 | 【会議】TTトーク<br>【行事】10周年記念大運動会  |     | 小山<br>WT                    | 会議費<br>行事費                   |
| 11月 | 【会議】TTトーク<br>【訓練】防犯訓練(あかびら合同)<br>【活動】座談会   |     | 渡部<br>林<br>渡部               | 会議費<br>教養娯楽費                 |
| 12月 | 【会議】TTトーク<br>【行事】クリスマス会<br>【連携】相談支援事業所への<br>聞き取り・情報共有  |     | 林<br>林・渡部<br>小山             | 会議費<br>行事費                   |
| 1月  | 【会議】TTトーク<br>【連携】関係者会議<br>【訓練】火災避難訓練<br>【活動】冬休み諸活動   |     | 小山<br>林<br>渡部<br>渡部         | 会議費<br>教養娯楽費                 |
| 2月  | 【会議】TTトーク<br>【活動】座談会   |     | 渡部<br>小山                    | 会議費<br>教養娯楽費                 |
| 3月  | 【会議】TTトーク<br>【行事】お楽しみ会<br>【連携】相談支援事業所への<br>聞き取り・情報共有   |     | 林<br>渡部<br>小山               | 会議費<br>行事費                   |
| 通年  | 【活動】こども計画会議<br>こども安心ミーティング<br>【活動】高学年向け活動の提供<br>【支援】英語レッスン 月2回                                       |     | 林<br>全員                     | 教養娯楽費<br>月額19,000            |
|     | 合 計  |     |                             |                              |

# 「託児所びよんびよん経営計画」

## 〈基本理念〉

託児所は、舎員にとって「喜ばれる」福利厚生施設であることを理念とする。

## 〈基本目的〉

1. 保育環境を整え、安全に配慮した保育を目指す。
2. 保護者に寄り添い、子ども一人一人の個性に合った保育を提供し、成長過程を支援する。

## 〈基本方針〉

1. 子ども一人一人の個性を見つめ、子どもの利益を最優先に考えた保育を提供する。
2. 子どもが心地良く過ごす事が出来る環境の維持・工夫改善を行う。

## 〈キーワード〉

『 ちいさな喜び おおきな笑顔 』

## 〈重点事項〉

1. 自然と学ぶ
2. 規定ルールの見直し
3. 「言える化」活動

## 〈重点事項の詳細〉

1. 自然と学ぶ

### (1)探索活動

目的：自然体験を通して五感を使い、好奇心や探求心を刺激

し、創造性、環境意識などを育む

#### ①場所の選定

時期：4月

#### ②探索活動

内容：昆虫や植物の観察と植物採集

③自然素材を使った工作

内容：5月～10月

④作品展開催

内容：保護者を招いて作品展を開催

(2)花育・食育活動

目的：食育・花育活動を通し、食に対しての意欲や五感を養う

①整備計画・手順表作成（保育士用）

完成：4月下旬

②分担表作成（幼児用）

完成：5月中旬

③畑整備・植え付け

時期：5月下旬～6月中旬

④ぴよんぴよん収穫祭：9月

2. 預かりルールの見直し

目的：利用する舎員、働く舎員が安心して働けるように規定の見直しの実行と検証を行う

周知活動：4月上旬・10月上旬（各施設長、係長へ発信）

検証：5月下旬・11月中旬

内容：土曜・祝日の弁当持参、一時保育登録制、年末年始の連休取得（休日120の遂行）

3. 「言える化」活動

目的：保育士同士が安心して本音を伝えあえる関係づくり

内容：朝のMT時に保育と自分の業務の一日の目標を発言する

## 〈年間行事・訓練等計画・設備計画〉

| 月   | 行事・購入(予算)                                 | 食育・花育                         | 防災            | お便り | 担当 | その他  |
|-----|---|-------------------------------|---------------|-----|----|--|
| 4月  | ・お花見遠足(弁当持参)(3,000円)<br>・誕生会(1,000円)      | ・手順表作成<br>・分担表作成              | 防災教育          | 鈴木  | 山本 | ・事業所会議<br>・きつず合同会議<br>・ヒヤリハット内部研修<br>・薬管理方法定期検証<br>・危険箇所点検・内部巡視<br>・玩具点検<br>・周知活動(各施設長、係長) |
| 5月  | ・お花見遠足予備日<br>・花育・食育(15,000円)<br>・自然と学ぶ    | ・畑整備<br>・苗、種購入<br>・植え付け(下旬まで) | 不審者侵入時訓練      |     | 村田 | ・事業所会議<br>・きつず合同会議<br>・救急事故対応研修<br>・薬管理方法定期検証<br>・玩具点検                                     |
| 6月  | ・花育(1,000円)<br>・自然と学ぶ                     | ・花植え<br>・水やり<br>・草取り          | 火災時避難経路確認     |     | 鈴木 | ・事業所会議<br>・きつず合同会議<br>・熱中症予防勉強会<br>・薬管理方法の定期検証<br>・危険箇所点検・内部巡視<br>・玩具点検                    |
| 7月  | ・運動会ごっこ(3,000円)<br>・誕生会(1,000円)<br>・自然と学ぶ | ・水やり<br>・草取り                  | 風水害訓練(きつず合同)  | 村田  | 山本 | ・事業所会議<br>・きつず合同会議<br>・手洗い指導<br>・薬管理方法定期検証<br>・玩具点検  |
| 8月  | ・お出かけ行事(5,000円)<br>・自然と学ぶ                 | ・水やり<br>・草取り                  | 火災避難訓練(きつず合同) |     | 村田 | ・事業所会議<br>・きつず合同会議<br>・食中毒勉強会<br>・薬管理方法の定期検証<br>・危険箇所点検・内部巡視<br>・玩具点検                      |
| 9月  | ・ぴよんぴよん秋の収穫祭(10,000円)<br>・自然と学ぶ           | ・収穫<br>・調理                    | 停電時対応訓練       |     | 鈴木 | ・事業所会議<br>・きつず合同会議<br>・肯定言葉研修<br>・薬管理方法定期検証<br>・玩具点検                                       |
| 10月 | ・自然と学ぶ作品展<br>・ハロウィン(5,000円)               | ・畑整備                          | 防災教育          | 山本  | 山本 | ・事業所会議<br>・きつず合同会議<br>・PPEの装着実践<br>・薬管理方法の定期検証<br>・危険箇所点検・内部巡視<br>・玩具点検<br>・周知活動(各施設長、係長)  |
| 11月 | ・クッキング(2,000円)<br>・誕生会(1,000円)            |                               | 防犯訓練(きつず合同)   |     | 村田 | ・事業所会議<br>・きつず合同会議<br>・ノロシミュレーション<br>・薬管理方法定期検証<br>・玩具点検                                   |
| 12月 | ・クリスマス会(20,000円)                          |                               | 防災教育          |     | 鈴木 | ・事業所会議<br>・きつず合同会議<br>・クッション言葉研修<br>・薬管理方法の定期検証<br>・危険箇所点検・内部巡視<br>・玩具点検                   |
| 1月  | ・室内ゲーム大会(3,000円)                          |                               | 火災避難訓練(きつず合同) | 鈴木  | 山本 | ・事業所会議<br>・きつず合同会議<br>・ヒヤリハット研修<br>・薬管理方法定期検証<br>・玩具点検                                     |
| 2月  | ・節分(3,000円)                               |                               | 防災教育          |     | 村田 | ・事業所会議<br>・きつず合同会議<br>・救急事故対応<br>・薬管理方法定期検証<br>・危険箇所点検・内部巡視<br>・玩具点検                       |
| 3月  | ・卒所記念品(5,000円)                            |                               | 停電時対応訓練       |     | 鈴木 | ・事業所会議<br>・きつず合同会議<br>・研修の振り返り<br>・薬管理方法の定期検証<br>・玩具点検                                     |

# 「光生舎メディック・エル経営計画」

## 〈基本理念〉

企業授産を念頭に置き、顧客と利用者ニーズの実現

## 〈基本目的〉

1. 利用者が自信を持って働く職場として、顧客と社会に貢献する
2. 就労継続支援事業所として、雇用の拡大に貢献する

## 〈基本方針〉

1. 労働者、入所者の安全を何よりも優先する
2. 顧客に対し安全で良質な製品を提供し続ける
3. 顧客の潜在的ニーズを発掘して信頼される存在になる
4. 利用者の個性や可能性が活きる環境・活動を創造する
5. 問題、課題には常に質の向上をもって解決を目指す

## 〈キーワード〉

『対話と共感』

## 〈重点事項〉

1. 物事の背景を「確認」する対話
2. 相互理解

## 〈具体的取組〉

1. 個人の価値観を否定せず、なぜそう考えるのか？背景を確認する事で課題や問題に共感する。
2. 個人や部で考え方が違う事は「当たり前」と思い、どうしようもない、ではなく、どうすれば良いか、を互いに考え行動する

| 取組事項                   | 検討会議   |
|------------------------|--------|
| 顧客満足度計測                | 営業会議   |
| A型利用者 38 名雇用、利用率 90%以上 | 支援会議   |
| 歩留まり率 95%、生産ロスの削減      | 生産会議   |
| 静止型マトリース               | 事業戦略会議 |
| 生産経費抑制                 | 生産会議   |

|             |        |
|-------------|--------|
| 事業所内研修活動の発足 | 経営会議   |
| 委員会、WTの見直し  | 経営会議   |
| 各委員会活動の促進   | 運営推進会議 |

## 〈部門別取組〉

### 1. 業務部

「確認の徹底と浸透」

#### (1) 相手の立場に立った伝え方

- ① 自己中心的な伝え方では意思疎通は出来ない。互いの認識を一致させる対話を行う

#### (2) 理解を深める傾聴

- ① どのような間柄でも、まずは相手を理解する事から始める
- ② 聞く事に徹底する事で自らの考えをまとめ、否定し合わない関係性を作る

### 2. 厚生部

「みんなでわかって、みんなですすむ」

#### (1) 業務の透明性を図る

- ① いつ、誰が、何を、しているのかを見える化

#### (2) 協力し合える体制の構築

- ① 見える化された業務は平準化する事で負荷の偏りを無くす

### 3. 営業部

「あなたに任せて良かったと言われる営業」

#### (1) 仕事の見える化

- ① 問題点や課題点を含めて業務の進捗管理を行う
- ② 顧客ごとの背景や特徴を記憶から記録へ残す

#### (2) 売上分析と増収活動

- ① 2027年度に向けた値上げ戦略と種まき
- ② 自社型静止マットの導入促進

#### (3) 寝具品種の見直しによるコスト削減

- ① 業務部の生産性向上によるコスト削減効果を向上させる

#### (4) 顧客満足度の計測

- ① 計測結果を分析して満足度向上の活動を精査する

## 4. 事務部

「共感から連携」

### (1) 事務作業の効率化

- ① 出来ない、知らない、を無くし全員が全ての事務作業を知る事で事務作業の効率化を図る

### (2) 間接部門としての連携

- ① 顧客、営業、業務、寝具係と全ての関係性の「間」に入る事で4方良しを実現する

# 「グループホーム翠経営計画」

## 〈基本目的〉

利用者が自立した社会生活を送るための支援を行う

## 〈基本方針〉

1. 利用者が安全に安心して暮らせる住まいの場とする
2. 利用者が自分で決めることを増やし、出来るように支援をする
3. 利用者の個性を尊重し、共同生活・社会のルールを学べる支援をする

## 〈キーワード〉

『対話と共感』

～未来は今の積み重ね～

## 〈重点事項〉

1. 物事の背景を「確認」する対話
2. 相互理解
3. 他部門とのつながりを意識する

## 〈重点事項の詳細〉

1. 対話なので互いによる確認が必要、背景を確認する事で認識を共有する。
2. 考え方は違って当たり前。どうしようもないではなく、どうすれば相互理解につながるかを考える
3. 日常業務では接する機会は少ないが、バックアップ施設としてメディック・エルが存在する事を忘れない。

## 〈具体的取組〉

GHとして過不足の無いサービスを提供する

1. 自分達が提供するサービス品質の確認
  - (1) 5S品質の基準、巡視の見直し
  - (2) 客観的に見た過不足
  - (3) 改善活動

## 2. 支援の平準化

### (1) 日常支援の平準化

- ①服薬管理
- ②備品類の置き場所の統一

### (2) 他 GH 利用者との交流

- ①会食の活用
- ②他 GH の応援作業

## 3. 研修・勉強会の実施

### (1) 虐待・身体拘束防止研修

### (2) 世話人としての資質向上

- ①福祉に関する勉強会
- ②手話についての勉強会

### (3) 法人内他 GH の見学

# 「ケアハウスすいこう経営計画」

## 老人文化憲章

高江常男 作

- 1 我ら身体は老いても心は青春である
- 2 ここは社会生活の延長の場である
- 3 他人を思いやりルール、エチケット、マナーを守ろう
- 4 常に身体を動かそう、それがリハビリになる
- 5 趣味を沢山持って楽しく向上しよう
- 6 何事にも興味と好奇心を持とう
- 7 明るい心と笑顔で、仲間と付き合おう
- 8 毎日の生活に張りを持って暮らそう
- 9 仕事良し、スポーツ良し、歌うも又良し
- 10 自分でボランティア活動をする自立心で助け合おう

## 〈基本理念〉

すいこうは、「すいこうを利用する入居者にとって生涯共に安心して楽しい生活が送れる居住の場」であることを理念とする。

## 〈基本目的〉

1. どんな時でも、安心安全を最優先し、入居者・家族へ不安を与えない。
2. 入居者誰もが自主性のある生活が実現できるような混合型施設を目指す。
3. 地域・市町村への貢献と密な連携を図る。

## 〈基本方針〉

1. 型にはめない、柔軟性を持った安全対策への取り組み。
2. どんな状況におかれても、限界を決めない。  
常に他職種が連携し解決する。
3. 入居者一人一人の残存能力を引き出し、出来る事の喜びを分かち合う。
4. 出来ないと言わない。「出来る為に」を考える。
5. 外部へ積極的に情報を発信し、混合型施設の良さを理解してもらおう。
6. 5S を徹底し、業務の効率化及びサービスの質の向上を目指す。

## 〈キーワード〉

『 KIZU(DU)KI～築き・気付き～ 』

## 〈重点事項〉

1. 見える化の取組
2. 無駄と過剰の整理の継続
3. 踏み込んだ PR 活動の実践

## 〈重点事項の詳細〉

1. 見える化の取組
  - (1)入居者支援の見える化
  - (2)業務改善の見える化
  - (3)職員間の動きや考えの見える化
2. 無駄と過剰の整理
  - (1)家事支援の作業効率化
3. 踏み込んだ PR 活動の実践
  - (1)パンフレットの見直し
  - (2)ポスティング対象地区の拡大

- (3) 居宅ケアマネ対象食事付き施設見学会の実施
- (4) 体験居室の利用促進

## 〈具体的支援計画の詳細〉

### 1. 見える化の取組

[目的]

見える化により、①見えなかったものが見えるようにする②見えにくいものを見やすくする③不必要なものは整理する。それにより、職員毎の認識や理解度の差を減らし、業務遂行力向上を図る。

#### (1) 入居者支援の見える化

##### ① 介護業務マニュアルの整理

目的：介護業務に関わる、今まで行った伝達研修や勉強会資料をマニュアルとして整頓し、いつでも・誰でも見返せるようにする。

内容：勉強会・伝達研修のファイル一元化

(オムツ交換、洗身介助、移乗介助、食事介助)

実施月：3月

担当者：WT（発足2月）

##### ② 処置の明確化

目的：処置の開始と終了時期を明確にし、看護・介護間の確認の不足・過剰を減らす。

実施月：9月

担当者：WT（発足8月）

##### ③ ケアプランの見える化

目的：・入退院や状態変化により支援内容が大きく変更される際、ケアプランを周知させる事で、入居者に対する理解や支援の方向性を一致させていく。

・状態変化の途中経過についての情報共有を図り、誰でも同じ対応が出来るようにする。

内容：・変更した課題分析やケアプラン周知方法の検討

・共有すべき情報の精査

担当：ケアマネ、介護員

実施月：12月

担当者：WT（発足10月）

#### (2) 職員間の動きや考えの見える化

##### ① インカムを活用した職員間連携の強化

目的：インカムを活用し、職員間での連携強化を図り、各種対応の効率化、敏速化、安全面の強化を図る。

内容：・インカム活用方法の検討

- ・使用方法の周知及び運用

担当者：WT

実施月：4月（R8年2月より検討開始）

効果検証：11月（運用方法の見直し）

担当者：生産性向上委員会

## ②短時間会議を活用した考え方の見える化

目的：職員個々が抱える業務に関する不安や悩みを共有し、共に解消を図る場を設け、入居者支援や各業務への考えの一致に繋げる。

内容：・夕礼前の時間を「短時間会議」とし、入居者支援、業務に関する相談及び検討の場を設ける。

- ・議題の条件設定による担当者が伝えやすい工夫
- ・要検討案件の検討先、記録方法の検討

担当者：WT（発足4月）

実施月：5月

## 2. 無駄と過剰の整理の継続

[目的]

業務における定義付を実施し、職員間の認識や支援の考え方を一致させ、無駄と過剰の削減による業務効率化を図る。

担当者：KPI活動（4月活動開始）

### (1)家事支援の作業効率化

#### ①家事支援の定義付

内容：家事支援業務の定義付を実施し、職員間で共通した認識を持った上で作業効率化に向けた活動をスタートする。

#### ②家事支援作業効率化に向けた活動

- ・家事支援の作業分割化
- ・分割した作業工程毎の作業の洗出し
- ・無駄と過剰の洗出し～過剰清掃、動作、手待ち等
- ・作業改善～入室順番、着手順番、役割分担、各清掃毎の作業手順・作業内容見直し、適正清掃用具の見直し
- ・作業時間計測による効果検証

#### ③清掃マニュアルの作成

目的：改善実行後の各作業動作について動画にてマニュアル化し、手順や動作の統一化を図る。

内容：・トイレ掃除

（清掃道具、汚れの取り方、順序、コツ、注意点）

- 拭き掃除  
(清掃場所、効率的な動線と手順)
- その他  
(見落としやすい清掃箇所等の説明)

### 3. 踏み込んだPR活動の実践

#### [目的]

すいこうの内面をアピールする事で、受入れ幅が広く、個別ニーズに沿った混合型施設である事を知ってもらう機会に繋げる。

#### (1)パンフレットの見直し

- ①使用用途：ポスティング、事業所配布、見学者用等
- ②内容：
  - 他施設のパンフレットを調査し、他施設にはないサービス内容を記載したり、見やすさの工夫。
  - 伝わりやすい写真への変更
  - 簡略化した医療行為ガイドラインの記載等

③担当者：WT（4月発足）

#### (2)居宅ケアマネ対象食事付き施設見学会の実施

①内容：R7年度招待以外の市町村を対象に、施設紹介・食事を食べて頂く体験型の施設見学会を開催する。

②対象市町村：滝川市、新十津川町（6事業所）

③担当者：WT（4月発足）

④実施月：5月鍋会食実施日

#### (3)体験居室の利用促進

内容：「宿泊体験プラン」として、居宅介護支援事業所へ宣伝チラシを配布し、入居を迷っている方、施設を知りたい方等に体験して頂く。

チラシ配布時期：4月

担当者：相談員他

#### (4)ポスティング対象地域の拡大

配布地域：東滝川町

配布時期：10月

担当者：WT（8月発足）

### 4. 各種委員会等計画

#### (1)ヒヤリハット委員会

活動目的：
 

- ヒヤリハット活動及び危険発見活動を活発化させ、事故を未然に防ぐ。

• 対策実行後は、効果検証を実施し、より確実な

事故の再発予防を目指す。

- ①福祉用具点検の継続（毎月）
  - ②施設内危険箇所点検の継続と対策の実行（毎月）
  - ③ヒヤリハットに対しての対策と周知（毎月）
    - ・発生したヒヤリハットに対しての対策の検討。
    - ・薬に関するヒヤリハットに関しては、即日対策検討。
  - ④振興局対象事故対策実行後の効果検証（毎月）
    - ・敏速な事故対策検討会議の開催と改善策の検討  
事故発生日から 10 日以内に関係各職種、職員間で検討  
会議を開催し、要因を把握。改善策を検討。敏速に実  
行へ移す。
    - ・対策実行後の効果検証  
対策実行後から 2 週間後に効果検証を実施する。  
\* 用具や備品が必要な対策の時は、準備次第実行開始。
  - ⑤敏速な事故発生予防策の検討と実行  
対象事故：同じ入居者に対して同種事故 2 件  
          同じ発生場所に対して同種事故 2 件  
          \* 発生場所：施設共有部（EV、トイレ等）
  - ⑥入居者向け事故予防意識向上への取組  
内容：入居者の無自覚な危険行動について  
          EV の駆け込み、出合頭の衝突、他者の車椅子を押  
          す、靴の踵を踏む、スリッパ等のつま先のない靴の  
          着用等すいこうで起こり得る事故に繋がる危険行  
          動についての説明を行う。  
          実施月：8 月（運営懇談会）
  - ⑦数値化の基準作り  
内容：危険箇所点検、ヒヤリハット、事故に対しての数値  
          化の基準を設定し、数値化に基づく改善や対策の優  
          先順位、数値に応じた実行スピード（タイミング）  
          を検討する。  
          基準検討月：4 月  
          実行月：5 月
- (2) 5 S 推進委員会  
活動目的：「いつでも、誰でも」継続的に 5 S の意識が保  
          持出来るよう、職場環境とルールを維持する。
- ①施設内 5 S 巡視  
内容：・実施頻度：月 1 月初

- 担当者：施設長＋5S 委員＋他職員（全員参加型）

- 指摘改善期日：10 日間以内

取組の工夫：同じ指摘を繰り返さない取組み策

～同じ指摘が2回発生した際は、ルールの改善追加及び防止策を検討する。

## ②過剰在庫の予防

### a レク用品の整理整頓

場所：5 階物品庫、1 階物品庫

内容：物品庫内のレク用品が整理整頓されているか定期点検を実施。

点検月：6 月、1 月

### b 事務用品や消耗品の整理整頓

場所：事務所、SS、洗濯室内

内容：定位置・定数管理を徹底し、無駄な在庫を持たない、無駄に買わない＝過剰在庫の予防に繋げる。保持できているか定期点検を実施する。

点検頻度：毎月 5S 巡視時

### c 機械浴・家事支援清掃用具の交換頻度の明確化

内容：機械浴清掃及び家事支援使用時に使用する清掃道具の交換頻度を明確化し、清潔を維持する。

検討月：4 月

担当者：5S 委員

## ③営繕関連の確実な定期清掃実行と管理

### a 車両清掃～1 回/3 か月(5、8、11、2月)

担当：車輛管理者＋5S 委員

### b 配電盤清掃～全 10 箇所

(各 1 回/年・2 台ずつ/偶数月)

担当：営繕担当者＋5S 委員

## ④5S 勉強会の実施

目的：5S を行う目的、主な取り組み内容についての勉強会を実施し、職員個々の意識を高める。

対象者：全職員（新入舎員については入舎時）

内容：他施設の取組報告を参考とした勉強会

\*新入舎員については、5S の基本について指導

実施月：5 月

## ⑤5S アンケート

目的：職員や入居者からアンケートを取り、新たな問題点

や解決策を見つける。

a 職員へのアンケート

内容：定位置がわかりづらいと感じた物品やどのように清掃を行ったら良いかわかりづらい場所についてアンケートを実施。

実施月：6月

b 入居者へのアンケート

内容：清掃が行き届いていないと感じた場所やわかりづらいと感じた掲示物についてアンケートを実施。

実施月：1月

c 改善

内容：アンケート後に問題点を洗い出し、改善策を検討・実行する。

実施月：洗出し～7月（職員）2月（入居者）

検討・実行～8月（職員）3月（入居者）

⑥情報の2S活動

a PC内報告書・議事録保管ルールの徹底

内容：  
・保管期限を明確にし、不要なものは破棄  
・1年間分はSS内に保管し、それ以外は5階物品庫に保管とする。  
整理：4月 書類破棄：5月  
・各委員会については、毎年3月にフォルダ内の整理を行う。

b 書類保管ルールの継続

内容：  
・レク行事は、項目毎に付箋をつけて保管する。  
・各委員会は1年間ずつ保管

c PC内2S巡視

内容：  
・デスクトップ上に保管された不要なフォルダを整理する。  
・デスクトップ上にあるごみ箱の中身を1か月間保管し、その後破棄する。

頻度：毎月月末

保管ルール：  
・デスクトップ内に保存しない。  
・各委員会データも必ずフォルダ保存  
・写真はPC内フォルダに移動し、SD内データはその都度消去。  
・「すいこう共有」内はフォルダにて保管

d PC内保管ルールの徹底

- 内容：・各委員会の議事録やレク行事等の報告書は保管期間を5年間とし、それ以前のデータは削除する。  
・写真のデータはPC内の保管期間を5年間とし、それ以前のデータはハードディスクに移動する。

実施月：5月

### (3) 職員資質向上委員会

活動目的：感染・防災・身体拘束・虐待に関わる必修活動の総括的役割を担い、全職員が偏りなく活動企画に携われるよう企画メンバーを選定し、実行後の反省点を元に、種別毎に各委員会を3か月毎に開催し、次回への改善に繋げる。

[感染予防活動]

#### ① BCP に沿った感染症発症時における職員対応について

- ・ PPE（防護具）着脱訓練

実施月：6月（他必要時）

担当者：防災対策感染予防委員会＋他職員

内容：PPEの脱衣手順に重きを置き、その重要性を学び、手順に沿って各自対応出来るよう訓練する。

- ・ 発症時シミュレーションの実施

実施月：11月

担当者：職員資質向上委員会

内容：発生時の初動対応を含め、マニュアルに沿って各自の動きの確認及びシミュレーションを実施し、感染症発症に備える。

#### ② 感染症勉強会と対策

- ・ 感染症マニュアルの勉強会開催

周知方法：どの職員もマニュアルに沿って初動対応が出来るよう勉強会を開催する。

実施月：7月

担当者：防災対策感染予防委員会

- ・ 感染症マニュアルの改善

内容：感染症が発生した際は、現行マニュアルに沿って対応し、終息後に課題を洗い出し、マニュアルの改善に繋げる。

時期：随時

- ・ ノロウイルス対策

内容：ノロ感染が発症した場合への初動対応と連携の実践訓練を行う。

実施月：基礎編(7月)

応用編(1月)

担当者：防災対策感染予防委員会

- ・ノ口処理物品の定期チェックの実施(毎月)

担当者：職員資質向上委員会＋介護員

### ③共通取組み

- ・手洗い講習の実施(対象：入居者＋職員)

実施月：10月

担当者：職員資質向上委員会＋他職員

- ・入居者への各種啓発活動の実施

内容：入居者に向けた運営懇談会での呼びかけ  
(食中毒、熱中症・脱水、感染症)

担当者：職員資質向上委員会＋各専門職

- ・食中毒警報に応じた予防呼びかけ

食中毒警報発令時は、入居者へ放送にて呼びかけ、予防への意識付けに繋げる。

担当者：栄養士

[身体拘束及び虐待防止活動]

#### ①身体拘束防止への意識付け

実施月：1回/3か月

内容：4・10月 身体拘束基礎知識の勉強会開催  
7月 グレーゾーンの意見交換及び対策検討  
1月 事例検討会

担当者：虐待防止委員会＋他職員

#### ②虐待防止への意識強化

- ・虐待防止勉強会の定期実施

内容：虐待防止勉強会(基礎知識)

実施月：5・11月

担当者：虐待防止委員会＋他職員

- ・認知症のある方への不適切ケア予防勉強会

実施月：8月

担当者：職員資質向上委員会＋他職員

- ・グレーゾーン意見交換及び対策検討

実施月：2月

担当者：職員資質向上委員会＋他職員

- ・経済的虐待防止への取組

実施月：12月

内容：経済的虐待防止への理解と対策検討

担当者：虐待防止委員会＋他職員

[リスク管理]

- ①BCP に沿った各災害を想定した訓練の実施～  
BCP に沿った各種活動・訓練を実行し、結果に応じて  
BCP の改善に繋げる。
  - ・安全な避難誘導方法の実践訓練  
実施月：5月  
内容：避難階段への誘導とリフト車両の操作手順の習得
  - ・火災訓練  
実施月：日中～6月、夜間～11月  
担当者：WT 発足  
＊日中避難訓練～訓練前に運営懇談会にて避難方法及び注意点の説明会実施(5月)
  - ・風水害時避難訓練  
実施月：8月  
担当者：防災対策感染予防委員会
  - ・地震避難訓練（シェイクアウト）  
実施月：9月  
内容：運営懇談会にて入居者向けに訓練を実施  
担当者：防災対策感染予防委員会
  - ・停電時対応シミュレーション  
実施月：2月  
内容：停電時のマニュアルに即した対応のシミュレーションを実施する。  
担当者：職員資質向上委員会
- ②防犯対策
  - ・防犯に関する研修の実施  
内容：防災対策感染予防委員会と連携し、勉強会を実施する。  
実施月：7月、1月  
担当者：防災対策感染予防委員会
- ③誤嚥時対応訓練の実施
  - ・ヒヤリハット委員会と連携しシミュレーションを実施  
実施月：8月～食堂にて起こり得る誤嚥時対応  
2月～救命救急訓練  
(AED 使用シミュレーション)
- ④防災監視盤の操作手順勉強会の実施
  - ・火災時に使用する防災監視盤の操作手順について勉強

会を実施。

実施月：9月

担当者：職員資質向上委員会

[入居者の意見の収集・対応策の実施]

①定期的な入居者からの意見収集

頻度：2回/年

内容：購買(6月)、5S(2月)→5S委員会担当

②対応策の協議

意見内容に応じ、各職種・担当者間で対応策を協議し、改善に繋げる。

③意見への返答・改善策の見える化

入居者から出た意見に対しての返答や改善策は、掲示板を活用し、入居者に対して意見及び返答の見える化を図る。

(4)給食委員会

活動目的：「美味しく食べて健康維持」を目標とし、食事が生活の楽しみの一つとなるよう入居者・職員の声を基に、「楽しい食生活・安全な食事・健康維持」を向上させる。

開催日：毎月月初

参加者：所長、CM、相談員、NS、介護員、栄養士

①入居者の意見・要望の献立への反映

- ・食事、嗜好調査を実施し、要望を取り入れると共に、問題点の改善に向ける。

調査月：2月

②食事の楽しみの提供

- ・会食の改善：毎月実施の会食について、反省点を求め改善に努める。
- ・会食メニューの検討：各月の担当者にて検討し、委員会にて決議する。
  - \*食事アンケートや入居者の声を組み入れると共に、季節感を感じて頂けるメニューとする。
- ・セレクト食提供回数：1回/2か月の頻度で実施。
  - \*セレクト食には新しいメニューや通常献立で提供出来ないような食材を使用したメニュー組み合わせ、選ぶ楽しみを持ってもらう。

③自立維持の為の安全な食事の提供

- ・各職種と連携し、入居者に合った食事形態や自助具の検討、献立の調整を行う。

- ・食形態の変更：機能低下に結び付けないよう考慮し、咀嚼嚥下機能等について各専門職と十分に協議し対応に当たる。（ケース会議等）
  - \* 抜歯・義歯不具合等の短期間の場合は即対応とする。

④栄養に関する入居者への情報提供

- ・給食だよりの掲示（1回/2か月）  
 栄養に関する豆知識を給食だよりのとして作成し、エレベーター又は掲示板に掲示する。  
 テーマ：「季節ごとの行事の由来・関する食材の栄養」  
 栄養素の説明、身体に与える影響や効果等  
 4月「旬の食材と栄養」  
 6月「水と健康（水分の必要性）」  
 8月「七夕」  
 10月「十三夜」  
 12月「大晦日」  
 2月「節分」

⑤健康維持の保持

- ・水分カウント者の選出  
 委員会内にて、必要水分量と理由を明確にし、入居者の選出を行う。  
 摂取手段の検討：各担当CM、NS、介護員にて協議  
 \* 担当介護員と共に検討する事で、より確実な具体的手段に繋げる。  
 周知方法：担当介護員により周知シートにて周知。
- ・摂取量不足者の把握と対応策協議  
 水分摂取量の月統計を出し、摂取量不足の入居者については、促し方法等の再検討を行う。  
 \* 水分摂取量が安定した方に対しては、カウント対応の終了を決定する。
- ・入居者の体重増減の把握と対応策協議  
 毎月測定の体重増減を確認し、問題が生じた場合は、NSが中心となり、主治医と連携し対応策を検討する。

(5) 入所検討委員会

- 活動目的：・スムーズな入退居による経営安定化及び待機者のニーズに応える。  
 ・混合型施設のメリットを最大限に活かし、施設内事業所移行(特定⇔軽費)のニーズに応える。

開催日：毎月第2火曜日

参加者：所長、CM、相談員、看護師、介護員、栄養士

目標空室期間：5日間(\*急な退居時：10日間)

①入居相談対応の統一（4月運用開始）

面談時に使用しているヒヤリングシートと入居時説明事項チェック項目の見直しをする。

見直し月：4～5月

運用月：6月

②入退院の支援

・入院中の病状把握

2週間の入院期間を経た段階で、病状把握を行う。

家族、医師、CW等と情報共有や相談を密に行い、ご本人、ご家族同意の元で、スムーズな退院の受入れや退所見込みによる早期対応に繋げる。

・入院中の状態低下

ADLを始めとした状態低下が見られた際は、医療行為ガイドラインに沿って、個別ケース会議にて協議し、すいこうで対応出来る範囲の見極めを実施。

→保証人への説明及び意向確認を行う。

\*ガイドラインを超える支援が必要な場合は、施設経営会議にて決議する。

③退居予測検討の場

・退居の可能性のある入居者の状況確認と対応

頻度：定例 OR 臨時

退居予測：退居の可能性のある入居者の有無を検討し、退居の流れ、その間の対応、新規入居者への早期連絡等の段取りについて検討する。

退居支援：医師もしくは施設が退居と判断した場合は、ご家族への適切な説明の元、円滑な退居に努める。

・終末期におけるご本人及びご家族への意向確認

主治医の病状説明の内容に応じ、HPでの入院治療（延命）を望まれるのか、すいこうでのより長い生活を望まれるのか。

相談員やCM、NSにより、意向確認の場を設ける。

④継続的な待機者確保へ向けた活動の促進

・待機者への定期連絡～毎月3名ずつの待機者に、郵送又は電話にて入居希望や現状把握を行う。（待機者1名につき年2回の頻度）

～上位3名については、退居者発生予測に応じ、早期連絡と準備を行

い、入所に努める。

- ・面談の実施～必要に応じ、自宅訪問や施設見学を実施  
担当者：特定～CM・相談員・NS  
軽費～相談員、NS(CM)

⑤軽費入居者への特定移行聞き取り調査の実施

- ・ 調 査 内 容 ～

全軽費入居者対象に、定期的に特定移行への聞き取り調査を実施し、生活への不安解消及びスムーズな移行へ繋げる。

頻度：2回／年(4月・10月)

- ・特定移行選定基準表の運用  
特定移行希望調査により移行希望のあった入居者へは、基準表を運用し、特定移行順位を決定する。

⑥軽費入居者への円滑な特定移行に向けた支援の提供

- ・突然の疾患等により、軽費入居者の特定移行への希望があった場合又は急を要す場合は、特定移行までの間、安心して生活が送れるよう居宅CMと連携し、外部サービスの導入支援を実施。
- ・外部サービスでは補えない状況の際は、ご家族との協力体制を確保し、一時的な支援提供の有無を検討する。

⑦医療行為ガイドライン・軽費入居者入居判定基準表見直し  
上記2種について、現状ニーズや時代背景に照らし合わせ、見直しを行う。

検討着手：1月～

決定：3月

〈研修計画〉

| 実施月 | 研修・取組関係                | 医療・各種訓練   | 身体拘束・虐待                  |
|-----|------------------------|---|--------------------------|
| 4月  | ～KPI活動開始～<br>家事支援業務効率化 | 医療行為勉強会・急変時対応勉強会                                      | 身体拘束基礎知識勉強会              |
| 5月  | 5S勉強会<br>短時間会議活用WT     | ★BCP 避難誘導方法の実践訓練                                      | 虐待防止基礎知識勉強会              |
| 6月  |                        | PPE(防護具)着脱訓練<br>★日中火災避難訓練                             |                          |
| 7月  |                        | ・服薬介助動作テスト<br>・フロシミュレーション基礎編<br>・感染症マニュアル勉強会<br>★防犯研修 | 身体拘束グレーゾーンの<br>意見交換と対策協議 |
| 8月  | 処置の見える化WT              | ・誤嚥時対応訓練(食堂Va)<br>★風水害避難訓練                            | 認知症のある方への不適切<br>ケア予防勉強会  |
| 9月  |                        | ★シェイクアウト<br>★防災監視盤操作手順勉強会                             |                          |
| 10月 | ケアプラン見える化WT            |   | 身体拘束基礎知識勉強会              |
| 11月 | インカム運用効果検証             | ・感染症発生時シミュレーション<br>★夜間火災避難訓練                          | 虐待防止基礎知識勉強会              |
| 12月 |                        |   | 経済的虐待防止への取組              |
| 1月  |                        | ・服薬介助動作テスト<br>・フロシミュレーション応用編<br>★防犯研修                 | 身体拘束事例検討会                |
| 2月  | 介護業務見える化WT             | ・誤嚥時対応訓練(AED使用)<br>★停電時対応シミュレーション                     | 虐待グレーゾーン意見交換<br>と対策協議    |

|    |                                   |
|----|-----------------------------------|
| 3月 | 医療行為ガイドライン及び軽費入居者入居判定基準表ガイドライン見直し |
|----|-----------------------------------|

## む 〈年間行事計画〉 (★：PR活動 ●営繕関係)

| 実施月 | レク行事   | 健康管理・環境整備  | 調査・PR                                       |
|-----|--|--|---|
| 4月  | カラオケ喫茶<br>スカットボール                              | 各階廊下窓拭き(4~7月)<br>食堂フックス掛け<br>●事務用品・消耗品整理整頓<br>●配電盤清掃<br>給食便り「旬の食材と栄養」              | ・軽費入居者特定移行調査<br>・パンフレット見直し<br>★事業所訪問        |
| 5月  | ボーリング<br>日帰り旅行(グルメツアー)                         | ベランダ窓拭き(4・3階)<br>春の健康診断(夜勤従事者)<br>食中毒予防説明会<br>●PC2S<br>●車両清掃                       | ★食事付施設見学会<br>(居宅ケアマネ対象)                     |
| 6月  | 玄関フланター花植え<br>衣料品販売<br>風船ゲーム<br>日帰り旅行(グルメツアー) | ベランダ窓拭き(1・2階、中庭)<br>熱中症・脱水症予防説明会<br>●PC内2S活動<br>●配電盤清掃<br>●物品庫整理整頓<br>給食便り「水分の必要性」 | ・入居者意見収集(購買)                                |
| 7月  | 光生舎夏祭り<br>ペン習字(文化祭用)<br>かき氷作り<br>日帰り旅行(グルメツアー) | 窓拭き(増床棟1・2階)   |   |
| 8月  | 七夕飾り・スイカ割り<br>絵手紙(文化祭用)<br>スカットボール             | 窓拭き(事務所)<br>●車両清掃<br>●配電盤清掃<br>給食便り「七夕」  |   |
| 9月  | 敬老会<br>光生舎70周年記念会食<br>川柳(文化祭用)<br>ターゲットゲーム     | 食堂フックス掛け<br>入居者向け事故予防説明会   |   |
| 10月 | 衣料品販売<br>家族交流会<br>半切書道(文化祭用)<br>文化祭            | 秋の健康診断(全職員)<br>感染症予防説明会<br>秋の手洗い講習<br>●配電盤清掃<br>給食便り「十三夜」                          | ・軽費入居者特定移行調査<br>★事業所訪問<br>★ポスティング<br>(東滝川町) |
| 11月 | ボーリング<br>カラオケ喫茶                                | インフルエンザ予防接種<br>居室電気傘清掃<br>事務所・SS大掃除(~12月)<br>●車両清掃                                 |   |
| 12月 | 忘年会<br>ミニリース作り<br>クリスマスツリー飾り<br>正月飾り<br>餅つき    | ●配電盤清掃<br>給食便り「大晦日」  |   |
| 1月  | 新春紅白歌合戦<br>宝引き<br>ポケネット                        | 医療行為ガイドライン見直し<br>軽費入居者判定基準表見直し<br>●物品庫整理整頓   | ・入居者意見収集(5S)                                |
| 2月  | 雛人形飾り<br>節分豆まき<br>輪投げ大会                        | ●車両清掃<br>●配電盤清掃<br>給食便り「節分」  | ・入居者食事調査                                    |
| 3月  | 玉入れ<br>衣料品販売<br>ペン習字                           | ●各物品庫内点検(5S)   |   |

# 「光生舎虹の里経営計画」

## 〈基本目的〉

1. 利用者と職員の安全を守る
2. 一人ひとりが個性やちからを発揮することができる環境を実現する
3. 利用者、家族の安心と期待に応える
4. 行政や他障害福祉サービス事業所、地域の期待に応える

## 〈基本方針〉

1. 相手の気持ちに寄り添い、個人の価値観を大切にする。
2. なぜ？を大切に、一つひとつの仕事の目的を明確にする。
3. 前向きで自由なアイデアを大切にし、目的の実現に向けた取り組みを活発にする。
4. 介助や支援の必要性を共有し、一貫性のあるチームアプローチを実践する。
5. 現場の抱える問題点・課題を明確にし、職員全員で向き合い解決を目指す。

## 〈キーワード〉

『 やってみるを楽しもう Vol2 ～言える👍 聴ける👍 』

## 〈重点事項〉

1. 基本を知り、徹底しよう！
2. 働きがいのある職場をつくろう！
3. 利用者サービスの質を向上しよう！

## 〈重点事項の詳細〉

1. 基本を知り、徹底しよう  
支援の土台を強固にし、確認し合いながら安心して実践できるように。  
目指す姿
  - ・利用者の安全を最優先に、迅速かつ的確な対応ができる現場
  - ・職員全員が利用者支援の基本や障害特性に合わせた関わりを理解し、迷わず動ける体制
  - ・後輩に教えられる仕組みがあり、支援の質が安定している(1)利用者の安全を守り、迅速で的確な対応をしよう！

- ①安全を守るための事故防止活動を徹底する！
- ・事故検証と対策実行を徹底し、事故の再発を防ごう！  
説明と周知方法を改善し対策を徹底する。
  - ・危険発見活動は数を絞り確実に改善しよう！
  - ・防ぎきれない転倒・転落事故の外傷リスクを軽減する  
取り組みを強化しよう！

(2)セルフチェックで日々の支援の質を安定させよう！

セルフチェックの目的

基本かつ重要な行動指針・支援の基本が日々適切に行われているかを振り返り、課題を確認しながら、現場スタッフが主体的に支援を見直し、改善に取り組める状態を維持し続けることを目指す。

- ・セルフチェック実施方法リニューアル  
基本チェックを3分割！  
ハード編（内部ルール）ソフト編（考え方・行動の指針）  
職場のルール編（法人チェック項目）の三つのチェックを  
再整備。それぞれ1か月ごとにチェックを実施する。  
※虐待防止項目は毎月実施。
- ・セルフチェック運用方法の確立  
活動テーマを選定し、スコア改善に取り組む。  
集計結果は施設運営会議で確認、管理する。  
施設経営会議は、取り組み課題の選定、活動担当者（担  
当会議）を選任。活動期間の設定を行う。  
期間終了後のスコア、成果確認と対策の評価を行う。  
活動担当者（担当会議）は、スコア改善に向けた活動を  
検討、実行する。

(3)生産性を見える化しながら、日々の業務に取り組む！

- ①タイムスタディの確認と、改善テーマを設定した活動で  
小さな改善をコツコツと積み重ねよう！
- ②情報の整理とICT活用でペーパーレス化を進めよう！
- ・手書き、転記業務を削減し、効率化を図ろう！
  - ・全員が最新情報を効率よく共有できるようにしよう！

(4)定期点検

- ①装具使用状況適正点検（身体拘束適正化委員会 定例）
- ②車いすシーティング評価（身体拘束適正化委員会 定例）

- 例) ③身体拘束発生状況確認、検証（身体拘束適正化委員会 定例）  
④虐待防止セルフチェックと不適切ケアの確認、検証と対応（虐待防止委員会 定例）  
⑤防災自主点検（防災対策委員会 定例）

## 2. 働き甲斐のある職場を作ろう

長く、楽しく、誇りを持って働ける環境づくりをみんなで。

目指す姿

- ・自分の得意を活かし、仲間と支え合える職場
- ・身体的、精神的に無理なく働ける環境
- ・ICT を活用し、業務のムダを減らし、働きやすさとやりがいが見える化、改善

### (1) スキルマップの導入で支援力、技術の見える化！

5 段階評価のスキルマップを導入。階層別の達成水準を設定

し、目標をもって業務に取り組む風土をつくる。

新しいスタッフは、合わせて業務習得リストを活用し、教える側も教えられる側も安心して支え合える仕組みを作る。

### (2) マイスター制度の開始

最終目標は、リフト、入浴機器、移乗の基本、オムツの4項目でマイスター制度を運用。2026年はリフトマイスター制度の運用を開始する。

### (3) 1 on 1 で言える化と成長を促進！

1 on 1 は評価や指導の場ではなく、日々の業務や支援に関する判断や工夫を振り返り、言語化し、整理する場！

安心して自分の考えや意見が言える職場づくりを行います！

言える化を促進するために1 on 1 を活用する。業務、支援に関する判断や工夫を言語化する機会をつくる！

2026年の目標

1 on 1 を継続する事。

うまく話せなくてOK

ひとまずは効果が見えなくてもOK

まずは、継続することを目指す。

### (4) 腰痛予防の取り組み

リフトの活用範囲拡大

### (5) 移動距離削減で、生産性向上と身体負担を軽減

建物の使い方、業務の流れをリニューアルし移動距離 50%削減を目指す。

### 3. 利用者サービスの質を向上しよう！

その人らしさを大切にしたい、より良いサービスを目指して。

目指す姿

- ・利用者が「ここに来てよかった」と感じる支援
- ・職員が「この関わり方でよかった」と納得できる支援

#### (1) 支援現場の見える化を促進

##### ① 利用者個々の活動記録をデータベース化

支援・介助の実施結果等をなるべく一覧集計できるようにし、日々の支援や計画作成に使いやすい情報管理の基盤を整備する。

##### ② サービスの質を定義し見える化に取り組もう！

虹の里におけるサービス品質の定義を設定し、2026年度は3つの指標を作る。

指標①生活・行動の安定度

前提とする考え方 ⇒ 支援が合っていれば安定する

指標②支援の過不足

前提とする考え方 ⇒ 多くやる＝よい支援は誤解

指標③支援の見直しが行われているか

前提とする考え方 ⇒ 思考を伴う支援が行われているか

#### (2) 支援の基本や対人援助技術を学び合い、身につけよう！

##### ① 定期的に支援の基礎を学ぶ機会を作ろう！

##### ② グループアプローチで共通認識を作ろう！

- ・グループミーティングの開催 各グループ月1回

各グループに内での活動、課題、意見収集の場

- ・ケース会議 目標 各グループ月1回

利用者個々の課題、支援に関する検討の場

- ・グループリーダーミーティング 月1回

主任も含めた各グループの活動内容、課題、進捗状況などの情報共有と個別の支援方針決定の場

#### (3) 支援計画の見直し・実行の強化

##### ① 利用者個々の希望・特性に合った支援を計画し実行！

支援が適切に実行されているか毎月評価・検討する仕組みを作って取り組む

##### ② レーダーチャートの作成・活用

レーダーチャートの数値を指標に、介助対応、日中活動

を組み立てる

- ③日中活動・集団運動と個別支援の連携を強化！  
活動資源を有効に活用し個別支援計画実行性を高める！
- ④計画の精度を高めるために、モニタリング、アセスメントの結果を踏まえ、新たに作った計画の内容を評価する。  
評価は5段階の自己点検とし、AIによる客観的評価も実装できれば行う。

#### (4) 既存の活動の見直し・新たな活動の創出

- ①日中活動の見直し・拡充  
利用者個々の障害特性、身体能力に合わせたリハビリ活動の実施。
  - ・集団運動による身体面・精神面での安定を図る。
  - ・余暇活動にて清拭たたみなど作業を通して生活の中にやりがいを見出す。
  - ・創作活動にて四季折々の装飾などを制作し生活環境の場に変化を与える。
- ②施設行事の見直し
  - ・誕生者会食～利用者のニーズに合わせた食事の場の選択肢の見直し
  - ・外出レク～外出の目的を明確にし、利用者のニーズを尊重した外出計画の作成・実施

### 4. 委員会・プロジェクト活動

#### (1) ヒヤリハット委員会(月2回定例開催)

利用者の安全を守るための取り組み

- ①原因究明と対策
- ②保守点検
- ③禁止、危険食材・食形態

#### (2) 運営推進室(月2回定例開催)

BCPの周知・研修・計画の見直しを行いながら、非常時に迅速かつ適切な対処ができるよう活動する。

- ①感染予防委員会  
感染症予防、発生時の安全確保と健康管理
  - ・感染予防に関する研修等の運営
  - ・季節、状況に応じた感染予防活動
  - ・BCPシミュレーションと見直し
  - ・健康診断の準備、運営
- ②防災対策委員会

## 予防と災害発生時の安全確保

- ・防災対策に関する研修などの運営
- ・消防訓練の運営と精度向上
- ・BCP シミュレーションと見直し
- ・自然災害想定訓練の運営と精度向上
- ・実際の場面を想定した演習の実践

### ③虐待防止委員会

施設で虐待を発生させない

虐待ゼロ、不適切な身体拘束ゼロの施設を実現する。

- ・虐待防止に関する研修等の運営
- ・虐待防止に関するセルフチェック活動の推進
- ・不適切ケア対応状況の取りまとめと周知

### ④身体拘束適正化委員会

適正を欠く身体拘束の発生ゼロを目指す

- ・身体拘束防止に関する研修等の運営
- ・身体拘束発生状況の毎月の点検
- ・自助具等の使用に関する毎月の適正評価

### (3) 5S 推進委員会(月2回定例開催)

見せられる施設づくりと使いやすい施設づくり

- ①施設内2S巡視
- ②施設内3定促進
- ③車両3S活動

### (4) カイゼン活動推進 WT(月2回定例開催)

- ①全員参加の改善活動の促進
- ②建物の使い方の見直し

### (5) 人材育成推進 WT

経営計画に沿った研修の推進

### (6) 地域貢献推進 WT

- ①経営計画7と年間計画に基づく活動の推進
- ②法人地域貢献推進委員会と繋がった活動の推進

### (7) 労働衛生委員会

### (8) 倫理委員会

## 5. 資格・研修

### (1) 資格

防災士 池田 宜子

介護福祉士 なし

社会福祉主事 なし

## (2) 年間計画に基づく研修の実行、参加促進

### 内部研修

|     | 研修内容                            | 実施担当                               |
|-----|---------------------------------|------------------------------------|
| 4月  |                                 |                                    |
| 5月  | 支援の基本を再確認                       |                                    |
| 6月  | ヒヤリハット危険意識向上<br>熱中症対策           | ヒヤリハット委員会<br>感染予防委員会               |
| 7月  | 消防訓練(昼)<br>BCP感染症発症時シミュレーション    | 防災対策委員会<br>感染予防委員会                 |
| 8月  | 対人援助技術の基本                       |                                    |
| 9月  | BCPに基づく防災シミュレーション               | 防災対策委員会                            |
| 10月 | リフト操作<br>新興感染症対策基礎<br>身体拘束適正化基礎 | ヒヤリハット委員会<br>感染予防委員会<br>身体拘束適正化委員会 |
| 11月 | 利用者とのかかわり方<br>消防訓練(夜)           | 防災対策委員会                            |
| 12月 | 虐待防止基礎<br>身体拘束適正化(テーマ設定型)       | 虐待防止委員会<br>身体拘束適正化委員会              |
| 1月  | 利用者の行動への向き合い方<br>入浴機器操作         | ヒヤリハット委員会                          |
| 2月  | 虐待防止(テーマ設定型)<br>非常災害想定訓練        | 虐待防止委員会<br>防災対策委員会                 |
| 3月  |                                 |                                    |

### 通年実施

- ・ノロウィルス発生時初動動作訓練
- ・パソコン、ICT活用教室

### 実施時期調整

- ・消火器使用訓練(防災対策委員会 年1回)
- ・他法人施設見学

### 外部研修

- ・サービス管理責任者更新研修
- ・虐待防止関連研修

## 6. 地域貢献推進の取り組み

### 虹の里地域貢献推進に関する指針

- ・地域住民との関わりの機会を増加させる。
- ・可能な限り利用者が参画、関与できる方法で活動する。

#### (1) 施設前側道美化活動

- ①花植え
- ②利用者・職員による活動から町内住民を巻き込んだ

- 活動を目指す。
- (2) 交通安全街頭啓発への参加
    - ① 全国交通安全週間、朝全日程参加
    - ② 利用者事前参加希望調査の実施と参加者の調整
    - ③ 1日に参加する人員は職員1名、利用者2名  
メンバーは日替わり
  - (3) 百戸神社草刈り
  - (4) 避難所受け入れ机上シミュレーションの実施
    - ① 内部実地訓練開催を前提とした準備とする。
    - ② 演習表(行動フロー図)の作成
    - ③ 演習表を基にした机上シミュレーションの実施と演習表の修正と、実地訓練に備えた手順書や掲示物の整備。
  - (5) 法人地域貢献推進委員会と連携した取り組みの推進

## 7. 年間行事計画

### (1) 誕生者会食

- ① 施設内にて出前＋誕生ケーキ提供で実施。
- ② 誕生者席は装飾する。予算 2,000 円/1 回
- ③ 出前料理を写真撮影し、メニュー表をすることで  
選択しやすく、視覚的にも楽しめるようにする。

### 〈年間予定〉

|     | 行事名                          | 予算内訳 |
|-----|------------------------------|------|
| 4月  | 開所記念会食<br>春のお膳会食             |      |
| 5月  | GWお楽しみ会<br>鍋会食<br>イベント(食事つき) |      |
| 6月  | ホットプレート会食<br>イベント(食事つき)      |      |
| 7月  | ジンギスカン会食                     |      |
| 8月  | ジンギスカン会食                     |      |
| 9月  | 敬老会(食事・写真込み)<br>秋のお膳会食       |      |
| 10月 | ハロウィン(食事込)<br>鍋会食            |      |
| 11月 | 衣類移動販売<br>鍋会食<br>イベント(食事つき)  |      |
| 12月 | 大忘年会(食事込)<br>クリスマス会食         |      |
| 1月  | お正月お楽しみ会<br>新年会食<br>鍋会食      |      |
| 2月  | 豆まき<br>節分会食<br>鍋会食           |      |

|    |               |  |
|----|---------------|--|
| 3月 | ひな祭り会食<br>鍋会食 |  |
|----|---------------|--|

※大忘年会内訳…全100名 × 5,000円

## 8. リスク管理計画

### (1) ヒヤリハット活動

- ① 事故事例から改善活動
- ② 危険発見活動
- ③ 保守点検
- ④ 法人委員会による他施設からの情報収集

### (2) 感染予防活動

- ① 内容を精査し、常に活かされるマニュアルを整えよう！
- ② 感染症に関する内部研修を実行しよう！
- ③ ノロウィルス初動訓練を実行しよう！
- ④ 新興感染症初期対応シミュレーションを実行しよう！

### (3) 救急救命訓練

- ① 施設内訓練 … 消防の協力を仰ぐ
- ② 施設外訓練 … 赤平市で行う訓練に参加する

### (4) 消防訓練

- ① 年2回の消防訓練(昼間、夜間)
- ② 部分訓練(通報・避難誘導・消火)

### (5) 災害避難訓練

- ① 風水害を想定した避難訓練の実施
- ② シェイクアウト訓練の実施
- ③ 非常用発電機起動訓練
- ④ 非常用備蓄品使用訓練(照明設備、食事提供等)

## 9. 設備・環境整備計画

- (1) 安全を守るための環境設備
- (2) 快適を提供するための環境設備
- (3) 生産性を向上するための環境設備

# 「光生舎フーレビラ経営計画」

## 〈基本目的〉

1. 障害者支援施設として、利用者の安全を守る
2. 利用者が主体性を持てる生活の実現に向けた支援を行う
3. 家族の安心と行政や教育機関の期待に応える

## 〈基本方針〉

1. 意欲的に取り組める関りや環境を提供し、「できる」を守り「自立」を伸ばす
2. 一人ひとりの人格と個性を尊重する
3. 課題に対し安易に量(時間延長や人員増など)に頼ることなく、常に質の向上をもって解決を目指す
4. 仕事上の喜びや悩みは一人のものせず、共有する
5. 仕事の成果は日常の現場にあると肝に銘じ、現場主義に徹する

## 〈キーワード〉

『信頼が導く挑戦と成長』

## 〈重点事項〉

1. 基本の徹底
2. 支援環境の個別化
3. 施設環境の拡充

## 〈重点事項の詳細〉

1. 基本の徹底
  - (1) 整容支援の見直し
    - ① 適切な着替え支援の実行
    - ② 散髪支援の明確化
  - (2) 個別支援計画の徹底
    - ① 個別支援計画の見える化
  - (3) 利用者理解への取組
    - ① 利用者理解
2. 支援環境の個別化
  - (1) 体育館のユニット化
    - ① 活動環境の整備

- ②休憩空間の整備
- ③午後スケジュールの確立
- (2)各階居室のレイアウト変更
  - ①2人部屋のレイアウト変更

### 3. 施設環境の拡充

- (1)みんなに優しい環境整備
  - ①共有スペースのユニバーサルデザイン化
  - ②生活環境・業務環境のサインデザイン化
- (2)ICTの拡充
  - ①電子化の拡充
  - ②記録作成業務の標準化
  - ③厨房業務のデジタル化

## 〈計画の詳細〉

### 1. 基本の徹底

目的：見える化を進め、基本を徹底することでサービスの質を向上させる

#### (1) 整容支援の見直し

##### ①適切な着替え支援の実行

適切な着替えの支援ができるよう意識向上を図る  
衣類整理の仕組みを明確化し衣類の過不足をなくす

##### 【取組内容】

- ・着替え支援の意識向上に向けた周知
- ・「衣類購入時の衣類破棄」「衣類破棄時の衣類購入」の仕組み構築

##### ②散髪支援の明確化

基準を明確にして偏りなく支援を実行する

##### 【取組内容】

- ・基準の作成
- ・計画的に支援できる仕組みの構築

#### (2) 個別支援計画の徹底

##### ①個別支援計画の見える化

個別支援計画を見える化し実施率を向上させる

##### 【取組内容】

- ・一覧表の掲示
- ・実施率の見える化  
半年の実施率を全体周知する（毎月12名程度）

年間目標として全体の実施率 80%以上とする

### (3) 利用者理解への取り組み（年3回）

#### ①利用者理解

利用者の特性を理解し、統一した関わり方を身につける

##### 【取組内容】

- ・利用者1名に対し全職員が複数のグループに分かれてディスカッションを実施。
- ・実施後、ディスカッション内容を全職員に周知し共有
- ・対象者：特性により統一した支援が特に重要な利用者

## 2. 支援環境の個別化

目的：活動並びに居室環境の個別化を図り、特性に合わせた空間の確立により、過ごしやすい環境を創造。

### (1) 体育館のユニット化

#### ①活動環境の整備

##### 【取組内容】

- ・対象利用者の選定（15名想定）
- ・活動内容の多様化（行事並びに季節的内容等）
- ・個別活動スペース増設（6カ所）
- ・扉の設置（体育館トイレへの動線確保）
- ・給湯器と蛇口の設置（お湯を含めた活用）
- ・カームダウンエリアの増設（2ヶ所目）
- ・職員の配置検討
- ・必要備品の選定
- ・効果検証

#### ②休憩空間の整備

- ・試験運用
- ・食事スペースの設置（倉庫改修 床、壁、棚、冷暖房）
- ・食事提供方法の検討（平日朝・昼・夕）
- ・職員の配置検討（提供体制）
- ・必要備品の選定（お茶タンク等）
- ・効果検証

#### ③午後スケジュールの確立

##### 【取組内容】

- ・試験運用
- ・各活動の検討（内容、曜日、時間等）
- ・職員の配置検討（提供体制）
- ・必要備品の選定

- ・効果検証

KPI 指標：利用者 15 名の活動参加で 100%とする

## (2)各階居室のレイアウト変更

### ①2 人部屋のレイアウト変更

#### 【取組内容】

- ・対象居室の選定（2 階 1 部屋・3 階 1 部屋）
- ・間仕切り棚の配置変更
- ・電気配線の配置変更
- ・必要備品の選定
- ・効果検証

KPI 指標：2 部屋の実行完了で 100%とする

## 3. 施設環境の拡充

目的：利用者・職員双方にとって優しい環境を整備する  
生産性を向上させ、創出された時間を支援の質向上  
へ繋げる

### (1)みんなに優しい環境整備

#### ①共有スペースのユニバーサルデザイン化

廊下消火器の壁埋込

#### ②生活環境・業務環境のサインデザイン化(視覚的配慮)

<生活環境(各階フロア)>

各階フロア(階段・EV 前)のカラーゾーニング

ピクトグラム導入等

<業務環境(厨房)>

厨房備品の見える化

#### 【取組内容】

- ・実施方法検討
- ・試験導入
- ・効果検証
- ・実行

KPI 指標：各フロアサインデザイン、配置表示の整備で  
100%とする

### (2)ICT の拡充

#### ①電子化の拡充

電子決裁の活用による効率化

#### 【取組内容】

- ・使用場面の拡大
- ・電子チェック化推進

- ・効果検証
- ②記録作成業務の標準化  
音声録音・生成 AI の活用と標準化  
【取組内容】
  - ・全体周知(説明会等)
  - ・運用開始
  - ・効果検証
  - ・活用場面の検討
- ③厨房業務のデジタル化  
食数表のデジタル化(モニター設置と電子チェック化)  
【取組内容】
  - ・食数表の電子チェック化
  - ・機器導入
  - ・説明
  - ・実行
  - ・効果検証

KPI 指標：プラウドノートの標準化、電子化による紙運用  
廃止で 100%とする

#### 4. 福祉ステークホルダーとの関係強化

目的：地域や家族、関係機関との結びつきを強化し、期待に  
応えられる事を前提に、質の高い施設運営を目指す  
入所者確保により、施設利用者人数の安定

##### (1) 関係機関との情報共有

関係機関へ訪問し、パンフレットによる情報提供

##### ①利用者確保活動

- ・営業戦略 WT を中心に活動
- ・訪問先  
相談支援事業所  
※オホーツク、十勝、胆振、日高  
養護学校  
※中度～重度者の養護学校
- ・訪問時期  
4月～7月

##### ②情報提供内容

- ・施設紹介パンフレットを活用(行事、日中活動の様子含)

##### ③養護学校卒業生の近況報告

- ・卒後支援中利用者を対象(※進路担当教諭との情報共有)

- ・家族へ広報誌を送付
- ④利用相談
  - ・書類確認、面談実施の上、受入判断(距離問わない)
  - ※相談や面談はオンラインを含めて対応
- (2)地域(町内会)との連携拡充
 

町内の清掃活動、交通安全街頭啓発や行事に参加する事とともに、施設行事への参加を呼掛け、地域との交流を図る

  - ①全国交通安全運動期間の町内街頭啓発への参加
    - ・春、夏、秋の年3回参加
  - ②町内ゴミ拾いを実施
    - ・春～秋の間、5S推進委員会が主体となり、年間スケジュールに組み込む形で毎月実施
    - ※実施方法や日程(+予備日)も5S推進委員会に一任
    - ・明るく活発的な町内づくり
    - ・防犯を含めた啓蒙
- (3)赤平市内の社会奉仕団体との連携強化
 

ライオンズクラブ、社会福祉協議会、市役所との連携

  - ①ライオンズクラブ主催の餅つき交流会、他行事への参加
  - ②ごみゼロ運動、ゴミ拾いへの参加
- (4)家族会、地域との交流事業開催
  - ①家族交流会(総会)を実施する
  - ②広報誌を年2回(4月・10月)に発行し郵送する

## 5. 年間行事計画

- (1)活動のポイント
 

「利用者と職員が共に作り上げる行事(利用者の意欲向上)」
- (2)利用者の役割
  - ①利用者の意向を反映
  - ②準備・後片付けの時に、始まりと終わりに挨拶を行う
  - ③準備・買い出し・司会進行・後片付け・放送係・挨拶係等
  - ④反省会へ意見を反映(反省会参加も可)
- (3)職員の役割
  - ①利用者の特性に合わせた行事を組む
  - ②利用者の能力に応じ、利用者の役割を提供する
  - ③日中活動・余暇時間を活用し、利用者と準備する
  - ④反省会に利用者の意見を取り入れる
  - ⑤実行委員会の役割として会計担当者を定める
  - ⑥行事計画の進捗状況を定期的に報告し、決裁を受け行事

の3日前には職員に行動予定・概要を周知する

- ⑦調理部門との連携(メニュー)として、7日前には行事メニューの到着時間、品名、調理部門の保管品名を共有

#### (4)会食の概要

##### ①誕生者会食

毎月、誕生者と会食

【誕生月該当者】

- ・食事は外出先の飲食店
- ・長寿祝いも兼ねる  
※還暦(60歳)・古希(70歳)・傘寿(80歳)  
→プリンススタジオに出張依頼し写真撮影
- ・撮影は年1回、4月にまとめて実施。  
※年度初めに担当者を決め、担当者がプリンススタジオとの連絡調整と写真配布方法などの詳細検討を行う  
※誕生者関連は互助会での支払いとする

##### ②施設会食

毎月(大型帰省月調整)会食を実施(野外・体育館)

##### ③行省会食

年間行事計画に基づいた会食を実施

### 〈行事予定〉

| 月   | 行事名                        | 指定会食    | 行事費 | 福利厚生 | 互助会 |
|-----|----------------------------|---------|-----|------|-----|
| 5月  | GWおたのしみ会                   |         |     |      |     |
| 6月  | 家族交流会・総会(食)<br>1泊旅行①       |         |     |      |     |
| 7月  | 夏まつり(食)<br>1泊旅行②           |         |     |      |     |
| 8月  | お盆お楽しみ会                    |         |     |      |     |
| 9月  | 日帰り旅行①                     |         |     |      |     |
| 10月 | 日帰り旅行②<br>日帰り旅行③           |         |     |      |     |
| 11月 | 秋フェス(食)                    |         |     |      |     |
| 12月 | ライオンズ餅つき会<br>クリスマスパーティー(食) |         |     |      |     |
| 1月  | 新春お楽しみ会                    |         |     |      |     |
| 2月  | 歌合戦(食)                     | 出前      |     |      |     |
| 3月  | フィットネス(食)                  | ジャンクフード |     |      |     |

※行事に伴う食事費用は「行事費または互助会」より捻出

**【行事(趣旨内容)概要】**

- ・夏まつり：法人夏まつり同時開催(法人へ参加できない方を対象に施設内で開催)
- ・秋フェス：お祭り要素(ショー、縁日、屋台等 ※ハロウィン要素可)
- ・フィットネス：楽しく身体を動かせる行事

**【指定会食概要】**

- ・出前：近郊の飲食店より出前
- ・ジャンクフード：ファーストフード並びにファミレスメニュー

**【光生舎 70 周年記念旅行詳細】**

## ○1 泊旅行

利用者予算：1,160,000 円(34 名×約 33,000 円)

引率職員予算：400,000 円(12 名×約 33,000 円)

## ○日帰り旅行

利用者予算：264,000 円(33 名×8,000 円)

引率職員予算：96,000 円(12 名×8,000 円)

**〈地域貢献予定〉**

| 実施月 | 地域交流事業、行事           |
|-----|---------------------|
| 4月  | 春の交通安全街頭啓発、町内ゴミ拾い   |
| 5月  | 町内ゴミ拾い              |
| 6月  | 町内ゴミ拾い              |
| 7月  | 夏の交通安全街頭啓発、町内ゴミ拾い   |
| 8月  | 町内ゴミ拾い              |
| 9月  | 秋の交通安全運動街頭啓発、町内ゴミ拾い |
| 12月 | ライオンズ餅つき会           |

**〈福利厚生予定〉**

| 実施月 | 働きやすい職場づくりの実行           |
|-----|-------------------------|
| 4月  | 交流会(新年度スタートアップ会)        |
| 6月  | クールビズTシャツ配布(クールビズ期間に着用) |
| 9月  | スポーツ交流会                 |
| 12月 | 交流会(忘年会)                |

## 〈法人 70 周年旅行〉

| 実施月 | 働きやすい職場づくりの実行 |
|-----|---------------|
| 5月  | 北陸(4名参加予定)    |
| 11月 | 大阪(1名参加予定)    |
| 1月  | 沖縄(2名参加予定)    |
| 2月  | 台湾(4名参加予定)    |

### 6. 委員会・プロジェクト活動

#### (1) ヒヤリハット委員会

- ① 原因究明と対策
- ② 危険発見活動
- ③ 保守点検

#### (2) 虐待防止委員会

- ① 伝達研修(外部・内部)
- ② セルフチェック
- ③ 身体拘束確認

#### (3) 5S推進委員会

- ① 施設内の3S
- ② 情報の2S
- ③ 車両の2S

#### (4) 運営推進委員会

- ① 健康管理部会
- ② 防災対策部会

#### (5) 研修管理委員会

- ① 施設内外の研修計画
- ② 研修報告と伝達研修のとりまとめ

#### (6) セルフチェック活動

- ① セルフチェックアンケート配布と集計
- ② 各会議等より課題選定、各委員会等に対策検討指示
- ③ 各委員会中心の点数向上に向けた対策の実施と検証

#### (7) 業務見直し活動

- ① 各委員会からの課題提起による見直し活動
- ② リーダー会議からの課題提起による見直し活動
- ③ 個人からの課題提起による見直し活動(改善提案)

- (8) 働きがいのある職場づくりの推進
  - ① 個人目標設定と達成
    - ※ 1 on 1 ミーティング等の実施
  - ② 継続した「働きやすい職場づくり」の取組
- (9) 資格
  - 介護福祉士 常見係、太田係
  - サービス管理責任者 瀧上リーダー

## 7. リスク管理計画

- (1) ヒヤリハット活動
  - ① 事故事例から改善活動
  - ② 危険発見活動
  - ③ 保守点検
  - ④ 法人委員会による他施設からの情報収集
- (2) 感染予防活動
  - ① BCP(非常災害計画)に基づく訓練の実施
  - ② ノロ発症初期対応のロープレ実施
  - ③ 感染症発症時の対応再確認
  - ④ 運営推進委員会 年間スケジュールに沿った活動
- (3) 虐待防止活動
  - ① 内部研修の開催と外部研修への参加
  - ② ディスカッション実施(考え方の共有)
  - ③ 虐待防止委員会 年間スケジュールに沿った活動
- (4) 救命救急訓練
  - ① 施設内訓練 … 消防の協力を仰ぐ
  - ② 施設外訓練 … 赤平市で行う訓練に参加
- (5) 消防訓練
  - ① 年二回の消防訓練実施(昼間、夜間)
  - ② 部分訓練の強化(通報・避難誘導・消火)
  - ③ 運営推進委員会 年間スケジュールに沿った活動
- (6) 災害避難訓練
  - ① BCP(非常災害計画)に基づく訓練の実施
  - ② 地震、土砂、風水害を想定した部分訓練の実施
  - ③ シェイクアウト訓練の実施

## 8. 研修計画

研修管理委員会を設置し、研修全般の管理を行う

### ○委員会の役割

- ・研修内容より、研修参加者を選任
- ・研修の振返り、伝達方法を決める
- ・参加研修、伝達研修の記録
- ・各委員会内容に付与する研修は、各委員会と連携

### <施設外研修>

|                |     |
|----------------|-----|
| 支援の質・チーム力に係る研修 | 支援員 |
| 虐待防止、身体拘束防止研修  | 支援員 |
| クロストレーニング（ていく） | 支援員 |

### <施設内研修>

|                  |     |
|------------------|-----|
| ハラスメント対応研修       | 全職員 |
| 虐待防止、身体拘束防止研修    | 全職員 |
| BCP（災害、感染）に基づく研修 | 全職員 |
| 承認（認め合い）ワーク      | 全職員 |

※上記研修は、他委員会連携も含め基本受講研修

## 9. 住環境計画

体育館トイレ混合栓(4月 修繕費)

消火器壁埋め込み(7月 修繕費)

LED照明(8月 修繕費)

体育館暖房機工事(10月 修繕費)

# 「光生舎クリーン・セブン経営計画」

## 〈基本理念〉

企業授産の追求・発展と利用者ニーズの実現

## 〈基本目的〉

1. 利用者が自信をもって働く職場づくりを通じ、顧客および社会に貢献する。
2. 障害者支援施設として、利用者の主体的かつ安定した生活の実現を図る。
3. 就労継続支援事業所として、障害者雇用の拡大に寄与する。

## 〈基本方針〉

1. 働く人の安全を最優先とする。
2. 顧客に対し、安全で良質な製品の安定供給を行う。
3. 顧客の潜在的ニーズを把握し、選ばれる工場づくりを推進する。
4. 企業授産の理念のもと、利用者の個性や可能性を活かした環境・活動を創出する。
5. 生産および支援における課題について、質の向上をもって改善を図る。
6. 共に働く仲間として、舎員相互の理解と協力体制を強化する。

## 〈キーワード〉

『見える・聴ける・言える』 ～ Just do it ～

## 〈重点事項〉

1. 風通しの良いクリーン・セブンの構築
2. 3M（ムリ・ムラ・ムダ）排除
3. 利用者が生き生きと活躍「できる」サービスを提供

## 〈重点事項の詳細〉

### 1. 風通しの良いクリーン・セブンの構築

#### (1) 見える化活動の推進

- ・安心、安全な職場環境の整備による事故ゼロの継続（事故報告 0 件を目標）
- ・作業手順およびルールの明文化と掲示
- ・情報共有の見える化（「聞いて分かる」から「見て分かる」）

#### (2) きれいな工場づくり

- ・5S 活動の定着
- ・週間定期清掃の継続実施
- ・職場の形態保存(形跡管理、作業終了時の整理整頓)の徹底

#### (3) 職員の働き甲斐・支援力向上

- ・職員の 1on1 ミーティングを実施し、業務や支援に関する課題や悩みを共有
- ・目標設定を行い、個々の成長と働き甲斐の向上につなげる

### 2. 3M（ムリ・ムラ・ムダ）排除

#### (1) 7 つの無駄の排除に向けた改善活動

- ・加工、在庫、作りすぎ、手待ち、動作、運搬、手直し

#### (2) ムラの排除（標準化・平準化）

- ・作業マニュアルの作成および更新
- ・作業の標準化による効率化および品質の安定

#### (3) ムリの排除（安定した生産と見直し）

- ・業務負荷の洗い出しと改善
- ・生産点数の見える化による作業効率向上

### 3. 利用者さんが生き生きと活躍「できる」サービスを提供

#### (1) 働き甲斐のある職場環境の提供

- ・利用者の自主性や意欲を引き出す業務の工夫
- ・達成感や成長を感じられる仕組みの導入
- ・評価やフィードバックの充実によるやりがい向上

#### (2) 多様な働き方の推進

- ・利用者さんの希望や特性に合わせた働き方をサポート

#### (3) 安心できる環境づくり

- ・利用者からの要望に対する傾聴と迅速な対応

#### (4) 施設行事の充実

- ・希望に沿った場所で誕生者会食を実施
- ・季節行事やイベントで楽しみながら参加できる機会を提供

〈研修計画〉 ※ 外部研修の参加は施設・工場に合った研修に随時参加する。

| No. | 実施月 | 研 修 名                    | 対象者         |
|-----|-----|--------------------------|-------------|
| 1   | 4月  | 利用者勉強会 ①（安全衛生教育勉強会）      | 利用者（職員・一般者） |
| 2   | 5月  | 利用者勉強会 ②ヒヤリハット勉強会        | 利用者         |
| 3   | 6月  | 熱中症勉強会                   | 職員・利用者・一般者  |
| 4   | 7月  | 利用者勉強会 ③（利用者の賃金評価制度について） | 利用者         |
| 5   | 8月  | 福祉勉強会 ①                  | 職 員         |
| 6   | 10月 | 福祉勉強会 ②                  | 職 員         |
| 7   | 11月 | 利用者勉強会 ④                 | 利用者         |
| 8   | 1月  | 虐待防止・権利擁護研修              | 職 員・一般者     |
| 9   | 2月  | 福祉勉強会 ③                  | 職 員         |
| 10  | 毎日  | 本読み                      | 職 員         |
| 11  | 随時  | 外部研修                     | 職 員         |

〈委員会活動〉

|     | 身体拘束虐待防止委員会 | ヒヤリハット委員会   | 5S推進委員会   | 防災対策感染予防委員会     |          |
|-----|-------------|-------------|-----------|-----------------|----------|
|     |             |             |           | 防 災             | 感 染      |
| 4月  | 第1回委員会      | 安全衛生教育      |           |                 |          |
| 5月  | セルフチェック見直し  | ヒヤリハット勉強会   | ホコリ落とし    |                 |          |
| 6月  |             |             | ポリッシャー掛け  | 消防総合訓練          | 熱中症勉強会   |
| 7月  | 第2回委員会      |             | 5S仕組み作り活動 | 街頭啓発            |          |
| 8月  |             |             |           |                 | ガウテック講習  |
| 9月  |             |             |           | シェイクアウト<br>街頭啓発 | 手洗い講習    |
| 10月 | 第3回委員会      | 労働安全衛生手帳朗読  | ポリッシャー掛け  | BCP 訓練          | ハミルトン    |
| 11月 | セルフチェック見直し  |             | ホコリ落とし    | 消防総合訓練          | イカレガ 勉強会 |
| 12月 | 外部研修        |             | 5S仕組み作り活動 |                 | BCP 訓練   |
| 1月  | 虐待研修 伝達研修   |             |           | 風水害避難訓練         |          |
| 2月  |             |             | ポリッシャー掛け  | シェイクアウト         |          |
| 3月  | 第4回委員会      |             |           | BCP見直し          | BCP見直し   |
| 毎月  | セルフチェック     | リスクアセスメント活動 | 3S巡視      | 防災自主点検          |          |

〈行 事〉 ※ 誕生者会食：場所は利用者アンケートにて選定

|     | 行 事           | 会 食               | 誕生者会食 |
|-----|---------------|-------------------|-------|
| 4月  |               | すき焼き会食            |       |
| 5月  |               | セレクト会食            |       |
| 6月  |               | 野外会食              | ○     |
| 7月  | 夏まつり (本舎)     | 野外会食 (ヅンギスシ・札幌)   |       |
| 8月  | 焼肉パーティー       | 野外会食 (ヅンギスシ・ステーキ) |       |
| 9月  |               | 敬老の日会食            | ○     |
| 10月 |               | ホットプレート会食         |       |
| 11月 |               | 鍋 会 食             | ○     |
| 12月 | クリスマス会        | 年越し会食             |       |
| 1月  | 新 年 会         | お弁当会食             |       |
| 2月  | アイスクャンドル (本舎) | 鍋 会 食             | ○     |
| 3月  |               | ひな祭り会食            |       |

# 「特別養護老人ホームしらかば荘経営計画」

## 〈基本理念〉

特別養護老人ホームしらかば荘は、利用者様一人ひとりが尊重され、「幸せな生活である」と感じられる施設サービスを提供すると共に、地域住民と協力や連携をしながら高齢者福祉を促進していくことを理念とする。

## 〈基本目的〉

1. 利用者の1日1日を大切にする
2. 個性を尊重した支援を行う
3. 高齢社会の担い手として地域の期待に応える

## 〈基本方針〉

1. 利用者目線で物事を考え、その人らしい生活が送れるよう支援する
2. 職員が連携を強化し、統一したケアを行う
3. 利用者が快適な生活を送れるように環境を整備する
4. 地域・病院・福祉機関等との連携を深め、頼られる施設づくりを行う

## 〈キーワード〉

『言心伝心（いしんでんしん）～言おう、伝えよう、つなげよう』

## 〈重点事項〉

1. 業務効率化
2. 選ばれる施設

## 〈重点事項の詳細〉

1. 業務効率化  
目的；年間休日 120 日にむけて  
ICT 機器導入に伴う、業務の細分化と見直し  
(1)業務の削減と省略  
①現状把握  
・職場全体の業務の洗い出し…4～5月

ムダ（やらなくてよい）業務  
 簡略化できる業務  
 人員体制・配置の再確認  
 着手する業務の優先順位決定

②改善内容の検討…6～8月

③改善内容の周知と開始…9月～

(2)ICT 機器の有効活用と導入

①LIFE リズムナビDr.+

- ・運用方法の検討…R8.2～3月
- ・機器概要と操作説明（運用開始）…R8.2～3月
- ・運用状況の報告…R8.3月
- ・運用状況の確認と作業手順の見直し…4・6・8・10・12・R9.2月

②機器選定…随時

- ・現状把握の課題から効果のある機器の選定
- ・機器の現場検証（トライアル期間）
- ・導入検討と導入
- ・効果検証と報告

業務効率化 WT 年間スケジュール

|      |   |  |
|------|---|--|
| 重点項目 | 業務見直し課<br>① 業務の削減と省略<br>② ICT 機器の有効活用と導入(随時)  |  |
|      | 業務削減と省略   | ICT 機器の有効活用と導入(随時)   |
| 4月   | 職場全体の業務洗い出し<br>(全体の業務と課題抽出)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 機器選定<br/>(①の課題に対して検証したい機器を選定)</li> <li>・ICT 機器選定と検証<br/>(課題に対する変化を数値、文書等で評価)<br/>⇒課題・機器ごとの評価基準の作成(随時)</li> <li>・ICT 機器導入<br/>…補助金申請の要否の確認<br/>…機器の操作研修の実施</li> </ul> |
| 5月   |   |  |
| 6月   | 改善内容の検討   |  |
| 7月   |   |  |
| 8月   |   |  |
| 9月   |   |  |
| 10月  | 改善内容の周知と開始<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・改善内容毎に評価実施</li> <li>・評価結果を基に更に改善検討を実施する。</li> </ul> |  |
| 11月  |   |  |
| 12月  |   |  |
| 1月   |   |  |
| 2月   |   |  |
| 3月   | 活動総括  |  |
| 定期   |   | LIFE リズムナビ状況確認(4月～隔月)  |

## 2. 選ばれる施設

目的；利用者、職員共に選ばれる施設を目指す

### 【営業戦略】

- (1) ターゲットの明確化
- (2) 地域貢献活動を通じた施設の PR
- (3) SNS を利用した施設の活動内容や利用上状況の周知、PR

### 【職員育成】

#### (1) 働きがいのある職場づくり

- ① 意見を言いやすい風通しの良い職場環境を整備
- ② 言える化…不適切ケアを言えない（注意し合えない）理由を分かり合う研修（6月）
- ③ 不適切ケアを学びに変える
  - ・「言ってくれてありがとう」が自然に交わされる職場を目指す
  - ⇒ 注意する・受ける…ロールプレイ研修（7月）  
朝礼後 20 分研修
- ④ 良いケアを増やす活動
  - ・ ありがとうカードの継続
  - ⇒ 業務上のありがとう（＝現行の活動）  
（しらかばルールセルフチェックで提出 7月～）
  - ⇒ 良い接遇見習いますカードを具体的に書く  
（個別セルフチェックで提出 8月～）

#### (2) 基本的介護支援の見直しと質の向上

- ① 日々のケアの見直し（接遇）
  - ・ 接遇セルフチェックの作成（挨拶、声掛け、表情、言葉遣い）  
作成：4～6月 実施：7月～
  - ・ ショートステイ利用者（家族に）満足度アンケートを実施  
作成：5～7月 実施：年2回（9月、2月）
  - ・ 利用者家族の声を職員に伝える  
職員の対応・接遇面について利用者家族にアンケート実施  
作成：5～7月 実施：年2回（9月、2月）  
アンケートの結果を職員に伝える  
アンケートの結果をさらなる改善活動へつなげる
  - ・ 接遇研修…動画視聴または資料作成（10月）  
研修で学んだこと、自身の活動に取り入れることを提出

- 接遇目標を個別セルフチェック項目に追加する(11月～)
- ②不適切ケアの「言える化」を進め、安心・安全な介護を実践する
- ・上記(1)働き甲斐のある職場作り参照

③余暇活動の充実

- ・週替わりの活動企画
- ・毎週〇曜日 〇時～10分間  
フロア職員がそれぞれ利用者と関わる中で実施
- 第1週：体操（手だけ体操グーチョキパー、指折り等）
- 第2週：制作（紙飛行機を折る・飛ばす等）
- 第3週：カードクイズ（これは何でしょう？等）
- 第4週：頭の体操（果物3つ言う、赤いもの言う等）

(3)職員の知識向上

- ①勉強会：しらかば荘はどのような人が利用（入所）するのか  
介護保険法、生活保護法、障害者総合支援法の違い等

(4)セルフチェックの継続

①職場のルール

②しらかば荘のルール

- ・見直し…4～5月
- ・修正 …6月
- ・実施 …7月～

③個別セルフチェック：自身の欠点の見直し、目標の設定

- ・目標の見直し …5～6月
- ・個別セルフチェック表の作成…7月
- ・実施 …8月～

選ばれる施設 WT 年間スケジュール

| 重点項目 | ①営業戦略<br>②職員育成  |   |
|------|---|---|
|      | 営業戦略  | 職員育成  |
| 4月   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インスタの利用方法の見直し</li> <li>・ポスター作成</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・しらかばルールセルフ見直し 4～5月</li> <li>・接遇セルフチェック作成 4～7月</li> </ul>                            |
| 5月   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター作成</li> <li>・居宅介護支援事業所施設招待準備</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート作成 5～8月<br/>⇒ショートステイ利用者満足度<br/>⇒職員の対応・接遇</li> <li>・個別セルフ目標の見直し 5～6月</li> </ul> |
| 6月   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター掲示依頼開始 6～8月</li> <li>・居宅介護支援事業所施設招待準備</li> <li>・地域食堂開催</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・しらかばルールセルフ修正</li> <li>・「言える化」：導入研修</li> </ul>                                       |
| 7月   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護支援事業所施設招待</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・しらかばルールセルフ開始</li> </ul>   |

|     |  |  |
|-----|--|--|
|     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター進捗確認</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇セルフチェック開始</li> <li>・「言える化」：ロールプレイ研修</li> <li>・業務上のありがとうカード開始</li> <li>・個別セルフチェック表作成</li> </ul> |
| 8月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター進捗確認</li> <li>・居宅介護支援事業所施設招待効果検証</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別セルフチェック開始</li> <li>・良い接遇見習いますカード開始</li> </ul>  |
| 9月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS利用の確認</li> <li>・半期反省</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート実施<br/>⇒ショートステイ利用者満足度<br/>⇒職員の対応、接遇</li> <li>・半期反省</li> </ul>                               |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族介護教室開催準備</li> <li>・無料相談会開催準備</li> <li>・地域食堂開催</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇研修</li> <li>・接遇目標作成</li> </ul>   |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族介護教室開催</li> <li>・無料相談会の開催</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇個別セルフチェック開始</li> </ul>   |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護教室、相談会効果検証</li> <li>・ボランティア受け入れ活動準備<br/>12～2月</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員知識向上：勉強会資料作成</li> </ul>  |
| 1月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア受け入れ活動準備</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員知識向上：勉強会実施</li> </ul>  |
| 2月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア受け入れ</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート実施<br/>⇒ショートステイ利用者満足度<br/>⇒職員の対応、接遇</li> </ul>  |
| 3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア反響、効果検証</li> <li>・年間反省と次年度引継ぎ</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間反省</li> </ul>  |
| 定期  | 事業所訪問（4、8、12月）   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週○曜日 余暇活動</li> <li>・毎月セルフチェック<br/>4月～光生舎ルール<br/>7月～しらかば荘ルール<br/>接遇<br/>8月～個別</li> </ul>         |

## 〈各部門計画〉

### 介護サービス

基本方針：「利用者第一主義」とし当たり前の事を当たり前に支援する  
業務の効率化と最適化を行う

#### 1. 直接介助

##### (1) 身体介護ケアを適切に実施する

- 排泄：本人の身体能力に合わせた介助方法を選択する。
- 入浴：週2回を基本に実施し本人の身体状況や希望に合わせた入浴方法を選択する。
- 食事：咀嚼や嚥下状態を把握し状態にあったペースで介助する。  
安全に摂取できるよう食事中の姿勢を整える。
- 水分：1日1200ml以上の水分摂取を目指し、定時の水分補給時間以外にも本人の希望に合わせた水分を提供する。（トロミ剤については個人の状態に合わせて使用する）
- 移乗・移動：本人の残存機能や身体状況に合わせた介助方法を行う。
- 整容：季節に合わせ本人の好みに合った衣服を着てもらうよう支援し、日々身だしなみを整える。

##### (2) 各職種との連携を密にする

- 利用者サービスに問題や課題がある場合は主任が中心となり関係職種を随時招集し相談、早期対応を行い必要に応じて臨時のケース会議を開くようケアマネジャーと連携する。
- 個々のケース対応については利用者担当が中心となり関係職種への報告、連絡、相談、打ち合わせを密にし、連携を持った対応を行う。必要に応じて臨時のケース会議を開くようケアマネジャーと連携する。

#### 2. 環境整備

##### (1) 利用者が気持ちよく安全に生活できるように、住居・生活環境を整える。

- 利用者の衣類の整理整頓（毎日）
- 居室と共用部の清掃、整理整頓（毎日）

- ・居室3S 巡視の実施による清潔な状態の維持習慣化(毎月)
  - ・食事環境(テーブルの高さや場所、他利用者との関係等)を整える
- (2)共有スペース環境整備
- ・会議室、夜警員室、備品庫の使用用途の見直し

### 3. 介護サービスの向上

- (1)老施協研究会議へ参加（7月、11月）
- ・介護知識と介護技術を習得し業務に活用する
  - ・外部研修後に内部伝達研修を行い情報共有を行う（9月、2月）
- (2)日中活動の充実
- ・既存の活動内容を大切にしつつ、新しい発想で日中活動の充実を図る。

### 4. 業務の効率化と最適化

- (1)多様な働き方の模索
- ・特定業務の専従化（外部依頼含む）
  - ・勤務時間の柔軟な対応
  - ・残業時間の削減
- (2)介護の生産性向上
- ・業務の無駄を定義、明確化
  - ・取捨選択を含む業務の見直し
  - ・ICT 機器の積極的な情報収集と導入
- (3)組織の見直し
- ・決定プロセスと役割の明確化
- (4)業務の標準化（外国人スタッフの受け入れ準備含む）
- ・既存のマニュアルの見直し、再周知
  - ・曖昧なルールの明確化、それに伴うマニュアルの新規作成
  - ・ルールの維持方法の検討

### 看護サービス

基本方針：利用者が健康な状態で生活が送れるよう、健康管理を行う

1. 異常を早期発見し、早期対応を行う
- ・日常の生活状況・身体状況・精神症状の観察と把握を行う

- 協力医療機関、近隣医療機関への受診介助を行う
  - 施設往診時、診察の介助を行い定期薬・臨時薬の処方を受ける
  - 年1回 全利用者の健康診断と歯科検診を実施する
2. 各部と連携を取り、利用者の情報共有を行う
- 朝礼・夕礼で状態変化や体調不良がある利用者の情報共有を行う
  - ケース会議で利用者の健康状態や往診経過を報告し、今後の介助方法などの情報提供を行う
  - 給食運営会議で、水分摂取不足者の対応と体重が2kg以上増減した利用者の対応を検討する
3. 施設内の感染予防・感染拡大防止に努める
- 各種予防接種（インフルエンザワクチン・コロナワクチン）を実施する
  - 感染症流行の季節には、感染を疑う症状出現者の隔離や受診対応、濃厚接触者の隔離対応を早期に判断する事により、流行と拡大を防ぐ
  - 感染予防委員会と連携し感染予防活動（勉強会・講習会）をサポートする
4. リハビリを実施し、利用者の機能維持を図る
- DVD体操について介護員と協力し、報告書に反映する
  - 認知機能を維持するため、利用者の能力に合ったリハビリ（生活リハビリ、ぬり絵やパズル、計算問題など）を随時提供する
  - 3か月ごとにリハビリ評価を行い、報告書を作成・提出する
5. 口腔衛生の管理を行い、口腔機能を維持する
- 嚥下機能を維持するため、唾液腺マッサージや口腔体操を計画する（毎日）
  - 年2回 歯科医師又は歯科衛生士による職員へ向けた口腔衛生に関する研修会を企画し開催する
  - 感染予防委員会と連携し、口腔チェックの結果から口腔衛生の評価を行う

## 6. 利用者家族への情報提供

- ・日常の様子や体調の変化、受診結果など家族連絡を密に行い利用者・家族に安心していただけるように配慮する

## 7. 利用者の急変時に迅速な対応ができるよう施設内研修を実施する

- ・年1回 救急救命講習会を開催する  
(急変者発見時の初動・心肺蘇生方法)

## 看護サービス 年間スケジュール

|      |   |                  |
|------|---|------------------|
| 基本方針 | 利用者が健康な状態で生活が送れるよう、健康管理を行う  |                  |
|      | 活動  | 研修・勉強会           |
| 4月   | 職員健康診断準備(夜勤者のみ)<br>肺炎球菌・带状疱疹ワクチン対象者へ<br>接種希望調査書作成                             |                  |
| 5月   | 職員健康診断実施(夜勤者のみ)<br>肺炎球菌・带状疱疹ワクチン対象者へ<br>接種希望調査書発送(5/10)                       | 救命講習会準備          |
| 6月   | 肺炎球菌・带状疱疹ワクチン準備   | 救命講習会実施          |
| 7月   | 肺炎球菌・带状疱疹ワクチン実施   |                  |
| 8月   |   |                  |
| 9月   | 職員健康診断準備(全職員)<br>事業計画上半期反省<br>コロナワクチン希望調査書作成                                  |                  |
| 10月  | 職員健康診断実施(全職員)<br>インフルエンザ予防接種準備<br>コロナワクチン希望調査書発送<br>(10/10)                   | 口腔衛生管理研修会(第1回)準備 |
| 11月  | インフルエンザ予防接種実施<br>コロナワクチン名簿作成・日程調整   | 口腔衛生管理研修会(第1回)実施 |
| 12月  | コロナワクチン実施<br>利用者健康診断準備  |                  |
| 1月   | 利用者健康診断実施   |                  |
| 2月   | 利用者歯科検診実施   | 口腔衛生管理研修会(第2回)準備 |
| 3月   | 事業計画反省  | 口腔衛生管理研修会(第2回)実施 |
| 定期   | 月1回 全利用者体重測定<br>月2回 全利用者血圧測定<br>毎週水曜日 歌志内市立病院往診<br>(定期・臨時薬処方)<br>3か月ごと リハビリ評価 |                  |

## 介護支援サービス

基本方針：ICT を活用したケアマネジメントの高度化と業務効率化により、職員の意識向上と利用者満足度向上、安定した稼働率の回復を実現する。

### 1. ICT 活用によるケアマネジメントの効率化と質の向上

#### (1) 情報集約と共有の強化

- ・ケア記録、生活記録、医務・栄養・口腔情報等を ICT 上で一元管理し、情報収集・整理時間を削減する
- ・ICT の活用によりモニタリングやケース会議資料の作成時間短縮を図り、「考える時間」を確保する

#### (2) 会議・調整業務の効率化

#### (3) 業務の見える化、分担・効率化

- ・生活相談、ケアマネ業務の流れを整理し、属人化を防止

### 2. ケアマネジメントの専門性向上

- ・「調整」だけでなく「利用者の生活を充実させる」ことを考え対応する
- ・多職種からの情報を集約し、現場負担の軽減につなげる

### 3. 介護支援部門としての共通姿勢

- ・判断や調整を一人で抱え込まず、部門内外で共有し解決へつなげる
- ・変化への対応を積み重ね、ケアの質の維持向上を図る

### 4. 利用者確保と稼働率回復への主体的関与

#### (1) 入所利用率の安定確保

- ・入所前の状態確認を他部門と協働、利用者の状態を専門的に判断し受け入れの調整に繋げていく
- ・入退所調整、ショートステイ対応、空床情報の共有を通じて、稼働率の安定を図る
- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、医療機関等との関係を構築し、地域における相談窓口としての役割を担う

#### (2) ショートステイ利用率の改善

#### (3) 外部への発信・関係づくり

- ・ 定期的な居宅介護支援事業所等への訪問活動を継続する
  - ・ 研修等の参加から関係機関とつながり構築する
- (4) 地域課題・医療ニーズを見据えた視点
- ・ 受け入れガイドラインの見直しを行い、地域特性、支援体制を踏まえた上で利用を検討する
  - ・ 医療ニーズの高まり、入退院の状況から、医療機関との情報共有連携を強化する
  - ・ 施設で対応困難なケースであっても、「他の機関へつなぐ役割」、「地域資源を探す役割」として対応する

### 介護支援サービス 年間スケジュール

|      |  |  |
|------|--|--|
| 基本方針 | ICT を活用したケアマネジメントの高度化と業務効率化により、職員の意識向上と利用者満足度向上、安定した稼働率の回復を実現する。   |  |
|      | 活動   | 研修・勉強会   |
| 4月   | 科学的介護情報システム(LIFE)及びデータ連携システムの導入、使用方法の確認、LIFE の使用開始   |  |
| 5月   | 事業所訪問、挨拶回り(連携システムの導入に関して他事業所の意向調査)   |  |
| 6月   | データ連携システム他事業所連携開始  | 介護支援専門員更新研修後期(田所)  |
| 7月   |  |  |
| 8月   | 新規利用者獲得実務者会議における訪問活動(法人 PR)  |  |
| 9月   | 新規利用者獲得実務者会議における訪問活動(法人 PR)  |  |
| 10月  |  |  |
| 11月  |  |  |
| 12月  | 事業所訪問、年末挨拶回り   |  |
| 1月   |  |  |
| 2月   | 年度書類整理   |  |
| 3月   | 年度書類整理   |  |
| 定期   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入所及びショートステイに係る相談から利用における一連の作業(随時)</li> <li>・ 介護支援計画の作成、見直し、モニタリング、介護保険各種事務手続き代行、認定調査代行(適宜)</li> <li>・ 苦情対応、生活相談、臨時ケース見直し(適宜)</li> <li>・ ケース会議(適宜(臨時))</li> <li>・ 入所判定会議(不定期)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部入所検討委員会(隔月)</li> <li>・ 入所検討実務者会議(毎月)</li> <li>・ 新規利用者獲得実務者会議(毎月)</li> <li>・ 個別支援計画実務者会議(毎月)</li> <li>・ 空知老人施設介護支援専門員合同学習会</li> <li>・ 空知中部広域連合管内施設連絡調整会議</li> <li>・ 地域ケア会議</li> <li>・ 楽生園入所検討会議</li> </ul> |

## 食事サービス

基本方針：安全でおいしい食事の提供

1. 個人に合わせた食事の提供
  - ・給食運営会議にて、食事形態の見直しを行う
  - ・個人の嗜好・ADL・病態・咀嚼嚥下状態に合った食事で、安全に美味しく食べて頂けるように工夫し、個人のニーズを尊重し提供する
  - ・個人に聞き取り調査を実施し、嗜好の把握に努め、日々の食事に反映する
  
2. 会食・行事食の充実化
  - ・会食・行事食内容を検討し楽しんで食べて頂ける食事を提供する
  - ・季節感のある食事・変化のある食事の提供を行う
  
3. 栄養管理の充実化
  - ・個人の栄養アセスメントを行い、食事摂取量・栄養状態の把握に努め、状況により給食運営会議にて個人対応の話し合いを行う
  - ・医師の指示に基づき、療養食の提供を行う
  
4. 衛生管理と感染症対策の徹底を行う
  - ・月1回衛生点検を行い、清掃作業を徹底し、食中毒を防止する
  - ・調理作業のルール徹底と異物混入を防止する
  - ・調理業務委託業者と協力し、感染症対策を行う
  
5. 食事の提供
  - ・調理業務委託業者と協力し、安全でおいしい食事の提供を目指す
  
6. 各種マニュアルの見直しを行う
  - ・災害時マニュアル、食事提供マニュアル、異物混入時マニュアルの内容を確認し、見直しを行う（年1回）

## 食事サービス 年間スケジュール

|            |              |                      |                   |
|------------|--------------|----------------------|-------------------|
| 基本方針       | 安全でおいしい食事の提供 |                      |                   |
|            | 行事食          | 季節行事食                | 調査他               |
| 4月         | 誕生会<br>会食    | 昭和の日                 | 災害時マニュアル内容確認      |
| 5月         | 誕生会<br>会食    | 憲法記念日<br>子供の日        |                   |
| 6月         | 誕生会<br>会食    |                      |                   |
| 7月         | 誕生会<br>会食    | 海の日                  | アンケート調査           |
| 8月         | 誕生会<br>会食    | お盆<br>山の日            |                   |
| 9月         | 誕生会<br>敬老会   | お彼岸                  |                   |
| 10月        | 誕生会<br>会食    | スポーツの日               |                   |
| 11月        | 誕生会<br>会食    | 文化の日<br>勤労感謝の日       |                   |
| 12月        | 誕生会<br>会食    | 冬至<br>クリスマス<br>年越し   |                   |
| 1月         | 誕生会<br>会食    | お正月<br>成人の日          |                   |
| 2月         | 誕生会<br>会食    | 節分<br>建国記念日<br>天皇誕生日 | 食事提供マニュアル内容<br>確認 |
| 3月         | 誕生会<br>会食    | ひな祭り<br>お彼岸          |                   |
| 定期会議<br>点検 |              |                      | 給食運営会議<br>衛生点検    |

### 3. 各委員会活動

#### ヒヤリハット委員会

|      |   |                               |
|------|---|-------------------------------|
| 重点項目 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故原因の究明と周知</li> <li>・ヒヤリハット活動の強化</li> </ul> |                               |
|      | 活動  | 研修・勉強会                        |
| 4月   | 各マニュアルの見直し<br>センサー・事故対策見直会議   |                               |
| 5月   | センサー・事故対策見直会議   | 事故、ヒヤリハット報告書の提出目的<br>についての勉強会 |
| 6月   | センサー・事故対策見直会議   |                               |
| 7月   | テーブル椅子手すり点検<br>センサー・事故対策見直会議  |                               |
| 8月   | センサー・事故対策見直会議<br>各マニュアルの見直し   |                               |
| 9月   | 上半期事故別件数発表<br>事故内容のワースト3報告<br>センサー・事故対策見直会議   | 服薬介助マニュアル再周知・勉強会              |
| 10月  | センサー・事故対策見直会議   |                               |

|     |   |  |
|-----|---|--|
| 11月 | センサー・事故対策見直会議   |  |
| 12月 | センサー・事故対策見直会議<br>各マニュアルの見直し   |  |
| 1月  | テーブル椅子手すり点検<br>センサー・事故対策見直会議  |  |
| 2月  | センサー・事故対策見直会議   |  |
| 3月  | 年間事故別件数発表<br>事故内容ワースト3報告<br>センサー・事故対策見直会議   |  |
| 定期  | 浴室点検<br>センサー見直し検討会議<br>セルフチェック<br>ナースコール動作点検<br>扉センサー電池チェック<br>緊急事故検証（随時）<br>＊振興局報告事故案件 |  |

## 虐待・身体拘束廃止委員会

|      |  |   |
|------|--|---|
| 重点項目 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待・身体拘束ゼロの継続</li> <li>・虐待発見時の迅速な対応と再発防止活動</li> <li>・緊急やむを得ない身体拘束発生後の迅速な身体拘束廃止検討</li> <li>・事例から身体拘束及び虐待に関する理解を深める</li> </ul>    |   |
|      | 活動   | 研修・勉強会  |
| 4月   | セルフチェックの見直し  | 不適切ケア事例の周知活動  |
| 5月   | 『身体的拘束等適正化のための指針』の見直し  | 変更内容があれば周知活動  |
| 6月   | 『高齢者虐待防止マニュアル』の見直し   | 変更内容があれば周知活動  |
| 7月   |  | 『高齢者虐待防止マニュアル』の内部研修   |
| 8月   |  | 北海道高齢者虐待防止研修会（外部研修）の予定確認  |
| 9月   |  | 虐待防止・身体拘束廃止に伴う伝達研修内容の確認   |
| 10月  |  | 伝達研修  |
| 11月  |  |   |
| 12月  |  |   |
| 1月   |  | 身体拘束・虐待に関する事例を用いた内部研修内容の確認  |
| 2月   |  | 身体拘束・虐待に関する事例を用いた内部研修   |
| 3月   |  |   |
| 定期   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフチェック（毎月）</li> <li>・身体拘束定期チェック（3カ月ごと/6・9・12・3月）</li> </ul>   |   |
| 随時   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待及び身体拘束発生時の臨時会議の開催と再発防止活動の徹底</li> <li>・国内で起きた事例を踏まえた注意喚起</li> <li>・セルフチェックの実施率を踏まえた啓蒙活動</li> <li>・不適切ケアがあった場合、当事者と</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入社員に、虐待防止・身体拘束廃止に伴う伝達研修（随時）</li> </ul> |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | 状況確認し、再発防止のため周知活動、必要に応じて主任を交えての面談を行う。<br>・しらかば荘不適切ケア事例集を作成、適宜更新。それを踏まえた啓蒙活動。 |  |
|--|--|--|

## 5S 推進委員会

|      |   |                    |
|------|---|--------------------|
| 重点項目 | 3S（整理・整頓・清掃）<br>居室清掃の徹底   |                    |
|      | 活動  | 研修・勉強会             |
| 4月   | 加湿器片付け<br>カーテン洗濯準備  | 3S と 5S の違いの勉強会    |
| 5月   | エアコンフィルター掃除<br>カーテン洗濯<br>扇風機設置・清掃   | 5S 基礎テスト 1         |
| 6月   | カーテン洗濯  |                    |
| 7月   | カーテン洗濯<br>居室・衣類整理   | 3S 活動のルール基礎的な勉強会 1 |
| 8月   | カーテン洗濯<br>加湿器設置準備<br>ワックスがけ遂行会議   |                    |
| 9月   | ワックスがけ準備<br>エアコンフィルター清掃<br>扇風機片付け・清掃  | 3S 活動のルール基礎的な勉強会 2 |
| 10月  | ワックスがけ<br>加湿器設置   |                    |
| 11月  | ワックスがけ  |                    |
| 12月  | ワックスがけ<br>居室大掃除   |                    |
| 1月   | ワックスがけ  | 5S 基礎テスト 2         |
| 2月   | ワックスがけ  |                    |
| 3月   | 年間活動反省会<br>加湿器清掃  |                    |
| 定期   | 法人 3S 巡視、委員会出席<br>居室床清掃（1日2部屋）<br>形跡管理<br>次亜水噴射器清掃（月末）<br>共用部 3S 巡視（第3月曜）<br>居室 3S 巡視（第4月曜） |                    |

## 防災・感染予防委員会

|      |  |                    |
|------|--|--------------------|
| 重点項目 | 防災：訓練や勉強会を通して防災意識を向上する<br>感染：感染症に対する知識を深め、予防や拡大防止に努める            |                    |
|      | 活動   | 研修・勉強会             |
| 4月   | 交通安全週間呼びかけ・啓蒙<br>街頭啓発<br>災害時使用物品点検・更新<br>水・電源確保訓練準備<br>BCP 勉強会準備 |                    |
| 5月   | 手指消毒強化月間   | 水・電源講習会<br>BCP 勉強会 |

|     |  |                        |
|-----|--|------------------------|
| 6月  | 食中毒呼びかけ<br>緑茶提供終了<br>日中避難訓練準備<br>ノロウイルス講習会準備                   |                        |
| 7月  | 日中避難訓練<br>食中毒呼びかけ<br>手指消毒強化月間<br>交通安全週間呼びかけ・啓蒙<br>街頭啓発         | ノロウイルス講習会<br>*ガウン着脱・処理 |
| 8月  | 食中毒呼びかけ<br>手指消毒強化月間<br>防災勉強会準備<br>(法人委員会と連携し内容策定)              |                        |
| 9月  | 交通安全週間呼びかけ・啓蒙<br>街頭啓発<br>上半期反省                                 | 防災勉強会                  |
| 10月 | 屋上排水清掃<br>自然災害避難訓練<br>手洗い講習、インフルエンザ講習会準備                       |                        |
| 11月 | 交通安全週間呼びかけ・啓蒙<br>手指消毒強化月間                                      | 手洗い講習<br>インフルエンザ講習会    |
| 12月 | 緑茶提供開始<br>手指消毒強化月間   |                        |
| 1月  | 夜間想定避難訓練準備   |                        |
| 2月  | 夜間避難訓練   |                        |
| 3月  | 今年度反省<br>次年度に向けて<br>避難訓練反省                                     |                        |
| 定期  | 口腔ケアチェック(～15日)<br>セルフチェック(～25日)<br>防災点検(1回/月)<br>手洗い・嗽・手指消毒の徹底 |                        |

## 広報・地域貢献推進委員会

|      |  |                   |
|------|--|-------------------|
| 重点項目 | (広報)見やすく読みやすい紙面作り<br>(地域貢献)町内と関りを大切にする |                   |
|      | 広報委員会                                  | 地域貢献推進委員会         |
| 4月   |  | 町内廃品回収            |
| 5月   |  | 町内会総会             |
| 6月   | 広報誌作成準備                                | 町内ゴミ拾い<br>地域食堂開催  |
| 7月   | 広報誌作成                                  | 歌志内市民祭り<br>赤平火まつり |
| 8月   | 広報誌作成                                  | 町内廃品回収<br>地域交流会   |
| 9月   | 広報誌完成・発送                               | 町内ゴミ拾い            |
| 10月  |  | 町内ゴミ拾い<br>地域食堂開催  |
| 11月  |  | 町内廃品回収            |
| 12月  | 広報誌作成準備                                |                   |
| 1月   | 広報誌作成                                  | 町内新年会             |
| 2月   | 広報誌作成                                  | 赤平アイスキャンドル        |

|    |          |           |
|----|----------|-----------|
|    |          | 歌志内なまはげ祭り |
| 3月 | 広報誌完成・発送 |           |
| 定期 |          |           |

#### 4. 教育・研修・講習会

##### (1) 教育

- ① 接遇
- ② 介護技術・知識
- ③ 関係制度

##### (2) 研修

- ① 身体拘束廃止 内部・外部研修
- ② 虐待防止 内部・外部研修
- ③ 老施協研究会議（全道・全国）

##### (3) 講習

- ① 各感染症・予防
- ② 手洗い
- ③ 嘔吐物処理
- ④ 救急救命
- ⑤ 車両操作（事故発生時対応含む）
- ⑥ 水・電源確保
- ⑦ BCP

#### 5. カイゼン活動

##### (1) Kリーグの継続

#### 6. 修繕・設備計画

##### (1) 修繕・保守計画

- ① 特殊浴槽 7,953 千円
- ② LED 照明器具改修 2,860 千円

# 「救護施設親愛の家経営計画」

## 〈基本理念〉

施設は利用者の共同、集団生活の場であり、かつ利用者一人一人の個性を尊重し、心身の健康の維持に努め、潤いと生きがいのある充実した生活が送れるよう支援するとともに、地域等との交流を図り、社会参加をもたせ、更生・自立の機会を与えることを理念とする。

## 〈基本目的〉

1. 生活困窮者の生活と命を守る
2. 満足度 NO.1 施設～利用者職員共に親愛に来て・居て良かった！

## 〈基本方針〉

1. 個別支援計画・生活の質を向上させ、自立に向けた支援・ニーズに合わせた生活環境を提供する
2. 利用者・職員共に認め合い、思いやり安心感のある環境を提供する
3. 市内法人施設と協力し、地域貢献活動の輪を広げる

## 〈キーワード〉

『 信頼・尊重・共感 』

## 〈重点事項〉

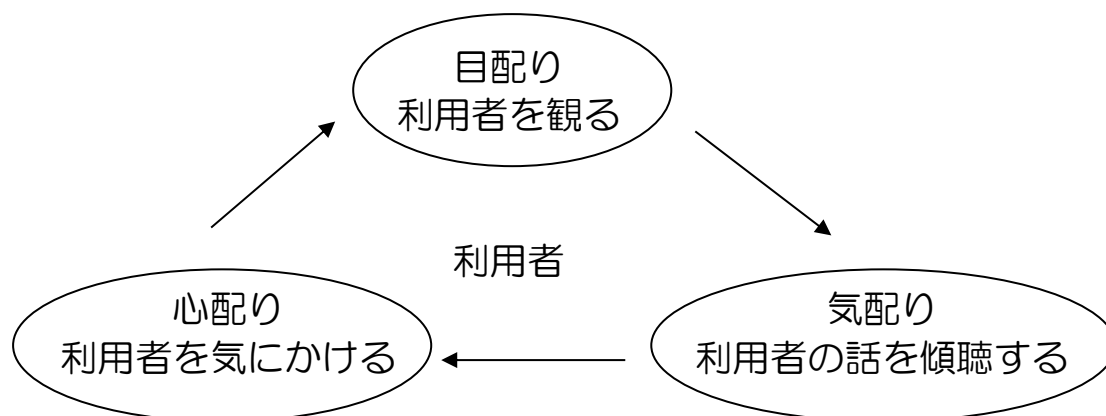
1. 地域移行
2. 生活の質向上

## 〈重点事項の詳細〉

1. 地域移行
  - (1)施設内外作業獲得
  - (2)作業取り纏め(職員の関り増やし役割分担)
  - (3)自立に向けた訓練(居宅候補者を増やす取組み)
2. 生活の質向上
  - (1)ルール見直し
  - (2)役割付与
  - (3)日中活動の充実

## 〈具体的計画の詳細〉

### 1. 利用者主体の施設運営



#### 親愛の家職員心得

- (1) 笑顔と礼儀を大切にしよう  
内にも外にも笑顔で挨拶。  
職員間だけでなく、利用者さんとも同じように行いましょう。
- (2) 常に謙虚であれ  
素直に聞く耳を持って愚直に行動しよう。  
謙虚な人ほど成長します。
- (3) 頼まれごとは大小にかかわらず実行せよ  
面倒なことは後回しにしない。  
自分の仕事に責任を持ち、相手を待たせないようにしよう。
- (4) 10分前行動ができること  
心に余裕をもって行動しよう。
- (5) 利用者の笑顔を引き出すために職員自身も幸せでいよう  
(ワークライフバランス)  
多趣味であれ。趣味を持つことで、人としての幅も広がります。支援には、多角的な視野、広がりが必要です。

### 2. 介護計画

ポイント：利用者を理解しQOL 向上に向けての支援を実施する

- (1) レクリエーション活動等を通して利用者とのコミュニケーションの時間を増やす(利用者参加率向上)
- (2) 個別支援計画に沿った支援を実行・実現する
- (3) 利用者の軽作業活動を拡充・継続する  
(当番、施設内外作業の活動を含む)
- (4) 居宅生活訓練を継続する  
① 居宅生活訓練候補者を増やす取組み。

- ②居宅生活訓練の対象となる利用者の見極め、個別性の把握のための支援を実施する。
- (5)生活の質向上を目指し施設ルールの見直し、利用者に付与できる役割を精査する

### 3. 看護計画

ポイント：適切な健康管理を行うことは、利用者の目指す生活を叶えるために必要である

#### (1)適切な受診と薬の管理

- ①往診を活用、不要な受診を減らし医療費を削減する。
- ②一番近くにいる医療従事者として薬を理解し、他職種にもわかりやすく薬を準備する。必要に応じ、往診医と連携し薬の調整を行う。
- ③他職種とのコミュニケーションを充実させ、状態変化の早期発見、適切な対応を行う。

#### (2)健康維持、疾病予防

- ①6月、12月健康診断の実施。適切な再検査の実施。
- ②毎月体重・血圧測定、栄養士と連携し適切な食事療法の実施。
- ③感染症発生予防、インフルエンザ・新型コロナウイルス・带状疱疹・肺炎球菌予防接種の実施。
- ④歯科往診医と連携し適切な治療と口腔ケアの実施
- ⑤皮膚の観察・適切なスキンケアを行い皮膚疾患・褥瘡の発生予防を行う。

#### (3)介護予防

- ①ADL 維持、転倒防止のためのリハビリ体操の実施。
- ②嚥下体操・発声練習により誤嚥を防ぐ。

### 4. 日中活動

ポイント：余暇時間の充実を目指す

#### (1)施設内外軽作業作業の充実

- ①委託作業の拡充
- ②施設内作業増と利用者参加率の向上  
障害やADLに関係なく誰でも出来る作業を増やす

#### (2)毎週2回実施の日中活動内容の充実

- ①リハビリレクを計画し実施する
- ②マンネリ化防止、利用者のニーズをひろいあげる

## 5. 年間行事計画

|     | 行事内容                 | 予算 |
|-----|----------------------|----|
| 4月  | 買い物希望レク              |    |
| 5月  | 買い物希望レク              |    |
|     | 花見レク                 |    |
| 6月  | 買い物希望レク              |    |
|     | グルメフェスタ @2,000×130名  |    |
| 7月  | 買い物希望レク              |    |
| 8月  | 買い物希望レク              |    |
|     | 夏祭り                  |    |
| 9月  | 70周年記念会食 @7,500×130名 |    |
|     | 買い物希望レク              |    |
|     | 敬老会（記念品）             |    |
| 10月 | 買い物希望レク              |    |
| 11月 | 買い物希望レク              |    |
| 12月 | 買い物希望レク              |    |
|     | 餅つき                  |    |
|     | クリスマス会               |    |
| 1月  | 新年会 @2,000×130名      |    |
| 2月  | 節分レク                 |    |
| 3月  | お楽しみレク               |    |
|     | 合計                   |    |

※買い物希望レク…個別対応で実施

## 6. 食事計画

ポイント：個々の健康状態に合わせた食事の提供

### (1) 利用者の嗜好にあった食事の提供

給食運営会議からの利用者の声をメニューに反映する

利用者の摂取状況に合わせて食形態を検討

⇒給食運営会議を利用し他職種とも連携していく

### (2) 予算にあった食事の提供

普通食：1食単価 270円

会食：1食単価 1,000円

### (3) 食事提供方法の充実

温かいものを温かく提供を実現する

食事選択の機会をつくる(会食・セレクト)

### (4) 厨房の作業効率・品質の向上・衛生面の強化

厨房会議内等で話し合いの機会を設ける

厨房内の清掃を徹底する

## 7. 地域との連携

ポイント：地域住民のニーズに合わせた活動実施

- (1) 歌志内市地域福祉計画の策定に積極的に関わる
  - ① 地域住民の施設見学を実施
  - ② こども園、歌志内学園との交流継続
  - ③ 社会福祉協議会との合同活動を運営、開催の継続
- (2) 地域交流
  - ① 地域住民へ施設開放の機会を作る
  - ② 地域住民との交流の機会から地域課題を掘り下げ、地域に必要な活動を検討、実施する
- (3) 地域貢献
  - ① ゴミ拾い、除草、除雪、美化活動、広報活動等
  - ② 市内法人施設と協力し地域貢献を行う
- (4) 地域イベントへの参加
  - ① 町内会行事・歌志内市内行事への参加
  - ② 他法人施設(クリーンセブン・しらかば荘)と共にイベントに参加する

## 8. 委員会活動計画

ポイント：施設内委員会活動の活性化

- (1) ヒヤリハット委員会
  - ① 事故を未然に防止する活動(危険箇所・ヒヤリ場面発見活動)の仕組み作りと実施
  - ② ヒヤリ・事故事例から事故を分析し、対策を立て実行評価する
  - ③ 危険箇所・ヒヤリ場面発見活動を活かし、部門ごとに多くのヒヤリハット件数を集め事故防止につなげる
  - ④ 毎月の事故・ヒヤリ発生件数を掲示し前月と比較できるようにし事故防止に繋げる
  - ⑤ ヒヤリハットとはどのような事なのか、どういった要因があるか等、全職員が理解・考えられるよう周知しヒヤリハットに対する意識向上を図る
- (2) 防災・感染対策委員会
  - ① 避難訓練の実施  
火災避難訓練(日中・夜間)、風水害避難訓練の実施  
BCPに基づいた訓練を実施する
  - ② 職員への防犯・防災教育(防災訓練)の実施  
実践を想定したシミュレーションを計画・実践する

- ③利用者への防災教育(講習)の実施
- ④地震の際の安全確保行動訓練(シェイクアウトの参加)
- ⑤親愛自衛団訓練(避難訓練・車椅子移動講習)の実施
- ⑥救命処置及び一次救命処置訓練の実施  
歌志内消防による救命救急講習参加
- ⑦感染症(インフルエンザなど)に関する知識及び技術の向上と対応方法の講習・吐物処理訓練等の実施
- ⑧職員及び利用者への手指衛生、手洗い指導と講習の実施
- ⑨熱中症対策のための環境調整、水分提供の徹底
- (3) 自己評価・虐待防止委員会
  - ①虐待防止研修の開催、虐待に関する知識を深める
  - ②セルフチェックを実施、日々の自身の言動・行動を振り返る
  - ③職員間で注意・指摘し合える関係性を構築し虐待・不適切行為が起きない職場環境を作る
- (4) 居宅訓練委員会
  - ①自立生活に向けた生活・就労支援
  - ②居宅訓練実施を目指し、訓練候補者を増やす取組みを行う
- (5) 広報委員会
  - ①利用者、家族対象の施設広報誌定期発行(9月・3月)
  - ②施設利用案内の定期更新
- (6) 個別支援委員会
  - ①個別支援計画を実施する仕組み作り
  - ②計画書に沿った支援の継続

## 9. 実施機関との関係強化

ポイント：入所者数の定員維持は実施機関との良好な関係が重要であるため信頼関係の強化をはかる

- (1) 実施機関への訪問  
実施機関との関係強化のため、情報交換を実施する年間スケジュールを組み利用者の実施機関、関係機関等の訪問実施
- (2) 実施機関からの依頼
  - ①書類情報だけで判断しない
  - ②どんなに遠い実施機関でも必ず面談する(WEB面談含め)
  - ③相談を受けたらスピード感を持って対応し入所に繋げる
  - ④依頼を断らなければならないケースでも他の施設を紹介するなど最大限協力する
- (3) 実施機関への情報提供
  - ①施設利用状況

②実施機関に向けた「親愛だより」の発行(年4回)

10. 教育、研修、施設見学、資格取得

ポイント：「人材の育成が施設の優劣を決める」の考えに基づきOJT、OFF-J-T 両面から教育の充実を図る

(1)施設外研修

- ①救命講習⇒歌志内消防に協力依頼
- ②外部講師による研修(WEB研修含む)

(2)施設内研修

- ①勉強する機会を作り質の向上につなげる
- ②年間研修予定に沿って研修実施。受講する職員、講師になり研修の組立を行う職員知識を身につける
- ③研修委員会設置、研修計画の立案、修整を行う

(3)施設見学

救護施設の視察⇒札幌市、函館市、帯広市

(4)資格取得の促進

- ①防火管理者
- ②社会福祉主事
- ③介護福祉士

〈施設内研修計画予定〉

|     | 研修内容          | 担当者    |
|-----|---------------|--------|
| 4月  | 議事録作成         | 福島L    |
|     | 救護施設          | 倉木     |
| 5月  | 薬の知識          | 看護師    |
|     | 介護研修(講義・実技)   | 介護員    |
| 6月  | 口腔ケア研修        | 外部講師   |
| 7月  | 個別支援          | 個別支援委員 |
| 8月  | 全道救護施設伝達研修    | 参加者    |
|     | 虐待防止研修        | 虐待防止委員 |
| 9月  | ヒヤリハット研修      | ヒヤリ委員  |
| 10月 | 感染予防(ノロ講義・実技) | 感染予防委員 |
| 11月 | 全国救護施設伝達研修    | 参加者    |
|     | コンプライアンス研修    | 加賀主任   |
| 12月 | 精神疾患の理解       | 看護師    |
| 1月  | 虐待防止研修        | 虐待防止委員 |
| 2月  | 重点事項報告        | 担当者    |
|     | 福祉のICT        | ICT委員  |
| 3月  | 決算報告          | 所長     |
|     | 事業計画説明        |        |

※研修1項目の月は1時間枠で実施。(内容：説明、グループワーク)

## 1 1. 職場環境

ポイント：働きやすい環境を作る

(1) 有休取得の推進(年間 6 日間取得)

(2) メンタルケア

① うつチェック

② 定期的な面談

(3) セルフチェック実施

① 他職員の仕事に対し Good ポイントを記入。評価する機会を作り自身の成長に繋げる

② 仕事を通じて「ありがとう」と感謝の気持ちを言葉にする機会を作り、思いやる心を育てる

(4) 誕生日お祝い

(5) 改善活動

① 改善活動を通じて業務の効率化を図り仕事のしやすい環境作りに取り組む

② 他部門と協力し合い改善案提出し交流をもつ機会を設ける

(6) 施設内クロストレーニング

① 他部門の業務内容の把握

② 各部門での緊急時に対応できる体制作り

## 1 2. 5S 美化活動

(1) 5S 巡視、居室巡視を毎月行い清潔な状態に保ち施設美化に努める

(2) 5S の継続できる仕組み作りを実践し定着化

(3) 職場環境の改善

① 綺麗な職場を維持し職員全員が意識を持って向上に繋げる

# 「光生舎プラザ・イン・サッポロ経営計画」

## 〈基本目的〉

1. 心身ともに安心して働ける職場を提供する
2. 職員・利用者が役割を理解し、品質意識を共有する
3. 就労面、生活面における自己選択と自己決定を支援する

## 〈基本方針〉

1. 安全、安心な職場環境を定着させる
2. 利用者、職員が活躍できる満足度の高い職場へ、ともに高みを目指す
3. 信頼のある施設・工場を目指し、職員と利用者が一致協力する

## 〈重点事項〉

1. 「共感」と「つながり」で支え合う職場づくり
2. 「安心」と「自立心」を育てる仕組みづくり
3. 「安定」した運営基盤を「足もと」から整える

## 〈キーワード〉

『 ホッと☆もっと 』

## 〈活動計画〉

1. 「共感」と「つながり」で支え合う職場づくり
  - (1) チームによる支え合い体制強化
  - (2) 意見・思いを共有する仕組みづくり
  - (3) 承認と感謝を重視した職場づくりの醸成
2. 「安心」と「自立心」を育てる仕組みづくり
  - (1) 利用者・職員双方の安心を守るルール整備
  - (2) 自己決定・自己理解を促す支援の実施
  - (3) 職員の安心確保と支援力・指導力向上
3. 「安定」した運営基盤を「足もと」から整える
  - (1) 業務ルール・役割分担の明確化
  - (2) 人材定着と働きやすさを重視した職場環境整備
  - (3) リスク管理とコンプライアンス意識の強化

## 《働きがいのある職場づくり》

### ＜目的＞

職員一人ひとりが役割と意義を実感し、安心して意見を出し合いながら成長できる職場環境を整えることで、利用者支援の質の向上と安定した事業運営に繋げる

### ＜基本方針＞

1. 職員の声を大切にし、相互理解と信頼関係を基盤とした職場づくりを行う
2. 職員・利用者が「出来た」「成長した」と実感できる仕組みを整える
3. 心身の負担を軽減し、安心して長く働き続けられる環境をつくる

### ＜活動計画＞

- ①職員間の対話と共感の促進
  - ・定期的なミーティングにより、支援内容や課題を共有する
  - ・意見や気づきを出しやすい職場風土を大切にする
- ②役割の明文化と成長支援
  - ・職員の役割を明確にし、見通しをもって業務に取り組める体制を整える
  - ・日常の振り返りやOJTを通じて支援力の向上を図る
- ③安心して働ける職場環境の整備
  - ・情報共有を徹底し、業務負担の偏りを防ぐ
  - ・心身の変化に気づき合い、無理のない働き方を推進する

職員、利用者共に安心して働き続けられる環境を整え、支援の質向上と安定した事業運営を目指す

## 〈行事・研修計画〉

| 実施月 | 行事計画              |                 | 研修計画                    |       |
|-----|-------------------|-----------------|-------------------------|-------|
|     | 内 容               | 予算(円)           | 内 容                     | 予算(円) |
| 4月  | 壁画（桜）             | 3,000           | ケース研究・安全衛生教育            |       |
| 5月  | 祝日勤務ランチ           | 10,000          | 工具勉強会・3S勉強会             |       |
| 6月  | ボーナス会食            | 100,000         | KYT勉強会・BCP(感染)研修        |       |
| 7月  | 野外出食              | 80,000          | 法人外事業所見学<br>BCP(防災)訓練①  |       |
| 8月  | 屋外出食<br>壁画        | 8,000<br>3,000  | 虐待防止研修                  |       |
| 9月  | 日帰り旅行             | 550,000         | 伝達研修・洗浄勉強会<br>BCP(災害)訓練 |       |
| 10月 | 運動会               | 10,000          | ケース研究                   |       |
| 11月 | 文化の秋（ワークシ<br>ョップ） | 50,000          | 機械勉強会<br>BCP(防災)訓練②     |       |
| 12月 | クリスマス会<br>年末会食    | 5,000<br>15,000 | BCP(感染)研修               |       |
| 1月  | 新年会               | 500,000         | 法人内事業所見学                |       |
| 2月  | チョコフォンデュ          | 100,000         | 身体拘束防止研修<br>ダスコン商品勉強会   |       |
| 3月  | 年度末会              | 100,000         | 伝達研修                    |       |
|     | 合 計               | 1,534,000       | 合 計                     |       |

# 「グループホームパール経営計画」

## 〈基本目的〉

利用者が自立した社会生活を送るための支援を行う

## 〈基本方針〉

1. 普段の暮らしから地域や社会に関わる機会を増やす
2. 自分で決める事を尊重し、実現できるよう支援する
3. 安心してその人らしい生活が送れるよう支援する

## 〈キーワード〉

『 forward ～手と手を取り合いながら～ 』

## 〈重点事項〉

1. チームプレイを活かした計画と実行
2. 関係機関との連携
3. 入居者との信頼関係構築

## 〈具体的取組〉

1. チームプレイを活かした計画と実行
  - (1) 役割や会議体系の見える化
    - ・ チームプレイを活かすために、各支援員の役割を共有し、互いに助け合う土台を作る。
    - ・ 計画と実行のサイクルを円滑に進めるために、会議体系を見直し、効率的かつ効果的な運営体制を構築する。
  - (2) 強みを活かせる職場環境
    - ・ 各支援員の強みを認めあい、学びあえる職場を作る。
    - ・ 強みを活かし、新しいことに挑戦していく。
2. 関係機関との連携
  - (1) 地域や関係機関と連携強化
    - ・ 受け身だった姿勢から脱却し、主体的に地域や関係機関と関わりを設ける。
    - ・ 関係者会議を開催し、多角的な視点から利用者への支援を充実させる。
    - ・ 相談室や就労先などと連携を行い、信頼関係を構築する。

### 3. 入居者との信頼関係構築

#### (1)利用者との関わる機会の拡張と充実

- ・日常生活はもちろん、行事などの機会を通じて、より利用者理解に努める。

#### (2)利用者情報の整備

- ・必要な情報を必要な時に、素早く確認できるように整備を行う。
- ・世話人との連携を充実させ、より良い支援に繋げる。

#### (3)保護者との関わりの強化

- ・公式LINEを活用し、気軽に交流できる機会を作る。

### 〈行事・研修・管理計画〉

※誕生者会食は該当者がいる月に拠点ごとに実施。

| 実施月 | 行 事     | 研 修           | 管 理             | 備 考 |
|-----|---------|---------------|-----------------|-----|
| 4   |         | BCP 勉強会       |                 |     |
| 5   | 焼き肉会食①  | 虐待防止研修①       | 避難訓練            |     |
| 6   | 焼き肉会食②  | てんかん研修        | BCP 訓練          |     |
| 7   |         | AED 講習        | 地域交流            |     |
| 8   | 工場見学レク① | ヒヤリハット研修      |                 |     |
| 9   | 工場見学レク① | 身体拘束防止研修      | 健康診断(全職員)       |     |
| 10  |         |               | 避難訓練            |     |
| 11  |         | 感染予防研修        | インフルエンザ<br>予防接種 |     |
| 12  | クリスマス会  |               |                 |     |
| 1   |         | 虐待防止研修②       | 地域交流            |     |
| 2   | 節分会食    |               | 健康診断(夜勤者)       |     |
| 3   |         | 精神障害者<br>対応研修 |                 |     |

# 「光生舎フロンティア経営計画」

## 〈基本目的〉

1. 利用者の特性を理解し、働く喜びと成長を支える職場づくり
2. お客様に満足して頂けるサービスを提供し、リネンサプライを通じて地域の経済活動に貢献する

## 〈基本方針〉

1. 「安全第一」の浸透
2. 成長のための機会創出
3. 安定した品質でリネンを提供する
4. 機械保守点検を重視し早期に対応を行う

## 〈キーワード〉

『 やってフロンティア 』  
⇒ 「やってみる」行動力と開拓精神

## 〈重点事項〉

1. 安全な職場環境
2. 施設内外含めて経験の場を提供
3. 機械メンテナンスと品質管理の徹底
4. 働きがいがある職場づくり

## 〈部分計画〉

1. 安全な職場づくり  
リーダー 小室 L  
メンバー 野口 AD、高橋 L、西村係、溝口係
2. 施設外実習、工場間クロストレーニング、内部研修  
リーダー 佐藤副所長  
メンバー 鷺見主任、北川 L、溝口係、増田係
3. 機械メンテナンス体制  
リーダー 北川 L  
メンバー 中村 M、高橋 L、小室 L、稲垣係、佐藤係長
4. 品質管理の徹底  
リーダー 佐藤係長  
メンバー 稲垣係、奥山係、中江係、坂井係

## 〈部分計画の詳細〉

1. 安全な職場づくり  
(1)ヒヤリハット巡視、指摘改善の徹底

(2) 危険な箇所や作業を誰もが分かるように周知徹底する

## 2. 施設内外含めて経験の場を提供

### (1) 施設外実習

- ・ 一般就労に向けた研修の実施  
→ 対象者8名 月1回（30分）研修
- ・ 体験実習の提供  
→ 同業者予定

### (2) クロストレーニング

- ・ 法人内事業所・KK 業務等を予定

### (3) 研修（内部・外部）

- ・ 利用者向け研修（主に言葉遣い、関わり方、挨拶）  
※木曜日定期清掃の時間帯に小人数向けの研修
- ・ 他リネン工場、縫製工場等での研修を検討
- ・ 啓発活動、サイネージの活用

### (4) 作業の見える化

- ・ 誰が入っても作業方法が分かる仕組みづくり

## 3. 機械メンテナンス体制

### (1) 人材育成計画

- ・ 機械修繕（OJT）  
不慣れな職員と共に作業を行い、修繕経験を積む
- ・ 内部研修（年3～4回）、外部研修（年1回）  
工具の使い方、電気の基礎知識、図面の読み方等の研修を計画し実施する

### (2) メンテナンス・修繕強化計画

- ・ 月1回のグリスアップ、給油、駆動部テンション確認
- ・ 職員に限らず利用者へも機械のメンテナンス知識と経験を積ませていく
- ・ 月次点検よりピックアップした修繕計画を作成する

### (3) 品質管理の徹底

#### ① リネン品の品質管理

- ・ タオル白度測定・官能検査の実施
- ・ 廃棄週報・月報の活用による異常早期発見

#### ② 納品品質管理

- ・ リネン補充・過剰発注の抑制・客先在庫調整の実施
- ・ リネン購入検討会議、業務事務会議、生産MTの活用により、リネン品の不足を解消する

#### ③ 製品品質管理

- ・ リネンのタタミ不良、シワの発生、結束不良等がない

よう、日常的な仕上がり確認を行う

④ 対応品質

- ・電話対応・利用者対応等、相手を待たせない工夫を行う
- ・作業者が持ち場を離れずに職員へ伝えられる工夫を行う

4. 働きがいのある職場づくり

(1) 声を聴く活動

- ・1 on 1 ミーティングの活用
- ・利用者とは年に複数回の面談機会を設ける

(2) 支援を通じて成長が実感できる活動

- ・個別支援計画を通じて以前の自分と今回の自分を比較し、成長を実感できる取り組みを行う

(3) 働きやすい職場環境への改善活動推進

(4) ハラスメント撲滅

- ・実態調査と対策検討

〈行事計画〉

| 実施月   | 行 事 名  | 予 算         | 備 考             |
|-------|--------|-------------|-----------------|
| 5月    | 焼肉行事   | 450,000 円   |                 |
| 12月   | クリスマス  | 525,000 円   |                 |
| 3月    | 忘年会    | 1,050,000 円 |                 |
| 5~10月 | 70周年旅行 | 1,500,000 円 | 3か所候補を決め、班ごとに参加 |
|       | 合 計    | 3,525,000 円 |                 |

# 「光生舎ゆいま～る・もみじ台経営計画」

## 〈基本理念〉

1. わたしたちは、すべての人が生きがいを感じられる人生を実現するために存在する

## 〈基本目的〉

1. ゆいま～るに関わるすべての人を幸せにする
2. 安全、安心なサービスを提供する

## 〈基本方針〉

1. 理念を遵守する
2. 進化への挑戦

## 〈キーワード〉

『お・も・い・や・り』

～安心して過ごせる環境に～

## 〈重点項目〉

1. 基本の徹底
2. 個別ケアの浸透
3. 業務の円滑化の推進

## 〈重点事項の詳細〉

1. 基本の徹底  
三つの活動  
(1)3S 活動  
①毎月の施設内巡視で整理・整頓・清掃の基盤を作る  
(2)セルフチェック活動  
①毎月のセルフチェック実施と、結果後の改善活動で職場規律を向上  
(3)ヒヤリハット活動  
①個人の尊厳を念頭に置きつつ、施設の危険要素を排除し、安全を追求する活動を続ける
2. 個別ケアの浸透  
(1)個別ケアの実践

- ①真の顧客満足度向上委員会の活動
  - I 満足度向上委員会の活動
  - II 顧客向けアンケートの実施
  - III 小さな願い叶えるPJ
  - IV チームケアの推進
- ②ケアプラン・個別支援計画と支援の繋がり強化
  - I サービスと計画の結び付け
  - II 計画の行動レベルへの落とし込み
  - III 理想のケアプラン作り
  - IV ケアプランをベースにしたチームケアの実践
- (2)体系的な育成研修の基盤づくり
  - ①新入舎員向けの研修の見直し
    - ・研修委員会による研修の管理
    - ・新入舎員研修PJ立ち上げ

### 3. 業務の円滑化の推進

- (1)サービスの質や生産性の評価と、それを用いた管理体制の基盤づくり
  - ①仕事の見える化
    - I レーダーチャート・タイムスタディの活用
  - ②標準化・平準化
    - I 仕事の範囲と質の再設定・当たり前前の仕事の再構築
  - ③変革への挑戦
    - I 5S・カイゼン活動
    - II ICTやAIの活用
- (2)経営・運営の健全化
  - ①各部門単独での償却前利益黒字への挑戦
  - ②働き甲斐のある職場づくり
  - ③戦略的な人材獲得
    - I 長期的な人材獲得に向けた種まき活動の検討・開始
    - II 短期的な人材獲得に向けた情報収集と活動

### 〈計画の詳細（重点項目の2）〉

#### 1. 真の顧客満足度向上委員会の活動

##### (1)満足度向上委員会の活動

指針・骨格・KPI目標等を設定し、顧客向けアンケート

や

小さな願い叶えるプロジェクト等の活動を取りまとめる。

- (2)顧客向けアンケートの実施  
半年に1回程度ご家族等向けにアンケートを実施。活動とフィードバックを伴う活動とする。
- (3)小さな願い叶えるPJ  
ご入居者・ご利用者の小さな願いを叶える活動を通して、  
護のゆしみへの共感を促し、真のニーズや現場での介護の  
的に気付くための仕掛けとして運用する。
- (4)チームケアの推進  
専門職ごとの役割、方針・目標を再設定する。また、担当  
会議やケース会議の在り方についても見直しを行う。

- 2. ケアプラン・個別支援計画と支援の繋がり強化
  - (1)サービスと計画の結び付け  
ケアプランへの理解を深めるための研修の実施やケアプラン担当の導入など、よりプランを身近にする取り組みを検討実施する。
  - (2)計画の行動レベルへの落とし込み  
ケアプラン実施事項の見える化やプランに沿ったサービス記録を残すための取り組みを検討実施する。
  - (3)理想のケアプラン作り  
家族の意向の取り方の再検討と、『私シート』を活用したニーズの見える化を行い、ご入居者の『今後の人生』について、  
取り巻くチーム協働のプランを立案する。
  - (4)ケアプランをベースにしたチームケアの実践  
担当者会議・ケース会議を通して活発な意見交換を行う。  
(※1. (4)と連動)
- 3. 新入舎員研修の見直し
  - (1)研修委員会による法定研修管理を継続しつつ、体系的な新人研修体制を整えることで、サービスの質を担保するとともに、受け入れに際する現場の負担軽減をはかる

## 〈計画の詳細（重点項目の3）〉

### 1. 業務の再構築

#### (1) 仕事の見える化

①レーダーチャート・タイムスタディの活用

#### (2) 標準化・平準化

①仕事の範囲と質の再設定

見える化の項目で得た現状に対し、施設として再設定した質と照らして、無理・無駄・ムラを是正する。是正後は、再度タイムスタディにて評価する。

#### (3) 変革への挑戦

①5S・カイゼン

②改善等の流れの中でのICTやAIの活用

改善を積み重ねてサービスの質を向上する（ICTやAIなどのツールも活用）。その延長線にある変革へ挑戦する。

### 2. 経営・運営の健全化

#### (1) 各部門単独での償却前利益黒字への挑戦

①特養SS

- ・目標利用率 特養 95.0%(空室 123日以内)  
SS 79.0%(空室 50日以内)
- ・月間利用申込目標値 特養 3件 SS 4件
- ・3ヵ月1回訪問営業(老健、地域包括ケア病院)
- ・顧客リストへのFAX営業によりリアルタイムの空室状況を共有
- ・地域との繋がり作り等長期的な戦略

②就労継続支援

- ・目標登録人数 A型(13名)、B型(25名)
- ・法人での学校訪問、体験実習生の受け入れ
- ・ケアグループ直接雇用の推進
- ・A型・B型の仕事の創出

③デイサービス

- ・目標利用率 95.0%(地域密着)
- ・利用相談件数目標 月5件
- ・居宅介護支援事業所への認知
- ・経営合理化を視野に入れた検討

④ケアプランセンター

- ・介護40 支援9 の維持
- ・地域ケア会議(2 ヶ月 1 回)、事例検討会(不定期)、居宅部会(4 ヶ月 1 回)、研修会(不定期)などの包括主催の研修に参加し、気づきを得る。二人の知識や相談援助技術を向上させる。同時に包括との繋がりを継続していく。
- ・集中減算に留意し、毎月経過確認
- ・ケアプランの充実（研修会への参加）

(2)働き甲斐のある職場づくり

- ①施設長による全舎員 1on1 ミーティング

(3)戦略的な人材獲得

- ①長期的な人材獲得に向けた種まき活動の検討・開始

- ・採用戦略の見直しと組織化
- 採用活動の属人化を解消し、SNSをはじめとした、人材獲得戦略を計画、短期戦略に落とし込み、実行する

- ②短期的な人材獲得に向けた情報収集と活動

- ・獲得計画に基づいた活動
- 特定技能等の定期的な獲得をベースに、人の動く時期に併せた計画的な活動をチームで実践する

4. 年間行事計画

| 月   | 行事     |
|-----|--------|
| 4月  | お膳式    |
| 5月  | 花見     |
| 6月  | セレクト会食 |
| 7月  | 夏祭り    |
| 8月  | 移動動物園  |
| 9月  | 敬老会    |
| 10月 | 鍋会食    |
| 11月 | 文化祭    |
| 12月 | クリスマス会 |
| 1月  | 初詣     |
| 2月  | 節分     |
| 3月  | ひなまつり  |

5. 委員会・プロジェクト活動

- (1)事故・ヒヤリハット委員会 委員長：境L
  - (2)5S 委員会 委員長：川端L
  - (3)防災、感染予防委員会 委員長：山田L
  - (4)虐待、身体拘束防止委員会＋セルフチェック 委員長：林L
  - (5)褥瘡委員会 委員長：川村L
  - (6)真の顧客満足度向上委員会 委員長：小笠原主任
  - (7)研修委員会 委員長：大西主任
  - (8)相談職会議 リーダー：梶浦 SL
- ※相談職会議をハラスメント対策の検討機関とする

## 6. 研修・資格計画

- (1)研修
  - ①現場研修
  - ②サブリーダー、リーダー研修
  - ③伝達研修
- (2)法定研修
  - ①事故ヒヤリハット 年2回
  - ②身体拘束 年2回
  - ③虐待防止 年2回
  - ④感染予防 年2回
  - ⑤褥瘡予防 回数定めなし
  - ⑥感染症蔓延・災害時BCPシミュレーション 年2回
- (3)その他の研修
  - ①認知症研修
  - ②倫理研修
  - ③外部講師研修

| 月  | 法定研修           | 研修内容                                  | 担当           |
|----|----------------|---------------------------------------|--------------|
| 4  | 倫理・法令順守        | 介護職員としての倫理観や法令順守の重要性について学ぶ。           | 未定           |
| 5  | プライバシー保護に関する研修 | 個人情報の適切な取り扱いや管理方法情報漏洩防止について学ぶ。        | 外部講師         |
| 6  | 身体拘束の排除取組研修    | 身体拘束となる行為や弊害について学ぶ。                   | 虐待・身体拘束委員会   |
| 7  | 事故の発生・予防再発防止研修 | 日常起こりやすい事故を未然に防ぐ方法や事故発生時の再発防止を学ぶ。     | 事故ヒヤリハット委員会  |
| 8  | 感染予防・対策に関する研修  | コロナウィルスやインフルエンザなど感染症の予防に関して学ぶ。        | 防災対策・感染予防委員会 |
| 9  | 認知症研修          | 認知症介護に携わる上で当事者や家族の視点を理解する。            | 未定           |
| 10 | 高齢者の虐待防止に関する研修 | 高齢者に対する虐待防止について事例を通して知ることによって防止につなげる。 | 虐待・身体拘束委員会   |
| 11 | 感染BPCシュミレーション  | 感染発生時の初動について。                         | 防災対策・感染予防委員会 |
| 12 | 事故の発生・予防再発防止研修 | 同様の事故を二度と起こさない為にヒヤリハットの分析や共有を行う。      | 事故ヒヤリハット委員会  |
| 1  | 褥瘡予防に関する研修     | 褥瘡ケアの基本を理解し予防から治療へつなぐ。                | 褥瘡予防委員会      |
| 2  | 防災BPCシュミレーション  | 大雨や地震などの災害や感染症など緊急事態発生時の対策について。       | 防災対策・感染予防委員会 |
| 3  | 精神的ケアに関する研修    | 現場のスタッフの精神的負担が大きい傾向にある為、精神ケアを図る。      | 外部講師         |

#### (4) 資格

- ①介護職員実務者研修・介護福祉士 なし
- ②ユニットリーダー研修 なし
- ③サービス管理責任者 山田 L

## 7. リスク管理計画

### (1) 消防訓練

年 2 回(日中、夜間)

### (2) 災害避難訓練

地震、風水害を想定した避難訓練の実施

### (3) 館内設備保守点検

### (4) BCP シミュレーション(年 2 回)

## 9. 地域との連携

(1) 地域開放スペースは団体登録を行ったもみじ台の団体や福祉事業所へ貸し出しを行う。(平日 9 時～17 時)

(2) 地域開放スペースは福祉避難場所としての機能を果たす。

# 「光生舎スクエア経営計画」

## 〈基本目的〉

1. 安心できる職場づくり
2. 選ばれるサービスの提供

## 〈基本方針〉

1. 安全かつ衛生的な働きやすい職場をつくる。
2. お客様・利用者のニーズに合ったサービスを提供する。
3. サービスに関わる人との情報共有を活発に行う。(営業・家族など)

## 〈キーワード〉

『感謝 笑顔 共栄』

## 〈重点事項〉

1. 安定したサービスの確立
2. 相互理解

## 〈具体的取り組み〉

1. 安定したサービスの確立

### (1) 支援力の安定

- ①利用者自らが成長や成果を感じ、やりがいや楽しさを持てる支援を行う。(個別支援計画に反映させる)
- ②利用者の障害特性に合わせ、不安のない支援方法を考え実践する。(個別支援計画に反映させる)
- ③定期・随時に集まって話し合う時間を設ける。
- ④関係機関・家族等へ情報提供や相談を密に行い連携を高める。
- ⑤対応困難事例・好事例・悪事例を共有する。

### (2) 製品品質の安定(顧客の維持)

- ①弁償抑制に向けた知識向上と作業改善を図る。
- ②納期遅れを抑制する。(店舗・営業の送り方から見直し)

- ③機械・設備メンテナンスを徹底する。
- ④イレギュラー対応力を向上する。（対応事例収集、対応マニュアル作成）
- ⑤トンネルフィニッシャー仕上げ品目を拡大する。

### (3) 店舗・営業・法人の顧客増に向けた取り組み

- ①店舗のビジネス品に代わる新たなサービス提案と確立を行う。
- ②布団のサービス向上（付加価値・納期など）の提案と対応を行う。
- ③レンタル布団・座布団の円滑な対応システムを構築する。
- ④法人関連（作業着・私物洗濯・民泊）の受け入れ体制を構築する。

## 2. 相互理解

### (1) 働きがい・働きやすさ

- ①目標設定と進捗確認の場を作る。
- ②身体的、精神的負担の少ない作業環境や体制を作る。
- ③残業時間の平準化を図る。（見える化、時差出勤、など）
- ④判断基準を明確にする。

### (2) 声を聴く活動

- ①1on1MT を実施する
- ②項目別『困りごとBOX』の運用を行う
- ③職員間『困りごとBOARD』の運用を行う。

### (3) 多職種の実践

- ①研修会を通して他部門の内容・専門性を知る。
- ②他部門を体験する。
- ③他部門の業務内容を理解し、フォローできるようにする。

### 〈研修計画〉

| 実施月 | 研修テーマ            | 備考     |
|-----|------------------|--------|
| 10月 | わかりやすい伝え方（知的）    | 全職員    |
| 11月 | わかりやすい伝え方（精神）    | 全職員    |
| 12月 | わかりやすい伝え方（身体・難病） | 全職員    |
| 1月  | 各部門紹介            | 全職員    |
| 2月  | 各部門紹介            | 全職員    |
| 随時  | 施設運営の法令について      | 主任以上個別 |

### 〈行事計画〉

| 実施月 | 行事名             | 予算 | 備考 |
|-----|-----------------|----|----|
| 8月  | 70周年記念行事(日帰り旅行) |    |    |
| 9月  | 70周年記念行事(日帰り旅行) |    |    |
| 10月 | 70周年記念行事(日帰り旅行) |    |    |
| 11月 | 肉会食             |    |    |
| 1月  | 新年会             |    |    |
| 3月  | ケーキの日           |    |    |
| 該当月 | 誕生者会食           |    |    |

# 「グループホームピノ経営計画」

## 〈基本目的〉

利用者が自立した社会生活を送るための支援を行う

## 〈基本方針〉

1. 共同生活と個人生活の折り合いをつけ、居心地の良い場所とする
2. 共同生活を通して、社会ルールを学べるようにする
3. 個別性を尊重する
4. 利用者が自分でできることを、1つでも多くする

## 〈キーワード〉

『 翠雨 』

## 〈重点事項〉

1. 個々のペースの尊重
2. 潤いのある生活環境作り
3. 職員の連携強化

## 〈具体的取組〉

1. 個々のペースの尊重
  - (1) 自由時間と共有時間のメリハリをつけられる様支援する。
  - (2) 生活スキル向上につながる支援をする。
2. 潤いのある生活環境作り
  - (1) 嗜好調査を行い、利用者希望に沿う料理を提供する。
  - (2) 行事の充実を図り、利用者との信頼関係を構築する。  
利用者同士の交流の場を提供する。
3. 職員の連携強化
  - (1) 申し送りで利用者の変化を共有するとともに、スタッフ同士受容し、互いに声がけする。
  - (2) 情報共有と円滑な運営をするためにスタッフミーティングを1か月に1回開催する。(管理者、サビ管、相談員、世話人)
  - (3) 日中活動を行う就労事業所との連携を密に行い、GHとバックアップ施設が一体的に利用者の日中活動をサポートする。

#### 4. 日常生活での取り組み

##### (1) 健康管理

①日々の様子を見守り体調管理に留意するとともに、必要に応じて、医療機関への通院同行をするなど可能な範囲でサポートする。

②インフルエンザ、感染性胃腸炎などの感染症の防止に努める。

##### (2) 苦情解決

①利用者、保護者から苦情があった場合は、誠実に速やかに対処するように努めるとともに、利用者本位のサービスが提供できる体制を確保する。

②法人が設置する第三者委員会の聴き取り調査に協力し、利用者の生活の質の向上に努める。

##### (3) 防災対策

①バックアップ施設の防災委員と連携し、年2回防災訓練を行う。(BCP 活用による防災訓練も行う)

②火災や地震災害の他、電気・水道・通信が停止した場合は管理者とバックアップ施設が協力し、利用者の安全確保に努める。

#### 〈行事・研修・管理計画〉

| 月  | 行事        | 研修       | 管理          | 備考 |
|----|-----------|----------|-------------|----|
| 4  |           |          |             |    |
| 5  | 親睦会食      |          |             |    |
| 6  |           |          | 避難訓練        |    |
| 7  | 外食行事      |          |             |    |
| 8  |           |          |             |    |
| 9  | ジャンクフード会食 |          |             |    |
| 10 |           |          | 風水害避難訓練     |    |
| 11 | 鍋会食       |          | インフルエンザ予防接種 |    |
| 12 |           |          |             |    |
| 1  |           | 虐待防止研修   | 健康診断        |    |
| 2  | 節分会食      | 普通救急救命講習 | 避難訓練        |    |
| 3  |           |          |             |    |

# 「そらだんのていく札幌エリア、企画室KITE 経営計画」

## 〈基本目的〉

1. 利用児者と家族の幸せな生活を支える
2. 地域に頼られる事業所となる

## 〈基本方針〉

1. 利用児者と家族に温かい心で接し支援する
2. 地域貢献活動を積極的に行う

## 〈キーワード〉

『 Enlarge 』

## 〈重点事項〉

1. 利用者や関係機関との関わりの拡大
2. 知識や視野、経験の拡充

## 〈重点事項の活動計画〉

1. 利用者や関係機関との関わりの拡大
  - (1)利用者との関係構築
  - (2)様々な福祉サービス事業所への訪問
2. 知識や視野、経験の拡充
  - (1)本人の意向を的確に表した計画の作成
  - (2)利用者本人が自分らしさを自覚できる面談技術の習得
  - (3)福祉サービスの理解

## 〈健康診断等計画〉

| 実施月 | 内 容         |
|-----|-------------|
| 10月 | 健康診断        |
| 11月 | インフルエンザ予防接種 |